中近東アフリカ一般

〔プロジェクト方式技術協力〕

技術協力センター事業

中近東アフリカ一般

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 | | | | 専門家 | | | 機材供与 | | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 主要機材名 | 経費（千円） | |
| ガーナ，ケニア巡回指導<br>調査期間： | ガーナ繊維技術訓練センターおよびケニア小規模工業技術訓練センターに対する巡回指導。 | 41 | 巡回指導 | | 1 | 736 | | | | | | 736 |
| ケニア，ウガンダ，エバリュエーション調査<br>調査期間 | ケニア小規模工業技術訓練センターおよびウガンダ職業訓練センターに対するエバリュエーション調査。 | 47 | エバリュエーション | | 2 | 1,280 | | | | | | 1,280 |
| ケニア，ウガンダ巡回指導<br>調査期間：48.10.22～48.11. 2 | ケニア小規模工業技術訓練センターおよびウガンダ職業訓練センターに対する巡回指導。 | 48 | 巡回指導 | 48.10.22～48.11. 2 | 2 | 1,237 | | | | | | 1,237 |
| トルコ，イラン巡回指導<br>調査期間：50.11.30～50.12.16 | トルコ・イスタンブール水産職業高校およびイラン電気通信研究センターに対する巡回指導。 | 50 | 巡回指導 | 50.11.30～50.12. 6 | 3 | 2,278 | | | | | | 2,278 |
| トルコ，ケニア巡回指導<br>調査期間：52.2.17～52.3.8 | トルコ・イスタンブール水産職業高校およびケニアＮＹＳ上級技術訓練センターに対する巡回指導。 | 51 | 巡回指導 | 52. 2.17～52. 3. 8 | 3 | 2,622 | | | | | | 2,622 |

保健医療協力事業

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 | | | | 専門家 | | | 機材供与 | | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 人数 | | 経費（千円） | 主要機材名 | 経費（千円） | |
| | | | | | | | 継続 | 新規 | | | | |
| **ケニア，タンザニア医療協力予備調査**<br>調査期間：41．6.8～41．6.25 | ケニア，タンザニア両国の医療事情を調査し，診療団の派遣に最も適当と思われる地域を選定した。 | 41 | 予備調査 | 41．6．8～41．6.25 | 3 | 旅 127<br>2,266 | | | | | | 2,398 |
| **アフガニスタン，ケニア医療機材管理技術巡回指導班**<br>調査期間：48.2.7～48.2.27 | ケニア国のケニヤッタ病院，ナクール病院，エンブ病院，アフガニスタン国の国立W.A.K病院を巡回し，既供与済機材の修理・保守業務を行った。 | 47 | 巡回指導 | 48．2．7～48．2.27 | 4 | 5,164 | | | | | | 5,164 |
| **ガーナ，タンザニア医療機材管理技術巡回指導班**<br>調査期間：48.3.5～48.3.24 | ガーナ国のガーナ大学医学部，およびタンザニア国のダレサラーム大学医学部を巡回し，既供与済機材の修理・保守業務を行った。 | 47 | 巡回指導 | 48．3．5～48．3.24 | 3 | 3,469 | | | | | | 3,469 |
| **エティオピア，ガーナ医療機材修理班**<br>調査期間：49.1.26～49.2.14 | エティオピア国の帝国中央衛生研究所およびガーナ国のガーナ大学　医学部を巡回し，既供与済機材の修理・保守業務を行った。 | 48 | 機材修理 | 49．1.26～49．2.14 | 4 | 6,458 | | | | | | 6,458 |
| **アフガニスタン，イラン，ケニア，ナイジェリア医療機材修理班** | ケニア国のケニヤッタ病院及びナクール病院，ナイジェリア国のナイジェリア大学医学部，イフエ大学医学部，アフガニスタン国の国立W.A.K病院およびイラン国のテヘラン大学を巡回し，既供与済機材の修理，保守業務を行った。 | 49 | 機材修理 | 50．3．1～50．3.29 | 4 | 7,443 | | | | | | 7,443 |

中近東アフリカ一般

中近東アフリカ一般

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 | | | | 専門家 | | | 機材供与 | | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 主要機材名 | 経費（千円） | |
| ガーナ，ナイジェリア医療協力巡回指導<br>調査期間：50.11.20～50.12.12 | 医学研究協力および医学教育協力プロジェクトについて，派遣専門家並びにカウンターパートのブラッシュアップを行い併せて現状における問題点を探った。 | 50 | 巡回指導 | 50.11.20～50.12.12 | 3 | 3,722 | | | | | | 3,722 |
| ケニア，タンザニア医療機材修理班<br>調査期間：51. 1.26～51. 2.16 | ケニア国のケニヤッタ病院およびナクール病院，タンザニア国のダレサラーム大学医学部を巡回し，既供与済機材の修理・保守業務を行った。 | 50 | 機材修理 | 51. 1.26～51. 2.16 | 3 | 5,291 | | | | | | 5,291 |
| ガーナ，ナイジェリア医療機材修理班<br>調査期間：51. 1.11～51. 2. 4 | ガーナ国のガーナ大学医学部，ナイジェリア国のナイジェリア大学医学部およびイフェ大学医学部を巡回し，既供与済機材の修理・保守業務を行った。 | 51 | 機材修理 | 51. 1.11～51. 2. 4 | 4 | 8,064 | | | | | | 8,064 |
| イラン，ケニア医療機材修理班<br>調査期間：52. 2. 7～52. 3.13 | イラン国のテヘラン大学医学部，ケニア国のナクール病院，ケニヤッタ病院ICUへの既供与済機材の修理の巡回協力を実施した。 | 51 | 機材修理 | 52. 2. 7～52. 3.13 | 5 | 18,190 | | | | | | 18,190 |
| ガーナ，ナイジェリア医療機材修理班<br>調査期間：52. 2.17～52. 3.14 | ガーナ国のガーナ大学医学部，ナイジェリア国のイフェ大学，ナイジェリア大学への既供与済機材の修理の巡回協力を実施した。 | 51 | 機材修理 | 52. 2.17～52. 3.14 | 5 | 12,380 | | | | | | 12,380 |
| アフガニスタン，タンザニア結核対策巡回指導<br>調査期間：51.10.25 51.11.12 | 昭和49年度から実施しているアフガニスタン国およびタンザニア国における結核対策プロジェクトを視察し，派遣中の専門家および相手国機関に対し，助言指導を行った。 | 51 | 巡回指導 | 51.10.25～51.11.12 | 4 | 4,776 | | | | | | 4,776 |

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 | | | | 専門家 | | | 機材供与 | | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 主要機材名 | 経費（千円） | |
| **アルジェリア，テュニジア医療協力事前調査**<br>調査期間：51．9.25～51.10.13 | アルジェリア国およびテュニジア国における保健医療全般について基礎的調査を実施し，将来のわが国の医療協力の進め方について検討を行った。 | 51 | 事前調査 | 51．9.25～51.10.13 | 4 | 4,950 | | | | | | 4,950 |
| **機材修理調査**<br>調査期間：53．7.23～53．8．8 | ガーナ大学医学部およびケニア，ケニヤッタ病院に供与された機材の保守・管理法の技術指導および修理を実施した。 | 53 | 機材修理 | 53．7.23～53．8．8 | 6 | 483 | | | | | | 483 |

農林業協力事業

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 | | | | 専門家 | | | 機材供与 | | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 主要機材名 | 経費（千円） | |
| **タンザニア，ザンビア，マラウイ，ケニア，東アフリカ地域農業協力プロジェクトファインディング調査**<br>調査期間：48．3.22～48．4.18 | 東アフリカ4カ国（タンザニア，ザンビア，マラウイ，ケニア）における農業関係プロジェクトファインディング調査 | 47 | 事前調査 | 48．3.22～48．4.18 | 4 | 3,944 | | | | | | 3,944 |
| | | 48 | （同上報告書） | | | ㊐ 541 | | | | | | 541 |
| **セネガル，ギニア，リベリア，象牙海岸，ガーナ，ナイジェリア，西アフリカ地域農業協力プロジェクトファインディング調査**<br>調査期間：49．2.26～49．3.30 | 西アフリカ地域の6カ国（セネガル，ギニア，リベリア，象牙海岸，ガーナ，ナイジェリア）において，農業事情の現状把握と意見交換および農業開発についての実績と将来の見通しにつき調査を行うことにより，将来の農業協力の方向付けの一助とする。 | 48 | 事前調査 | 49．2.26～49．3.30 | 5 | 6,347 | | | | | | 6,347 |
| | | 49 | （同上報告書） | | | ㊐ 499 | | | | | | 499 |

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 | | | | 専門家 | | | 機材供与 | | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 主要機材名 | 経費（千円） | |
| イラク，サウディアラビア，北イエメン，中近東地域農業協力プロジェクトファインディング調査<br>調査期間：50．2．9～50.33.10 | 中近東諸国は，わが国の経済発展と密接な関係にあり，これらに対する技術協力の促進はわが国との友好関係の増進に大きな意義をもつものである。また，中近東諸国は食糧問題が深刻で，その大部分を海外に依存しており，その解決のため，これら地域は乾燥地農業の開発にとり組み，わが国に対しても協力を要請している。<br>本調査は，これら諸国の当面するもっとも大きな課題である乾燥地農業の開発について，その可能性とこれに対するわが国の協力の可能性を探り，今後の農業協力の推進に資するものである。<br>乾燥地農業の特異性と，同地域におけるわが国の技術的未経験などから，協力のステップとして開発の実験農場を設置して，農業生産技術上の応用試験研究の実施可能性を主として調査した結果，第1候補地（ハラード遊牧民定着プロジェクト）および第2候補地（アル・ハルジ農業試験場）をプライオリティーが高いものとして確認した。 | 49 | 事前調査 | 50．2．9～50．3.10 | 5 | 5,502 | | | | | | 5,502 |
| | | 50 | （同上報告書） | | | ㊐ 496 | | | | | | 496 |
| エジプト，トルコ農林業協力プロジェクトファインディング | 中近東地域のトルコおよびエジプト両国の農業振興政策を総合的に捉え，わが国の対応が可能で有効なプロジェクト案件の発掘と内容把握を行うため，昭和56年4月に標記調査団を派遣した。その結果，エジプトについては，稲作機械化センターの技 | 56 | 事前調査 | 56．4.21～56．5．4 | 4 | 6,232 | | | | | | 6,232 |

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 | | | | 専門家 | | | 機材供与 | | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 主要機材名 | 経費（千円） | |
| | 術協力および日本・エジプト農民の交流促進を早急に実現する必要があると判断された。またトルコについては，イスタンブール海洋水産資源職業訓練高校の協力後の活動状況から，その協力効果は顕著であるがなおスペアパーツを中心とした機材のアフターケアが必要であると報告された。 | | | | | | | | | | | |

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

| 番 | プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | トランス・アフリカン・ハイウェー計画 | ①モンバサ～バンギ間連絡道路建設事前調査 | | | | | |
| | | 同間の約 1,500 kmの事前調査が日本に要請されたのでこれを踏査し，本格調 | 46 | 事前調査 | 46. 8. 20～46. 9. 23 | 2 | 3,746 |
| | | 査団の日程計画，装備計画等の立案を行い，又，同間の南北２ルートの比較検 | 46 | アフターケア | 47. 3. 30～47. 3. 31 | 2 | 1,569 |
| | | 討を行った。 | 47 | アフターケア | 47. 4. 1～47. 4. 18 | (2) | |
| | | ②キサンガニ～バンガッソウ間道路建設計画 | | | | | |
| | | トランス・アフリカン・ハイウェー計画の同国内の区間（約 740 km）の道路 | 48 | 実施調査 | 48. 12. 27～48. 4. 10 | 12＋(1) | 64,659 |
| | | につき現道の改良を主体とした路線調査，道路建設による地域開発可能性等の | 49 | 実施調査 | | | 1,057 |
| | | 経済調査。 | 49 | 実施調査 | 49. 9. 1～49. 12. 16 | 13 | 146,405 |
| | | ＥＣＡの推進しているトランスアフリカハイウェー計画は，現在交通網の不 | 49 | 実施調査 | 49. 11. 2～49. 11. 21 | 3 | |
| | | 備から交流がとだえている東西アフリカの文化，経済交流を促進させることを | 50 | 実施調査 | 50. 4. 2～50. 4. 29 | 4 | 53,065 |
| | | 目的としたものであり，ケニアのモンバサからナイジェリアのラゴスにいたる | 50 | 実施調査 | 50. 11. 3～50. 11. 7 | 1 | |
| | | 総延長約 6,500 kmの道路を建設しようというものである。このルートのうち， | 51 | 報告書説明 | 51. 5. 28～51. 6. 13 | 5 | 33,150 |
| | | わが国はザィール国内キサンガニ・バンガッソウ間約 740 kmの区間についてフィージビリティ調査を担当し，４９年度においては補足路線調査，構造物調査， | | | | | |

中近東・アフリカ一般

| 番 | プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 施行条件調査，地域経済調査，交通調査を中心とする第２次現地調査を行った。５０年度は，本件調査のインテリム・リポートの説明及びトランス・アフリカン・ハイウェー調整委員会への出席。 | | | | | |
| 2 | 中東産油国における砂漠地域開発に関する調査研究 | 中東地域の経済社会開発について，その開発計画の内容等を分析し，日本の経済技術協力の今後の在り方，とりわけその中で，砂漠地域開発の面における技術協力の可能性について，調査研究を行った。（イラン，サウディ・アラビア，エジプト） | 49 | 研 | 国内作業のみ（49. 10. 25～50. 1. 24） | | 3,045 |
| 3 | 開発調査プロジェクト選定確認調査 | ①（象牙海岸，リベリア，セネガル） | 50 | 事前調査 | 50. 10. 12～50. 10. 22 | 3 | 3,976 |
| 4 | 西アフリカ漁業開発調査 | （ガーナ，ガボン，サントメ・プリンシペ） | 51 | 事前調査 | 52. 3. 3～52. 3. 31 | 8 | 12,964 |

海外開発計画調査事業

| 番 | プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 中小規模工業経済協力調査 | ①（スーダン，タンザニア） | 38 | 海 | 39. 1. 9～39. 2. 24 | 10 | 10,268 |
| | | ②（イラン，ケニア，タンザニア） | 42 | 海 | 42. 8. 19～42. 9. 11 | 5 | 5,596 |
| | | ③（カメルーン，中央アフリカ，エティオピア，ナイジェリア） | 44 | 海 | 44. 11. 26～44. 12. 25 | 8 | 11,219 |
| | | ④（エティオピア，ザイール，ザンビア） | 45 | 海 | 46. 2. 20～46. 3. 24 | 8 | 9,032 |
| 2 | 鉱工業プロジェクト選定確認調査 | ①（アルジェリア，リビア，モロッコ，象牙海岸，セネガル） | 47 | 海 | 47. 9. 21～47. 10. 14 | 2 | 2,930 |
| | | ②（ケニア，マダガスカル，タンザニア） | 48 | 海 | 49. 2. 21～49. 3. 11 | 2 | 1,755 |
| | | ③（ガーナ，象牙海岸，リベリア，ナイジェリア，ザイール） | 49 | 海 | 49. 11. 15～49. 12. 2 | 2 | 2,432 |
| | | ④（エジプト，サウディ・アラビア，トルコ） | 49 | 海 | 50. 2. 10～50. 3. 3 | 2 | 2,142 |
| | | ⑤（アルジェリア，モロッコ，象牙海岸，セネガル） | 50 | 海 | 50. 10. 5～50. 10. 25 | 2 | 2,704 |
| | | ⑥（アルジェリア，アラブ首長国連邦，ニジェール） | 51 | 海 | 51. 5. 26～51. 6. 16 | 3 | 5,337 |
| 3 | タンザニア，モロッコ鉱工業プロジェクト選定確認調査 | タンザニア，モロッコに対する技術協力のうち，鉱工業関係の調査を効率的に実施するため，これら２カ国からの要請プロジェクトと今後要請の可能性のあるプロジェクトについて背景と経済開発計画における位置づけ等を調査し， | 55 | 海 | 55. 10. 10～55. 10. 27 | 6 | 11,057 |

| 番 | プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 実施可能なプロジェクトの選定確認を行った。 | | | | | |
| 4 | エジプト，ケニア，中近東，アフリカ諸国鉱工業プロジェクト・フォローアップ調査 | 調査中と調査終了のプロジェクトに関し，相手国政府関係機関と協議し，調査の問題点の解明と日本側より提出した調査報告書の評価，活用の実態，また今後の協力関係を推進するため日本側に対する要望点など幅広い観点から調査し，今後の事業運営に反映させることを目的としたもので，エジプトのヘルワン製鉄所改造計画，ディケーラ還元鉄工場計画，ケニアのリフト渓谷地熱開発計画について調査した。 | 55 | 海 | 56. 2.27～56. 3.14 | 4 | 7,349 |
| | | | 56 | 海 | | | 56 |

資源開発協力基礎調査事業

| 番 | プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ボツワナ，マダガスカル，アフリカ地区プロジェクト選定確認調査 | ボツワナ，マダガスカル2カ国に対するわが国の技術協力のうち，資源開発協力基礎調査を効率的に実施するため，各国の要請プロジェクトの内容，対象地域の地質状況ならびに当該各国の経済開発計画における位置づけ等の調査を行い，わが国の協力し得るプロジェクトの選定確認を行った。 | 52 | 資 | 52. 7.17～52. 7.22 | 6 | 6,840 |
| | | | 〃 | 資 | 52. 9.29～52.10.18 | | |

〔開発協力方式技術協力〕

開発基礎調査

| プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ガボン，カメルーン林業開発協力 | わが国の外材輸入の過半を占める東南アジア諸国では，近年自国の資源保続のため，木材輸出を制限する動きが顕在化してきている。このため民間の林業者のなかに資源の豊富な南米，アフリカ等に関心をもつものが増加している。本件はこのような背景のもとに，将来木材輸出の増加が見込まれるガボン，カメルーン両国の森林資源状況，投資環境等を調査し，民間企業進出の可能性を探るものである。 | 54 | 基礎一次調査 | 55. 2.20～55. 3.8 | 4 | 6,065 |
| | | 55 | | （報告書作成） | | 1,822 |

投融資審査等調査

中近東・アフリカ一般

| プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| タンザニア試験事業，イラン関連施設整備事業融資調査 | 1. タンザニア国ブグー地区で，本邦企業とタンザニア国STAMICOとが合弁でカオリン鉱床の開発を計画している。<br>現地の天候，水質，クレーの状況等の諸条件の中で良質カオリンを精製するため一年間の試験事業を計画しておりその必要性と技術的問題点を確認し融資対象としての適格性審査のための調査。<br>2. イラン国ホラサン州カレ・ザリー地区における銅鉱石の採掘および選鉱事業に付随するインフラ施設整備事業資金に対する融資後調査。 | 50 | 投融資審査等調査 | 51. 2.26～51. 3.20 | 3 | 3,284 |
| ケニア，マダガスカル農業投融資審査等調査 | 1. マダガスカル・タマタブ州における豆類栽培試験事業に係わる融資後調査。 | 52 | 投融資審査等調査 | 53. 3.14～53. 3.31 | 2 | 2,292 |
| | 2. ケニヤ・ナイロビにおける投融資説明会。 | 53 | | | | 11 |
| ケニア，ザイール鉱工業投融資審査等調査 | 1. ケニア国ナイロビにおける日系進出企業に対する投融資の説明会。 | 52 | 投融資審査等調査 | 53. 3.15～53. 3.31 | 3 | 2,475 |
| | 2. ザイール国シャバ州の銅鉱石開発事業に係る関連施設整備事業に対する融資後調査。 | 53 | | | | 12 |
| ケニア，ザイール投融資審査等調査 | 本調査は，<br>① ケニアにおける投融資説明会の開催等の実施。<br>② ザイールにおける銅鉱石開発事業に伴なう関連施設整備の融資後審査の実施。 | 55 | 投融資審査等調査 | 55. 9.27～55.10.13 | 3 | 4,114 |

〔無償資金協力〕

実施促進調査

| No. | 対象案件名 | 概要 | 年度 | 調査期間 | 調査団承遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ザイール輸送力増強計画<br>ルワンダ・マッチ工場建設計画<br>ケニア・ケニヤッタ農工大学建設計画 | | 53 | 53.10.29～53.11.10 | 1 | 672 |
| 2 | ベナン病院用医療機材整備計画<br>トーゴー保健医療用車輌整備計画<br>上ヴォルタ巡回医療用機材整備計画 | | 54 | 54. 7. 8～54. 7.29 | 2 | 2,406 |
| 3 | シェラ・レオーネ医療機械整備計画<br>マラウイ・チティパ地区上水道敷設計画 | | 54 | 54. 8.18～54. 8.31 | 2 | 2,065 |
| 4 | ザイール道路整備計画<br>ブルンディ輸送力増強および医療設備改善計画 | | 54 | 54. 9.13～54. 9.24 | 2 | 1,893 |
| 5 | 上ヴォルタ巡回医療用車輌整備計画<br>トーゴー保健医療用車輌整備計画<br>ベナン病院用医療機材整備計画 | | 54 | 54.11.11～54.12. 1 | 2 | 2,687 |
| 6 | ザイール道路整備計画<br>ルワンダ保健医療施設改善計画，国営マッチ工場建設計画<br>ブルンディ輸送力増強および医療設備改善計画 | | 54 | 54.11.17～54.12. 2 | 2 | 2,287 |
| 7 | ガーナ漁業調査計画<br>シェラ・レオーネ医療機械整備計画 | | 54 | 54.11.22～54.12. 8 | 2 | 2,838 |
| 8 | ケニア・ケニヤッタ農工大学設立計画<br>マラウィ・チティパ地区上水道敷設計画 | | 54 | 55. 2.16～55. 2.26 | 2 | 1,853 |
| 9 | エジプト・リフトバレー熱対策計画<br>ジョルダン・電子工学サービス訓練センター計画 | | 54 | 54. 6.26～54. 7.17 | 2 | 1,594 |
| 10 | エジプト・リフトバレー熱対策計画<br>スーダン・ガサバ地区実験農場拡充計画，漁業振興計画 | | 54 | 54.11. 7～54.11.19 | 1 | 792 |
| 11 | エジプト・リフトバレー熱対策計画<br>ジョルダン電子工学サービス訓練センター計画 | | 54 | 55. 4.10～55. 4.17 | 2 | 1,546 |
| 12 | セネガル地方水道施設計画<br>モロッコ漁業訓練計画 | | 54 | 54.11.25～54.12. 7 | 3 | 3,255 |

| 番号 | 対象案件名 | 概要 | 年度 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 13 | スーダン・漁業振興計画，青ナイル流域感染症対策計画<br>エジプト・カイロ大学小児科病院計画ハイ・ダム漁業管理センター計画 | ＜スーダン＞ 本調査は，「漁業振興計画」の契約締結促進および「青ナイル流域感染症対策計画」の援助内容調整手続き等説明を行った。<br>＜エジプト＞ 「カイロ大学小児科病院建設計画」および「ハイ・ダム漁業管理センター建設計画」について，契約締結促進，援助手続き等説明を行った。 | 55 | 55. 7. 12～55. 7. 26 | 2 | 2,390 |
| 14 | スーダン・青ナイル流域感染症対策計画<br>ソマリア・水産物流通改善計画 | ＜スーダン＞ 「青ナイル流域感染症対策計画」の入札が未だ実施されていないため，先方政府に対し，本件入札の実施を促進するとともに，今後のスケジュールの調整を行った。<br>＜ソマリア＞ 「水産物流通改善計画」について，先方政府に対し，援助手続きの説明をするとともに，今後の実施スケジュールについて打合せを行った。 | 55 | 56. 1. 9～56. 1. 23 | 2 | 2,624 |
| 15 | ルワンダ・衛星通信地上局建設計画，医療施設整備計画<br>ザイール・農業輸送力増強計画，道路整備計画 | ＜ルワンダ・ザイール＞ 本調査は無償資金協力によりルワンダ共和国に供与される「衛星通信地上局建設計画」，ザイール共和国に供与される「農業輸送力増強計画」に係る資機材等の契約締結の促進を図るとともに上記案件の実施状況調査を行った。<br>また，54年度無償案件としてルワンダ共和国に供与した「医療施設整備計画」ザイール共和国に供与した「道路整備計画」の実態調査を行った。 | 55 | 55. 7. 4～55. 7. 18 | 2 | 2,898 |

| 番 | 対象案件名 | 概要 | 年度 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 16 | ケニア・ケニヤッタ農工大学建設計画<br>サントメ・プリンシペ・社会環境整備計画 | ＜ケニア，サントメ・プリンシペ＞「ジョモ・ケニヤッタ農工大学建設計画」にかかる実施状況調査およびサントメ・プリンシペ国に対するB.H.N.に関係した「社会環境整備関係計画」案件の選定，協議を行った。 | 55 | 55.11.19～55.12.8 | 3 | 5,703 |
| 17 | 象牙海岸・海洋科学技術学校設立計画<br>トーゴ・地下水開発計画 | ＜象牙海岸＞「海洋科学技術学校設立計画」につき，先方政府と今後の入札等の実施スケジュールを協議するとともに建設サイトの視察を行った。<br>＜トーゴ＞「地下水開発計画」につき，今後の実施スケジュールを先方と協議すると共に仕様書等の詰め及び入札書類方法につき具体的に先方政府と協議した。 | 55 | 55.12.6～55.12.18 | 2 | 4,298 |
| 18 | ガーナ・零細漁民育成計画<br>ナイジェリア・漁業調査訓練船計画 | ＜ガーナ，ナイジェリア＞本調査は，無償資金協力により，ガーナ国に供与される「漁業振興計画」ならびにナイジェリア国に供与される「漁業振興計画」に係る実施手続きの説明および実施スケジュールの打合せを行った。 | 55 | 56.1.19～56.2.1 | 2 | 2,051 |
| 19 | コモロ・海難漁民救助計画<br>モーリシャス・漁業研究センター建設計画<br>マダガスカル・零細漁民振興計画，アンティラナナ畜産技術指導センター設立計画 | ＜コモロ，モーリシャス，マダガスカル＞コモロ国に供与される「海難漁民救助計画」，モーリシャス国に供与される「漁業研究センター建設計画」およびマダガスカル国に供与される「零細漁業振興計画」にかかる契約の締結の促進を図るとともに，上記案件ならびにマダガスカル国に供与された「アンティラナナ畜 | 55 | 56.2.18～56.3.13 | 2 | 3,181 |

| 番 | 対象案件名 | 概要 | 年度 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 産技術指導センター設立計画」にかかる実施状況調査を行った。 | | | | |
| 20 | ギニア・ビサオ・漁業振興計画<br>ガンビア・ジェバ川流域稲作開発計画 | ＜ギニア・ビサオ＞ 本調査は，ガンビア国に供与される「漁業振興計画」ならびにギニア・ビサオ国に供与される「農業灌漑計画」に係る無償資金協力につき実施の促進調査を行った。<br>＜ガンビア＞ ガンビア国での調査はE/N（案）について協議し，契約促進上の諸手続の説明及び先方の計画における適切な機材選定に係る指導，助言をもって本計画の実施促進を行った。 | 55 | 56. 2. 28 ～ 56. 3. 16 | 2 | 2,698 |
| 21 | リベリア・モンロビア病院設立計画<br>シェラ・レオーネ・漁業振興計画 | 本調査は，リベリア国に供与される「モンロビア病院設立計画」ならびにシェラ・レオーネ国に供与される「漁業振興計画」について両国政府と協議し，わが国の無償援助の仕組等について説明を行った。 | 56 | 56. 6. 29 ～ 56. 7. 11 | 2 | 2,442 |
| 22 | 象牙海岸・海洋科学技術学校設立計画<br>ニジェール・ニアメ発電所拡張計画 | 本調査は，象牙海岸国に供与される「海洋科学技術学校設立計画」ならびにニジェール共和国に供与される「ニアメ発電所拡張計画」について，今後の実施スケジュールについて同国政府と協議を行うと共に，わが国の無償協力の仕組について説明を行った。 | 56 | 56. 7. 10 ～ 56. 7. 24 | 3 | 5,475 |
| 23 | モーリタニア・漁業振興計画<br>マリ・地下水開発計画 | 本調査は，モーリタニアに供与される「漁業振興計画」ならびに，マリ国に供与される「地下水開発計画」について，今後の実施スケジュールについて同国政府と協 | 56 | 56. 9. 19 ～ 56. 10. 4 | 2 | 2,721 |

| 番 | 対象案件名 | 概要 | 年度 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 議を行うと共に，わが国の無償協力の仕組について説明を行った。 | | | | |
| 24 | ルワンダ・国道整備計画<br>ケニア・医療器具供給計画 | ＜ルワンダ国＞ 本調査は「国道整備計画」につき，契約の締結の促進を図るとともに今後の実施スケジュールにつき協議した。また，「衛星通信地上局設立計画」等についても状況調査をあわせ実施した。<br>＜ケニア＞ 「医療器具供給計画」につき契約締結の促進を図った。 | 56 | 56. 12. 2～56. 12. 18 | 2 | 2,870 |
| 25 | マダガスカル・零細漁民育成計画，アンティラナナ畜産技術指導センター計画<br>コモロ・沿岸漁業振興計画，海難漁民救助計画 | ＜マダガスカル＞ 無償資金協力により供与された「零細漁民育成計画」の実施状況調査及び55年度末完工の「アンティラナナ畜産技術指導センター設立計画」の完成後の実情調査を行った。<br>＜コモロ＞ 「沿岸漁業振興計画」につき契約の締結促進を図るとともに55年度案件の「海難漁民救助計画」につき使用状況調査を行った。 | 56 | 57. 2. 8～57. 2. 23 | 2 | 3,263 |
| 26 | ケニア・地下水開発計画<br>タンザニア・漁業振興計画，キリマンジャロ農業開発計画，工業開発センター計画 | ＜ケニア＞ 本調査は，「地下水開発計画」についてケニア側にわが国の無償の仕組みについて説明すると共に，今後の実施スケジュールを協議した。<br>＜タンザニア＞ 「漁業振興計画」について機材契約の締結促進を行うとともに，54年度案件である「キリマンジャロ農業及び工業開発センター」施設の利用状況を調査した。 | 56 | 57. 3. 12～57. 3. 27 | 3 | 5,782 |

| 番 | 対象案件名 | 概要 | 年度 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 27 | ベナン・地方医療施設拡充計画<br>上ヴォルタ・医療機能強化計画 | 本調査は，無償資金協力により，上ヴォルタ国およびベナン国に供与される「医療機能強化計画」「地方医療施設拡充計画」にかかる契約促進の諸手続の説明および同国の計画における適切な機材選定にかかる指導助言をし、本計画の実施促進を行った。 | 56 | 57. 3.15～57. 3.29 | 3 | 4,119 |
| 28 | スーダン・青ナイル流域感染症対策計画，魚類流通機構改良計画<br>ソマリア・水産物流通改善計画 | ＜スーダン＞「青ナイル流域感染症対策計画」及び「漁類流通機構改良計画」について，当国と今後の実施スケジュールに関する協議を行い，契約の促進を図った。<br>＜ソマリア＞「水産物流通改善計画」について，工事の進捗状況を確認するとともに，協力期限内に完工するよう協力を促した。 | 56 | 57. 2.11～57. 3. 3 | 3 | 4,178 |

# 中 南 米 地 域

アルゼンティン

## 1. 総括実績

### (1) 形態別・年度別

| 形態＼年度（経費及び人数） | 29～50 | | 51 | | 52 | | 53 | | 54 | | 55 | | 56 | | 累計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） |
| 研修員 | 143,043 | 151 | 30,389 | 18 | 46,800 | 24 | 71,227 | 40 | 78,376 | 36 | 63,538 | 29 | 80,889 | 39 | 514,262 | 337 |
| 専門家 | 28,796 | 14 | 30,756 | 19 | 29,697 | 19 | 41,195 | 7 | 46,460 | 10 | 50,565 | 8 | 87,652 | 14 | 315,121 | 91 |
| 調査団 | 45,737 | 17 | 27,467 | 3 | 41,119 | 14 | 121,666 | 13 | 205,521 | 27 | 156,731 | 21 | 94,950 | 45 | 693,191 | 140 |
| 協力隊 | — | | — | | — | | — | | — | | — | | — | | — | |
| 機材供与 | 17,161 | | 15,691 | | 85,819 | | 68,992 | | 29,489 | | 40,023 | | 99,201 | | 356,376 | |
| その他 | 1,937 | | 2,433 | | 4,139 | | 3,135 | | 5,601 | | 4,759 | | 7,788 | | 29,792 | |
| 合計 | 236,674 | | 106,736 | | 207,574 | | 306,215 | | 365,447 | | 315,616 | | 370,480 | | 1,908,742 | |

### (2) 形態別・分野別

| 形態＼分野 | 人数累計（人） | 計画・行政 | | 公共・公益事業 | | | | 農林・水産 | | | | 鉱工業 | | エネルギー | 商業・観光 | | 人的資源 | | 保健医療 | 社会福祉 | その他 | 経費累計（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 開発計画 | 行政 | 公益事業 | 運輸交通 | 社会基盤 | 通信・放送 | 農業 | 畜産 | 林業 | 水産 | 鉱業 | 工業 | | 商業・貿易 | 観光 | 人的資源 | 科学・文化 | | | | |
| 研修員 | 337 | 16 | 11 | 2 | 76 | 6 | 54 | 18 | 2 | 3 | 14 | 15 | 25 | 28 | 13 | 8 | 4 | | 41 | | 1 | 514,262 |
| 専門家 | 91 | | | | 13 | 3 | 3 | 27 | 1 | 1 | 6 | 4 | | | 12 | | 4 | | 15 | 2 | | 315,121 |
| 調査団 | 140 | | 3 | | 4 | | | 23 | | | 5 | 77 | 4 | 18 | | | | | 6 | | | 693,191 |
| 協力隊 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | — |
| 機材供与 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 356,376 |
| その他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 29,792 |
| 合計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1,908,742 |

アルゼンティン

## 2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

| 分野 / 年度 | 合計 人数 | 計画・行政 | | 公共・公益事業 | | | | 農林・水産 | | | | 鉱工業 | | エネルギー | 商業・観光 | | 人的資源 | | 保健医療 | 社会福祉 | その他 | 経費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 開発計画 | 行政 | 公益事業 | 運輸交通 | 社会基盤 | 通信・放送 | 農業 | 畜産 | 林業 | 水産 | 鉱業 | 工業 | | 商業・貿易 | 観光 | 人的資源 | 科学・文化 | | | | |
| 33年度 | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 18,518 |
| 34 〃 | 2 | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 35 〃 | 4 | | | | | | | | | | | | 1 | 3 | | | | | | | | |
| 36 〃 | 5 | 4 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| 37 〃 | 5 | 1 | | | 1 | | 2 | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| 38 〃 | 8 | | | | 4 | | | 1 | | | | | | 3 | | | | | | | | |
| 39 〃 | 7 | | | | 3 | | 2 | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | 4,786 |
| 40 〃 | (1) 16 | | | | (1) 10 | | 3 | | | | | | | 3 | | | | | | | | 6,956 |
| 41 〃 | (1) 3 | 1 | | | (1) | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | 2,186 |
| 42 〃 | 6 | | | | 3 | | 1 | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | 5,329 |
| 43 〃 | 7 | | | | 3 | | 2 | | | | | | 2 | | | | | | | | | 6,606 |
| 44 〃 | 11 | 1 | | | 5 | | 1 | | 1 | | | | 1 | 1 | | | | | 1 | | | 9,362 |
| 45 〃 | 12 | | | | 6 | | 2 | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | 11,242 |
| 46 〃 | 12 | | 1 | | 1 | | 3 | | | | 1 | 1 | | 1 | | 1 | | | 2 | | 1 | 11,571 |
| 47 〃 | 11 | 1 | | | 1 | | 3 | | | | | | | 1 | 1 | 1 | | | 3 | | | 9,761 |
| 48 〃 | 16 | | 2 | 1 | 3 | 1 | 3 | | | | 1 | | 1 | | 1 | 1 | | | 2 | | | 20,550 |
| 49 〃 | 10 | | | | 2 | 1 | 3 | | | | | | | 1 | 1 | | | | 2 | | | 16,812 |
| 50 〃 | 15 | 2 | 1 | | 2 | 1 | 3 | | | | | | 1 | 2 | | | | | 3 | | | 19,364 |
| 51 〃 | 18 | | 2 | | 1 | | 3 | | | 1 | | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | | | 3 | | | 30,389 |
| 52 〃 | 24 | 1 | 1 | | 5 | 1 | 3 | | | | 3 | 1 | 2 | 3 | | 1 | | | 3 | | | 46,800 |
| 53 〃 | 40 | 1 | 1 | | 6 | | 3 | 2 | | 1 | 3 | 1 | 5 | 3 | 4 | 1 | | | 9 | | | 71,227 |
| 54 〃 | 36 | | 1 | | 6 | 1 | 6 | 4 | | 1 | 1 | 4 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | | 5 | | | 78,376 |
| 55 〃 | 29 | 1 | | | 6 | | 4 | 3 | | | 2 | 3 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | | 3 | | | 63,538 |
| 56 〃 | 36 | 3 | 2 | 1 | 6 | 1 | 5 | 4 | | | 3 | 2 | 3 | | 1 | | | | 5 | | | 75,941 |
| 合計 | (2) 334 | 16 | 11 | 2 | (2) 76 | 6 | 54 | 16 | 2 | 3 | 14 | 15 | 25 | 28 | 13 | 8 | 3 | | 41 | | 1 | 509,314 |

（注） カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

| 分野 / 年度 | 合計 人数 | 計画・行政 | | 公共・公益事業 | | | | 農林・水産 | | | | 鉱工業 | | エネルギー | 商業・観光 | | 人的資源 | | 保健医療 | 社会福祉 | その他 | 経費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 開発計画 | 行政 | 公益事業 | 運輸交通 | 社会基盤 | 通信・放送 | 農業 | 畜産 | 林業 | 水産 | 鉱業 | 工業 | | 商業・貿易 | 観光 | 人的資源 | 科学・文化 | | | | |
| 36年度 | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1,256 |
| 37 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 38 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 39 〃 | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1,531 |
| 40 〃 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1,888 |
| 41 〃 | 5 | | | | 3 | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | 11,041 |
| 42 〃 | 2 | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | 10,709 |
| 50 〃 | 2 | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | 2,221 |
| 51 〃 | 17 | | | | | | | | | | 4 | | | | 12 | | 1 | | | | | 28,835 |
| 52 〃 | (1) 14 | | | | 2 | 1 | (1) | 9 | | | 2 | | | | | | | | | | | 26,478 |
| 53 〃 | 5 | | | | 4 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 46,917 |
| 54 〃 | 8 | | | | | 1 | | 6 | | | | 1 | | | | | | | | | | 49,238 |
| 55 〃 | 6 | | | | 1 | | | 5 | | | | | | | | | | | | | | 56,420 |
| 56 〃 | 8 | | | | 1 | | 3 | 2 | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | 61,703 |
| 合計 | (1) 70 | | | | 13 | 3 | (1)3 | 25 | 1 | 1 | 6 | 4 | | | 12 | | 2 | | | | | 298,237 |

注　カッコは国際機関専門家で外数である。

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

| 番 | 機材名 | 機材供与先 | 年度 | 機材供与経費（千円） |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 胃がん検診用機材 | ブエノスアイレス州立病院 | 47 | 5,673 |
| 2 | がん対策機材 | ブエノスアイレス大学 | 49 | 7,695 |
| 3 | がん対策機材 | ブエノスアイレス大学 | 51 | 11,033 |
| 4 | チャガス病研究機材 | 国防省科学技術研究所 | 54 | 13,008 |
| 計 | 4 件 | | | 37,409 |

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業

アルゼンティン

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 専門家 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 機材供与 主要機材名 | 経費（千円） | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 健康管理システム<br>Health Care System<br><br>協定等の種類：R／D<br>署名年月日：51.12.17<br>協力期間：<br>（当初）<br>52.4.1～57.3.31 | アルゼンティン国政府から，同国日会共済会診療所の健康管理システム強化の協力要請があり，昭和51年3月に事前調査団を派遣し，アルゼンティン国の医療の実情や要請の背景を調査した。<br>その結果，日会共済会診療所に健康管理システムを日本から医療協力によって強化してゆくことは，地域医療，職業病対策等も含めて日系農民の健康管理にも有意義であり，またこれが一般アルゼンティン国民にも開かれた共済組織の診療所としてより効果的な役割もはたすので，昭和51年12月に実施調査団を派遣し，わが方の協力内容等について討議議事録を取交した。<br>協力内容は，昭和52年4月1日から昭和57年3月31日までの5カ年間，日会診療所における診断機能の強化，地域保健活動の強化，データ処理機能強化等における協力をプロジェクト方式により行うというものである。 | 50 | 事前調査 | 51.3.26～51.4.22 | (4) | 1/ (2,632) | | | | | | (2,632) |
| | | 51 | | | | (105) | | | | | | (105) |
| | | 〃 | 実施調査 | 51.12.1～51.12.20 | 3+(1) | 4,668 | | | | | | 4,668 |
| | | 52 | 計画打合せ | 53.3.27～53.4.10 | 3 | 3,255 | — | 4 | 6,007 | 多素子生化学自動分析装置 | (携) 247<br>72,233 | 81,742 |
| | | 53 | | | | 371 | 2 | 2 | 2,799 | 検診車，血球計数器 | (携) 1,198<br>49,208 | 53,576 |
| | | 54 | | | | 0 | | | 153 | | | 153 |
| | | 55 | | | | 0 | | | 0 | | 28,176 | 28,176 |
| | | 56 | | | | 0 | | | 0 | | 15,087 | 15,087 |

1/ アルゼンティン，ボリヴィア医療協力事前調査，中南米一般参照，経費折半。

〔カウンターパート受入実績〕

| 年度 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 |
|---|---|---|---|---|---|
| 人数 | 9 | | | 0 | 0 |

保健医療協力事業（単発）

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 調査の種類 | 調査団 調査期間 | 調査団 人数 | 調査団 経費（千円） | 専門家 人数 継続 | 専門家 人数 新規 | 専門家 経費（千円） | 機材供与 主要機材名 | 機材供与 経費（千円） | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| がん対策 | 本件は専門家派遣事業のみを実施する単発医療協力事業でX線がん検診等の専門家を派遣した。 | 49 | | | | | | 2 | 2,274 | | (携) 526 | 2,800 |

保健医療協力事業（大学教授）

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 調査の種類 | 調査団 調査期間 | 調査団 人数 | 調査団 経費（千円） | 専門家 人数 継続 | 専門家 人数 新規 | 専門家 経費（千円） | 機材供与 主要機材名 | 機材供与 経費（千円） | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 早期がん診断 | （アルゼンティン，ブラジル，チリ，コロンビア，ペルー）中南米一般を参照のこと。 | 47 | | | | | | (4) | (910) | | | (910) |
| 気管支鏡による胸部診断 | がん学会出席のため気管支鏡による胸部診断専門家1名派遣。派遣期間：50.9.29～50.10.7 | 50 | | | | | | 1 | 1,143 | | | 1,143 |
| 内視鏡 | 消化器系セミナー出席のため内視鏡専門家1名派遣。派遣期間：51.11.26～51.12.24 | 51 | | | | | | 1 | 1,337 | | | 1,337 |
| X線 | 消化器系セミナー出席のためX線専門家1名派遣。派遣期間：51.11.26～51.12.24 | 51 | | | | | | 1 | 1,337 | | | 1,337 |
| 消化器外科学 | | 54 | | | | | | 2 | 1,954 | | (携) 1,033 | 2,987 |
| 消化器病外科学 | | 55 | | | | | | 2 | 1,887 | | | 1,887 |
| 消化器内視鏡 | | 56 | | | | | | 4 | 5,454 | | (携) 690 | 6,144 |

保健医療協力事業（特別機材）

アルゼンティン

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 | | | | 専門家 | | | 機材供与 | | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 主要機材名 | 経費（千円） | |
| 内視鏡機材供与 | | 51 | | | | | | | | 斜視型ファイバースコープ | 3,905 | 3,905 |
| フェルナンデス病院 | | 52 | | | | | | | | 大腸ファイバースコープ | 9,975 | 9,975 |

農林業協力事業

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 | | | | 専門家 | | | 機材供与 | | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 主要機材名 | 経費（千円） | |
| 漁業訓練センター計画 | アルゼンティン国最大の漁業基地であるマルデルプラタに漁業訓練センターを設立し，近代技術を身につけた漁業技術者を養成する計画である。<br>昭和55年度は事前調査チームを派遣し，要請の背景，協力の可能性等について調査した。 | 55 | 事前調査 | 56.4.3～56.4.23 | 5 | 7,609 | | | | | | 7,609 |
| | | 56 | | | | (務) 583 | | | | | | 583 |
| | | | | | | | | | | | | |
| 協定等の種類：<br>署名年月日：<br>協力期間：<br>（当初） | | | | | | | | | | | | |

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

| 番号 | プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | プンタメダノス深水港湾計画調査 | アルゼンティン国政府は，プンタメダノス地区の地域開発を促進するため，穀物を中心とした農産物の輸出，および鉄鉱石の輸入を目的として航路，船地，最大水深１５ｍ（将来１９ｍ）の港湾の建設を計画している。同国政府は1978年８月プンタメダノス南海岸に掘込港湾を建設するという計画素案を作成したが，このような状況の中で，わが国より1978年８月～１２月にかけて専門家が派遣され，南海岸よりも北海岸に代替案を考慮すべきと提案した。これに対し，同国政府より，この提案をフォローアップするための調査団の現地派遣の要請があり，昭和５４年度は自然条件調査，港湾技術調査等を実施した。 | 54 | 実施 | 54. 4.29～54. 5.26 | 4 | 14,324 |

海外開発計画調査事業

| 番号 | プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 鉱物資源調査 | （アルゼンティン，コロンビア）<br>中南米一般を参照のこと。 | 39 | 海 | 39.10.15～40. 3. 3 | (7) | (6,948) |
| 2 | 電源開発計画調査 | ブエノス・アイレス西方1,100 kmのメンドサ河の電源開発のための基礎調査。 | 37 | 海 | 38. 2.26～38. 6. 5 | 6 | 8,740 |
| | | | 38 | 海 | | 0 | 839 |
| 3 | 鉱物資源計画調査 | アルゼンティン国北西部における銅，鉛，亜鉛等の鉱物資源開発計画に関し，数地域を対象にその有望性の評価，要請地区の選定，調査実施計画策定のための調査を実施した。昭和５０年度に現地調査を行い，昭和５１年度は報告書を作成し，アルゼンティン国に送付した。 | 50 | 海 | 51. 2.14～51. 3.28 | 12 | 31,772 |
| | | | 51 | 海 | | 0 | 22,566 |
| 4 | 燐酸肥料計画調査 | アルゼンティン国は，自国の資源の有効利用を目的とし，鉄鉱石の鉱滓に含まれる燐鉱石を原料として，燐酸肥料を製造したいとして，わが国に協力の要請をしてきた。このため，同国の燐酸肥料計画にとって本格的なフィージビリティー・スタディの必要性が存在するか否かを判断すべく，事前調査を行った。 | 53 | 海 | 54. 3.10～54. 3.23 | 4 | 7,972 |
| | | | 54 | 海 | | 0 | 12,053 |

アルゼンティン

| No. | プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5 | ネウケン州北部地域地熱開発計画調査 | ネウケン州北部地域における地熱開発調査で，昭和５６年度は，Ｓ／Ｗの策定および先方政府とのＳ／Ｗ調印を行い，これに引き続いて，ランドサット画像解析・空中写真地質解析，広域地質調査を実施し，地熱開発有望地域（約200km²）の選定を行った。 | 56 | 海（予備） | 56. 9.18～56. 9.30 | 4 | 4,689 |
| | | | 〃 | 海（事前） | 56.12. 1～56.12.22 | 4 | 9,657 |
| | | | 〃 | 海 | 57. 3.20～57. 3.31 | 3 | 12,730 |
| | | | | | | | |
| 6 | 鉱工業プロジェクト選定確認調査 | （アルゼンティン，パラグァイ，ペルー）<br>中南米一般を参照のこと。 | 56 | 海 | 57. 2. 9～57. 2.28 | (3) | (1,939) |
| | | | | | | | |

資源開発協力基礎調査事業

| No. | プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 北部地区資源開発協力基礎調査 | 同国北部の鉱物資源賦存の可能性を調査するもの。昭和５２年度は事前調査を行った。<br>昭和５５年度は第２年次までの調査結果に基づき抽出した有望地域で深部での鉱況把握のためボーリングと地質調査を行い，鉱床全体の評価を行った。<br>昭和５６年度は，前年度実施した現地調査および国内解析作業結果を踏まえ，報告書を作成した | 52 | 資 | 52. 8.15～53. 3. 1 | 5 +(5) | 29,501 |
| | | | 53 | 資 | 53. 9.12～54. 2.21 | 9 +(4) | 121,324 |
| | | | 54 | 資 | 54. 9. 5～54.12. 8 | 10 +(1) | 171,791 |
| | | | 55 | 資 | （報告書作成） | | 695 |
| | | | 〃 | 資 | 55. 7.29～55.12.15 | 10 | 105,409 |
| | | | 〃 | 資 | 55. 8. 4～55. 8.22 | | |
| | | | 〃 | 資 | 55. 9.30～55.12.15 | | |
| | | | 〃 | 資 | 55.10.17～55.11.23 | | |
| | | | 56 | 資 | （報告書作成） | | 2,263 |
| 2 | 資源開発基礎調査プロジェクト選定確認調査 | 本調査はアルゼンティン国政府の要請にもとづき，同国パタゴニアにおける有望な資源調査地域を選定する目的で実施するもので同国政府より調査候補地域として提示された１５地域に対し，その既存資料をもとに地質鉱床状況，立地条件等を考慮し，また，同国関係機関である鉱山庁と討議を行い，La Leona 地域他７地域を選定し，現地調査を実施した。 | 54 | 資 | 54.11.15～54.11.30 | 6 | 9,087 |
| | | | 〃 | 資 | 55. 2. 1～55. 3.10 | | |
| | | | | | | | |

| 番 | プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | ファマティーナ地区地域開発計画調査 | 同国北西部のラ・リオハ州に所在するファマティーナ鉱山周辺にある諸鉱床の開発と，それに伴うインフラストラクチャーの整備を策定するため，S／W協議を行うとともに本格調査を実施し，報告書を作成した。 | 55 | 資 | 55. 8.23～55. 9. 7 | 10 | 44,039 |
| | | | 〃 | 資 | 55. 9.18～55.10.15 | | |
| | | | 〃 | 資 | 55.10.16～55.11.14 | | |
| 4 | パタゴニア地区資源開発調査 | 同国南部パタゴニア地区の約２０万㎢の地域に対し，Landsat Data 解析，写真地質解析，地質調査（予察）を実施し，鉱床賦存有望地域を抽出する。<br>昭和５６年度は，対象地域全域に対しランドサット・データの色異常，線構造等の解析および既存データをあわせた総合解析を行い広域地質構造の解明，ポーフィリー型銅鉱床の賦存する可能性の高い地区を抽出した。 | 56 | 資 | 56. 8.10～56. 8.30 | 10 | 42,358 |
| | | | 〃 | 資 | 57. 1.18～57. 3. 3 | | |
| | | | 〃 | 資 | 57. 2.19～57. 3. 3 | | |
| 5 | 鉱工業プロジェクト・フォローアップ調査 | （トルコ，モロッコ，アルゼンティン，チリ，フィリピン，コロンビア）<br>世界一般を参照のこと。 | 56 | 資 | 56. 5.30～56. 6.11 | (13) | (1,429) |
| | | | 〃 | 資 | 56. 7. 5～56. 7. 8 | | |
| | | | 〃 | 資 | 56. 6.12～56. 6.27 | | |
| | | | 〃 | 資 | 56.10.17～56.10.26 | | |
| | | | 〃 | 資 | 56.11.24～56.12. 7 | | |
| | | | 〃 | 資 | 56.12. 5～56.12.12 | | |
| 6 | 事前調査折衝 | （アルゼンティン，チリ，コロンビア，中国，グァテマラ）<br>世界一般を参照のこと。 | 56 | 資 | 56. 6.12～56. 6.25 | (7) | (821) |
| | | | 〃 | 資 | 56. 5.30～56. 6.11 | | |
| | | | 〃 | 資 | 57. 2.15～57. 2.19 | | |
| | | | 〃 | 資 | 56.12.15～56.12.19 | | |
| | | | 〃 | 資 | 56. 6. 3～56. 6. 9 | | |
| | | | 〃 | 資 | 56. 8.11～56. 8.22 | | |
| | | | 〃 | 資 | 56. 7.12～56. 7.22 | | |

〔開発協力方式技術協力〕

開発基礎調査

アルゼンティン

| プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 豆類開発協力基礎調査 | アルゼンティン国パンパ地域は土壌，気候等の条件が農業に適しており，その広大な肥沃地においては豆類，特に落花生の生産に非常に適していると言われている。落花生の中，大粒種の生産は世界的に減少の傾向にあり，輸入に依存しているわが国は，原料の安定的確保を図るため新規に供給地を開発する必要性に迫られている。このような背景のもとに，わが国はアルゼンティン国ポサダス，コリエンテス，サンタフェおよびツクマン地方を対象に調査団を派遣し，政府関係者との意見交換，栽培技術と生産状況，試験研究機関，加工流通，投資環境等について調査を行い，わが国民間企業の開発協力の可能性につき検討した。 | 52 | 基礎一次調査 | 53. 2.24～53. 3.30 | 6 | 7,713 |
| | | 53 | | （同上報告書作成） | 0 | 601 |
| 農業開発協力 | アルゼンティン農業の特徴は，穀物（大豆，小麦，トウモロコシ），牧畜等の大規模営農である。また，豊富な農産物資源の輸出振興策として，農産物価格の引上げ，農業金融の増加等が進められている。今般のアルゼンティン大統領来日の際，同国の農業関連農産加工開発計画に対する協力要請がわが国にあった。本件はこの要請に対し，民間投資を含むアルゼンティン農業および農業関連産業の開発協力事業の可能性を検討するため基礎調査を行うものである。 | 54 | 基礎一次調査 | 54.11.17～54.12. 2 | 8 | 8,828 |
| | | 55 | | （報告書作成） | 0 | 524 |
| コロラド河流域開発協力 | 本調査は，ブエノス・アイレス州コロラド河流域開発公社の有するサンアドルフォ地区3,500 haの開発に対するわが国協力を，同公社が要請していたが，本件協力に対する可能性調査のため，昭和５４年１１月基礎一次調査を行って，その可能性を把握した。本調査はこの調査結果に基づき，同地区600 haにおいて，野菜，穀類，永年作物等の灌漑栽培試験事業を実現するための開発基本構想の策定を行うもの。<br>昭和５６年度は，同地区の自然，経済，立地条件，上記作物の生産流通等に関する現地調査を行った。 | 56 | 基礎二次調査 | 56. 8.19～56. 9.12 | 8 | 11,307 |

開発協力技術指導

専門家派遣

| プロジェクト名 | 年度 | 人数 | 派遣期間 | 経費実績（千円） | 技術指導内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| コロラド河流域農業開発協力 | 56 | 2 | 56. 8.18～56. 9.16 | 9,923 | 土壌，流通市場 |

アルゼンティン

バルバドス

## 1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

| 形態＼年度（経費及び人数） | 29～50 | | 51 | | 52 | | 53 | | 54 | | 55 | | 56 | | 累計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） |
| 研修員 | 876 | 1 | — | | 2,456 | 2 | 944 | | 4,167 | 2 | 2,753 | 2 | 5,406 | 1 | 16,602 | 8 |
| 専門家 | — | | — | | — | | — | | — | | 876 | | 13,197 | 2 | 14,073 | 2 |
| 調査団 | — | | — | | — | | — | | — | | — | | — | | — | |
| 協力隊 | — | | — | | — | | — | | — | | — | | — | | — | |
| 機材供与 | — | | — | | — | | — | | — | | — | | 49,275 | | 49,275 | |
| その他 | — | | — | | — | | — | | — | | — | | 256 | | 256 | |
| 合計 | 876 | | — | | 2,456 | | 944 | | 4,167 | | 3,629 | | 68,134 | | 80,206 | |

(2) 形態別・分野別

| 形態＼分野 | 人数累計（人） | 計画・行政 | | 公共・公益事業 | | | | 農林・水産 | | | | 鉱工業 | | エネルギー | 商業・観光 | | 人的資源 | | 保健医療 | 社会福祉 | その他 | 経費累計（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 開発計画 | 行政 | 公益事業 | 運輸交通 | 社会基盤 | 通信・放送 | 農業 | 畜産 | 林業 | 水産 | 鉱業 | 工業 | | 商業・貿易 | 観光 | 人的資源 | 科学・文化 | | | | |
| 研修員 | 8 | | | | | | | 1 | | | 1 | | 2 | | 1 | 1 | | | 1 | 1 | | 16,602 |
| 専門家 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | 14,073 |
| 調査団 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | — |
| 協力隊 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | — |
| 機材供与 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 49,275 |
| その他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 256 |
| 合計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 80,206 |

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

| 分野／年度 | 合計 人数 | 計画・行政 | | 公共・公益事業 | | | | 農林・水産 | | | | 鉱工業 | | エネルギー | 商業・観光 | | 人的資源 | | 保健医療 | 社会福祉 | その他 | 経費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 開発計画 | 行政 | 公益事業 | 運輸交通 | 社会基盤 | 通信・放送 | 農業 | 畜産 | 林業 | 水産 | 鉱業 | 工業 | | 商業・貿易 | 観光 | 人的資源 | 科学・文化 | | | | |
| 50年度 | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 876 |
| 52 〃 | 2 | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | 2,456 |
| 53 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 944 |
| 54 〃 | 2 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | 4,167 |
| 55 〃 | 2 | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | 2,753 |
| 56 〃 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 5,406 |
| 合計 | 8 | | | | | | | 1 | | | 1 | | 2 | | 1 | 1 | | | 1 | 1 | | 16,602 |

専門家派遣事業

| 分野／年度 | 合計 人数 | 計画・行政 | | 公共・公益事業 | | | | 農林・水産 | | | | 鉱工業 | | エネルギー | 商業・観光 | | 人的資源 | | 保健医療 | 社会福祉 | その他 | 経費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 開発計画 | 行政 | 公益事業 | 運輸交通 | 社会基盤 | 通信・放送 | 農業 | 畜産 | 林業 | 水産 | 鉱業 | 工業 | | 商業・貿易 | 観光 | 人的資源 | 科学・文化 | | | | |
| 55年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 876 |
| 56 〃 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | 26,577 |
| 合計 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | 27,453 |

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

| 番 | 機材名 | 機材供与先 | 年度 | 機材供与経費（千円） |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 職業訓練用機材 | ジャックマン・プレスコット・バルバドス・サミュエル職業訓練校 | 56 | 35,895 |
| 計 | 1 件 | | | 35,895 |

ボリヴィア

## 1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

| 形態＼年度（経費及び人数） | 29～50 | | 51 | | 52 | | 53 | | 54 | | 55 | | 56 | | 累計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） |
| 研修員 | 139,793 | 112 | 46,198 | 28 | 68,869 | 37 | 75,082 | 39 | 80,412 | 34 | 40,006 | 13 | 83,255 | 40 | 533,615 | 303 |
| 専門家 | 103,986 | 14 | 51,993 | 9 | 176,481 | 24 | 238,024 | 24 | 142,883 | 20 | 169,827 | 26 | 315,943 | 42 | 1,199,137 | 159 |
| 調査団 | 404,870 | 73 | 331,679 | 54 | 556,450 | 70 | 141,431 | 27 | 249,852 | 58 | 347,091 | 63 | 568,752 | 96 | 2,600,125 | 441 |
| 協力隊 | － | | － | | 3,212 | | 21,188 | 8 | 31,450 | 1 | 33,523 | 10 | 43,657 | 4 | 133,030 | 23 |
| 機材供与 | 62,699 | | 9,150 | | 240,600 | | 261,587 | | 161,868 | | 153,908 | | 346,750 | | 1,236,562 | |
| その他 | 6,263 | | 8,038 | | 11,651 | | 6,537 | | 12,140 | | 14,606 | | 19,790 | | 79,025 | |
| 合計 | 717,611 | | 447,058 | | 1,057,263 | | 743,849 | | 678,605 | | 758,961 | | 1,378,147 | | 5,781,494 | |

(2) 形態別・分野別

| 形態＼分野 | 人数累計（人） | 計画・行政 | | 公共・公益事業 | | | | 農林・水産 | | | | 鉱工業 | | エネルギー | 商業・観光 | | 人的資源 | | 保健医療 | 社会福祉 | その他 | 経費累計（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 開発計画 | 行政 | 公益事業 | 運輸交通 | 社会基盤 | 通信・放送 | 農業 | 畜産 | 林業 | 水産 | 鉱業 | 工業 | | 商業・貿易 | 観光 | 人的資源 | 科学・文化 | | | | |
| 研修員 | 303 | 4 | 18 | | 41 | 28 | 63 | 13 | | 2 | | 40 | 5 | 18 | 3 | 1 | 6 | | 58 | | 3 | 533,615 |
| 専門家 | 159 | | | | 9 | 3 | 11 | 5 | 1 | | 6 | 31 | 4 | 1 | | | 11 | 4 | 71 | | 2 | 1,199,137 |
| 調査団 | 441 | | | | 110 | 96 | 29 | 18 | | 6 | | 105 | 19 | 29 | | | | | 29 | | | 2,600,125 |
| 協力隊 | 23 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | 8 | | 13 | 133,030 |
| 機材供与 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1,236,562 |
| その他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 79,025 |
| 合計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5,781,494 |

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

| 分野 / 年度 | 合計 人数 | 計画・行政 開発計画 | 計画・行政 行政 | 公共・公益事業 公益事業 | 公共・公益事業 運輸交通 | 公共・公益事業 社会基盤 | 公共・公益事業 通信・放送 | 農林・水産 農業 | 農林・水産 畜産 | 農林・水産 林業 | 農林・水産 水産 | 鉱工業 鉱業 | 鉱工業 工業 | エネルギー | 商業・観光 商業・貿易 | 商業・観光 観光 | 人的資源 人的資源 | 人的資源 科学・文化 | 保健医療 | 社会福祉 | その他 | 経費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 34年度 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 5,392 |
| 35 〃 | 2 | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| 36 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 37 〃 | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| 38 〃 | 3 | | | | 1 | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | |
| 39 〃 | 2 | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | 2,014 |
| 40 〃 | (1) 3 | | | | (1) | | 2 | | | | | | | | | | | | 1 | | | 2,017 |
| 41 〃 | (1) 6 | | | | (1) 1 | | 3 | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | 6,314 |
| 42 〃 | 10 | | | | 7 | | 2 | | | | | | | | | | 1 | | | | | 8,889 |
| 43 〃 | 5 | | | | 2 | | 2 | | | | | | | | | | 1 | | | | | 4,599 |
| 44 〃 | 7 | | | | 2 | 1 | 2 | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | 7,589 |
| 45 〃 | 9 | | | | 1 | | 3 | 1 | | | | 2 | | | | | | | 2 | | | 8,899 |
| 46 〃 | (1) 7 | | | | 2 | | 2 | | | | | 2 | | (1) | | 1 | | | | | | 8,761 |
| 47 〃 | 8 | 1 | | | 1 | | 2 | | | | | | | 1 | | | | | 2 | | 1 | 10,677 |
| 48 〃 | 10 | | | | 1 | 1 | 2 | | | | | 3 | | | 1 | | | | 1 | | 1 | 15,658 |
| 49 〃 | (2) 17 | | 1 | | 1 | 2 | (2) 4 | | | | | 3 | 1 | | | | 1 | | 3 | | 1 | 26,228 |
| 50 〃 | 21 | | 2 | | 1 | 4 | 4 | 2 | | | | 5 | 1 | | | | | | 2 | | | 32,756 |
| 51 〃 | 28 | | 1 | | 2 | 7 | 5 | 1 | | 1 | | 4 | 1 | 4 | | | | | 2 | | | 46,198 |
| 52 〃 | 37 | 1 | 1 | | 3 | 7 | 7 | 1 | | 1 | | 4 | | 1 | | | | | 11 | | | 68,869 |
| 53 〃 | 39 | 1 | 5 | | 2 | 3 | 9 | 1 | | | | 6 | 2 | 2 | | | | | 8 | | | 75,082 |
| 54 〃 | 34 | 1 | 3 | | 4 | 2 | 5 | 4 | | | | 3 | | 4 | | | | | 8 | | | 80,412 |
| 55 〃 | 13 | | | | 2 | 1 | 2 | | | | | 1 | | 1 | | | 1 | | 5 | | | 40,006 |
| 56 〃 | 36 | | 5 | | 7 | | 5 | 1 | | | | 4 | | 2 | 2 | | | | 10 | | | 78,181 |
| 合計 | (5) 299 | 4 | 18 | | (2) 41 | 28 | (2) 63 | 12 | | 2 | | 40 | 5 | (1) 18 | 3 | 1 | 5 | | 56 | | 3 | 528,541 |

（注） カッコは国際機関研修員で外数である。

ボリヴィア

専門家派遣事業

| 分野 / 年度 | 合計 人数 | 計画・行政 | | 公共・公益事業 | | | | 農林・水産 | | | | 鉱工業 | | エネルギー | 商業・観光 | | 人的資源 | | 保健医療 | 社会福祉 | その他 | 経費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 開発計画 | 行政 | 公益事業 | 運輸交通 | 社会基盤 | 通信・放送 | 農業 | 畜産 | 林業 | 水産 | 鉱業 | 工業 | | 商業・貿易 | 観光 | 人的資源 | 科学・文化 | | | | |
| 36年度 | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 2,736 |
| 37 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 38 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 39 〃 | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 2,789 |
| 40 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4,035 |
| 41 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4,131 |
| 42 〃 | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 6,639 |
| 43 〃 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 11,253 |
| 44 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 12,280 |
| 45 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 14,326 |
| 46 〃 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 8,187 |
| 47 〃 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 8,375 |
| 48 〃 | 2 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | 16,317 |
| 49 〃 | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 10,396 |
| 50 〃 | 5 | | | | | | | | | | 2 | | 2 | 1 | | | | | | | | 15,374 |
| 51 〃 | 7 | | | | | | 2 | | | | 2 | | | | | | 3 | | | | | 54,224 |
| 52 〃 | 9 | | | | 3 | | 1 | | | | | 3 | | | | | 2 | | | | | 122,204 |
| 53 〃 | 9 | | | | | | 2 | | | | | 5 | | | | | 2 | | | | | 156,578 |
| 54 〃 | 4 | | | | | | 1 | | | | 1 | 1 | | | | | 1 | | | | | 48,809 |
| 55 〃 | 13 | | | | 6 | 2 | | 2 | | | | 3 | | | | | | | | | | 108,583 |
| 56 〃 | 11 | | | | | 1 | 3 | 1 | | | | 2 | | | | | | 4 | | | | 183,590 |
| 合計 | 67 | | | | 9 | 3 | 11 | 4 | | | 6 | 17 | 2 | 1 | | | 8 | 4 | | | 2 | 790,826 |

青年海外協力隊派遣事業

| 分野／年度 | 合計 人数 | 計画・行政 | | 公共・公益事業 | | | | 農林・水産 | | | | 鉱工業 | | エネルギー | 商業・観光 | | 人的資源 | | 保健医療 | 社会福祉 | その他 | 経費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 開発計画 | 行政 | 公益事業 | 運輸交通 | 社会基盤 | 通信・放送 | 農業 | 畜産 | 林業 | 水産 | 鉱業 | 工業 | | 商業・貿易 | 観光 | 人的資源 | 科学・文化 | | | | |
| 51年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 202 |
| 52 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4,044 |
| 53 〃 | 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 | 29,127 |
| 54 〃 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 34,653 |
| 55 〃 | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | 4 | | 4 | 43,552 |
| 56 〃 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | | | 48,687 |
| 合計 | 23 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | 8 | | 13 | 160,265 |

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

| 番 | 機材名 | 機材供与先 | 年度 | 機材供与経費（千円） |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 測量機械 | 農林省農林開発企画庁 | 40 | 1,652 |
| 2 | 農機具 | コチャバン州立果樹栽培試験場 | 40 | 520 |
| 3 | かんがい用ポンプ | コチャバン州立果樹栽培試験場 | 42 | 2,622 |
| 4 | 測量用器具 | 農地改革院 | 44 | 1,720 |
| 5 | 微震計 | | 45 | 4,854 |
| | （同上　46年度支出分） | | 46 | 171 |
| 6 | X線回析蛍光両用分析装置 | 地質調査所 | 46 | 12,840 |
| 7 | 電話架設用機械 | ラパス電話公社 | 47 | 11,508 |
| 8 | 胸部疾患診療機材 | 国立胸部疾患病院 | 48 | 9,451 |
| 9 | がん対策用機材 | ラパス国立総合病院 | 50 | 4,510 |
| 10 | 鉱物検査用機材（X線回析装置） | サンアンドレス国立大学 | 53 | 14,780 |
| 11 | 鉱山開発機材 | 探鉱基金 | 54 | 20,504 |
| 12 | 地質関係機材 | 文部省 | 55 | 19,375 |
| 13 | 電気通信用機材 | ラパス電話公社・サンタクルス電話公社 | 56 | 19,892 |
| 14 | 水産養殖指導普及用機材 | 農牧省水産研究所 | 56 | 25,253 |
| 計 | 14　件 | | | 149,652 |

〔プロジェクト方式技術協力〕

技術協力センター事業

ボリヴィア

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 | | | | 専門家 | | | 機材供与 | | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 主要機材名 | 経費（千円） | |
| サンアンドレス大学鉱床学研究所<br>Institute of Economic Geology, San Andres University<br><br>協定等の種類：R／D<br>署名年月日：57. 5.<br>協力期間：<br>（当初）<br>57.5.20～62.5.19<br><br>相手国機関：<br>サンアンドレス大学鉱床学研究所<br><br>国内協力機関：<br>東北大学 | ボリヴィア国は，今日まで鉱業を主要産業としているが，その資源埋蔵量は年々枯渇しつつあり，同国政府は新たな鉱床を探査することを重要施策とし，国立サンアンドレス大学に鉱床学研究所を設立したが，同研究所の機能をさらに充実強化し，より高度の研究活動を行うためわが国に技術協力を要請してきた。<br>この要請に対し，わが国は昭和５６年９月に事前調査チームを派遣し，本件要請の内容，協力の可能性について調査した。さらに昭和５７年５月には実施協議チームを派遣して協力の具体的内容等に係る協議を行った結果，R／Dに署名が行われ，５年間のプロジェクト方式技術協力が開始されることとなった。<br>本件プロジェクトの協力分野は鉱床学，鉱物学での研究教育である。 | 56 | 事前調査 | 56. 9. 15～56. 10. 4 | 5 | 5,350 | | | | | | 5,350 |
| | | 57 | 実施協議 | | | | | | | | | |

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 専門家 人数 継続 | 新規 | 経費（千円） | 機材供与 主要機材名 | 経費（千円） | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 消化器疾患研究対策<br>Gastroenterology | ボリヴィア国政府よりわが国に対し，消化器疾患の分野における技術協力の要請があり，これを受けて昭和５１年３月に事前調査団を派遣し，同国の医療の実情や要請の背景を調査した。さらに昭和５１年１１月には実施調査団を派遣し，本件協力に関する日・ボ両国間の討議議事録（R／D）を取り極めた。<br>本プロジェクトの機能は，ラパス，コチャバンバ，スコレの３地域における，がんの早期診断を中心に疾病の予防，治療，衛生等地域住民の保健向上全般にわたるものであり，本プロジェクトはボリヴィア国政府の医療行政の主要な柱の一つである。<br>昭和５５年３月にR／Dによる協力期間が終了するに伴い，昭和５５年２月にエバリュエーション調査団を派遣し，これまでの協力の成果の評価を行い，当該プロジェクトのボリヴィア国側移管を検討した。<br>その結果，R／Dによる協力を向うＳカ年間，継続して実施することとし，その協力内容をボリヴィア国側関係者と協議した。<br>〔カウンターパート受入実績〕<br>年度 52 53 54 55 56<br>人数 18 4 4 | 50 | 事前調査 | 51.3.26～51.4.22 | (4) | 1/ (2,632) | | | | | | (2,632) |
| | | 51 | 実施調査 | 51.11.13～51.12.4 | 4 | 5,738 | | | | | | 5,738 |
| | | 52 | | | | | | 12 | 49,471 | 遠隔操作式X線テレビ装置 | (携)4,969<br>81,222 | 135,662 |
| 協定等の種類：R／D<br>署名年月日：51.11.26<br>協力期間：<br>（当初）<br>52.4.1～55.3.31<br>（延長）<br>55.4.1～58.3.31 | | 53 | | | | | 6 | 10 | 69,454 | X線装置，胃カメラ，顕微鏡 | (携)5,278<br>154,165 | 228,897 |
| | | 54 | エバリュエーション | 55.2.1～55.2.22 | 3 | 4,743 | 10 | (大)1<br>10 | 78,949 | 超音波診断装置 | (携)6,903<br>83,172 | 173,767 |
| | | 55 | （同上報告書作成） | | | (報) 120 | | | | | | 173,621 |
| | | 〃 | 機材修理 | 56.1.23～56.2.22 | 2 | (実) 156<br>4,096 | 9 | 11 | 61,244 | | (携)8,400<br>99,284 | |
| | | 〃 | （同上所属先補填） | | | (所) 321 | | | | | | |
| | | 56 | （同上所属先補填） | | | (所) 284 | | | | | | 189,176 |
| 相手国機関： | | 〃 | 計画打合せ | 56.7.31～56.8.14 | 3 | (実) 420<br>2,908 | 6 | 26 | 111,767 | | (携)14,254<br>59,543 | |
| 国内協力機関：<br>東邦大学医学部 | | | 1/ アルゼンティン，ボリヴィア医療協力事前調査，中南米一般参照，経費折半。 | | | | | | | | | |

保健医療協力事業（大学教授）

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 専門家 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 機材供与 主要機材名 | 経費（千円） | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 消化器内科 | （ボリヴィア，パナマ，コスタ・リカ）中南米一般を参照のこと。 | 54 | | | | | | (1) | (529) | | | (529) |
| | | 55 | | | | | (1) | | (107) | | | (107) |
| 消化器内科学 | | 54 | | | | | | 2 | 2,373 | | | 2,373 |
| | | 55 | | | | | 1 | | △16 | | | △16 |
| 病理学 | | 56 | | | | | | 2 | 2,336 | | | 2,336 |

保健医療協力事業（特別機材）

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 専門家 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 機材供与 主要機材名 | 経費（千円） | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| サンファンディオス総合病院 | | 54 | | | | | | | | 手術台，滅菌台 | 23,004 | 23,004 |
| | | 55 | | | | | | | | | 1,028 | 1,028 |

産業開発協力事業

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 専門家 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 機材供与 主要機材名 | 経費（千円） | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 亜鉛等有価鉱物回収開発技術協力<br>Technical Cooperation on The Recovery of Valuable Minerals from Complex Sulphide Ores | ボリヴィア共和国は石油，天然ガスを除く鉱産品が輸出総額の７０％を占め，同国の最大の外貨収入源となっており，このため同国政府も生産鉱種の多様化，国別製錬技術の強化向上，低品位錫鉱石の利用などを開発目標に掲げ，鉱業の充実化に努めている。<br>このような状況のもとに，同国はその鉱 | 50 | 事前調査 | 51. 3. 30～51. 4. 28 | 4 | (人) 290 (外) 660 4,791 | | | | | | 5,741 |
| | | 51 | 実施調査 | 52. 1. 27～52. 2. 25 | 5 | 13,647 | | 2 | 4,746 | | 2,173 | 20,566 |
| | | 52 | | | | 266 | 2 | 3 | 15,480 | | 138,005 | 153,751 |
| | | 53 | 巡回指導 | 53. 5. 27～53. 6. 11 | 4 | (人) 244 3,869 | 1 | 4 | 27,214 | 浮遊選鉱試験用プラント | (機) 2,447 59,815 | 93,589 |
| | | 54 | | | | 296 | 3 | 4 | 32,701 | | 618 | 33,615 |
| | | 55 | | | | (実) 70 | — | 2 | 14,852 | | (機) 1,379 | 16,301 |

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 | | | | 専門家 | | | 機材供与 | | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 主要機材名 | 経費（千円） | |
| 協定等の種類：R／D<br>署名年月日：52.2.21<br>協力期間：<br>（当初）<br>52.2.21～55.2.20<br>（フォローアップ）<br>55.2.21～56.2.20<br>相手国機関：<br>COMIBOL<br>国内協力機関： | 業政策の一環として，同国鉱山公社（COMIBOL）所有鉱山の複雑硫化鉱中の未利用の亜鉛，鉛，銀，錫等の未利用有価鉱物の回収技術の研究・開発のため，特にわが国に浮遊選鉱技術分野での協力を強く要請してきた。<br>この要請に対し，わが国は昭和51年3月に事前調査を実施し，さらに昭和52年1月には実施調査を行い討議議事録に署名した。<br>その結果，協力期間は3年間，協力の対象は同国鉱山公社所属のコルキリ鉱山，およびポリバール鉱山として次の協力を行うこととなった。<br>① コルキリ鉱山：現存の設備を利用して，浮遊選鉱法により錫・亜鉛等を回収する技術協力を実施するため，専門家の派遣，研修員の受入れを行う。<br>② ポリバール鉱山：浮遊選鉱法により錫・亜鉛・鉛および銀を回収する技術協力を実施するため，専門家の派遣，研修員の受入れ，および機材供与を行う。<br>〔カウンターパート受入実績〕 | 56 | | | | | 1 | － | 3,817 | | | 3,817 |

| 年度 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 人数 | 4 | | | 1 | 0 | 0 |

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

ボリヴィア

| No. | プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | アフリカ・南米地図作成事業事前調査 | 世界一般を参照のこと。（ナイジェリア，タンザニア，ブラジル，ボリヴィア） | 47 | 事前調査 | 48. 3.10~48. 4. 4 | (5) | (1,693) |
| 2 | 電気通信計画調査 | 主要都市間のマイクロウェーブ回線網建設計画について調査。 | 37 | 投 | 37.11.30~38. 2. 8 | 5 | 6,448 |
| 3 | 甘しょう栽培造成計画調査 | 砂糖の自給化を図るため精糖事業の拡張を計画している。この調査はその前提となる砂糖原料を確保するためベルホメ地区の甘しょう栽培地造成計画について行った。 | 37 | 投 | 37.12.28~38. 3. 6 | 4 | 3,979 |
| 4 | 道路網拡張計画調査 | ボリヴィア国は，大きく分けて高地地帯，渓谷地帯及び平原地帯からなり，標高500 mから4,000と極端な地形となっているため，運輸交通施設が未整備の状態におかれており，経済開発推進の大きなあい路となっている。このため1970 年から１０カ年にわたる全国道路網拡張計画（総延長3,000 km）を実施中であるが，このうち，今回の調査では No.１，２，６，８，13 号路線の５本を対象とし，No.８と１３号路線については既存のフィージビリティ調査報告のアプレイザルを行い，No.１，２及び６号路線についてはフィージビリティ調査を実施するとともに，建設機械の調査を行った。 | 49 | 実施調査 | 49. 5.10~49. 6.11 | 10 | 25,474 |
| 5 | チャパレー地区地図作成調査 | コチャバンバ州チャパレー地区の各種開発計画の立案に必要な基礎資料となる地図（縮尺１／50,000，図化対象面積約20,000 km）の作成を行うものであり，同国全土をカバーする国土基本図の一部となるものである。昭和５２年度は最終年次（第４年次）作業として図化，スクライブ作業，現地補備測量，印刷作業を行った。<br>昭和５３年度は昭和４９年度より開始した本作業の結果を取りまとめ，１／50,000の地図，４４面の成果品を先方政府に提出した。 | 49 | 事前調査 | 49. 5.29~49. 7.10 | 6 | 13,393 |
| | | | 〃 | 実施調査 | 49.11.29~49.12.13 | 2 | 2,639 |
| | | | 50 | 実施調査 | 50. 5.13~50.10.28 | 26 | 284,924 |
| | | | 51 | 実施調査 | 51. 7.13~51.10.27 | 27 | 228,431 |
| | | | 52 | 実施調査 | 52.11.29~52.12.25 | 8 | 221,246 |
| | | | 53 | 報告書説明 | 53. 6.21~53. 7. 2 | 4 | 4,904 |
| 6 | ビルビル国際空港建設計画調査 | ボリヴィア国は，道路網の整備が十分でなく，そのため空路が輸送の重要な役割を果たしている。このような状況の下で，ボリヴィア国政府は空港整備拡張計画を進めているがサンタクルス市のエル・トロンビジョ現空港は市街の中心に位置するところから国際空港としての機能整備が困難であり，また，住民への各種公害が予想されることなどから郊外に新空港を建設することとし，そのフィージビリティー調査をわが国に要請してきた。この要請に基づき，昭和 | 51 | 事前調査 | 52. 2.19~52. 3.20 | 8 | 22,271 |
| | | | 52 | 実施調査 | 52. 5.27~52. 7.26 | 14 | 101,806 |
| | | | 〃 | 実施調査 | 52. 7. 8~52. 7.26 | 3 | |
| | | | 〃 | 実施調査 | 52. 9.16~52. 9.26 | 4 | |
| | | | 〃 | 実施調査 | 52.11. 4~52.11.17 | 5 | |

| 番 | プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ５１年度に事前調査を実施し，昭和５２年度はフィージビリティー調査の後，ドラフト・レポートを作成し，現地政府に説明をした。 | | | | | |
| 7 | 消化器疾患研究センター建設計画調査 | ボリヴィア政府よりラパスにある国立サンアンドレス大学医学部付属クリニスカ病院の消化器疾患研究センター建設に関する協力要請があった。要請に基づき建設計画にかかわる基本設計調査を実施し，調査結果をもとに国内で設計を行い，ドラフトをとりまとめた。ボリヴィア政府に説明し，確認を行った。本案件は昭和５２年４月１日より３年間，消化器疾患の分野でラパスを中心にコチャバンバ，スクレの３大学医学部付属病院に対して行われている医療技術協力との関連プロジェクトである。 | 52 | 特 | 52. 5.19～52. 7. 6 | 11 | 43,687 |
| | | | 〃 | 特 | 52. 9.11～52. 9.25 | 3 | |
| 8 | 鉄道復旧計画調査 | 昭和５３年暮から翌年１月末まで降り続いた豪雨によりボリヴィア国サンタクルス州が水害に襲われ，同州を通過している幹線鉄道の水没，路盤の流失，鉄橋の倒壊等，多大の被害を受けた。ボリヴィア国政府は本鉄道の早急な復旧のため，経済技術協力をわが国に要請越した。これに対しわが国は，①東部路線サンタクルス～コルンバ間に関する災害区間（エルポルトン～ロボレ間約40㎞）のルート変更についてのＦ／Ｓ，②同災害区間の復旧工事計画書，③西部路線オルロー～コチャバンバ間のルート変更についてのＦ／Ｓ現地調査を実施した。<br>昭和５５年度は，Ｆ／Ｓの結果に基づき，新線迂回案の入札図書の作成を実施した。<br>昭和５６年度は在来線復旧案に基づく入札図書の作成を実施した。 | 54 | 事前調査 | 54. 4.17～54. 5. 7 | 3 | 3,540 |
| | | | 〃 | 実施調査 | 54. 7.10～55. 3. 4 | 18 | 89,625 |
| | | | 55 | 実施調査 | （報告書作成） | 0 | 178 |
| | | | 〃 | 実施調査 | 55. 5.24～55. 8.12 | 19 | 178,859 |
| | | | 〃 | 実施調査 | 55.11.25～55.12.23 | 7 | |
| | | | 〃 | 実施調査 | 56. 3. 8～56. 3.20 | 5 | |
| | | | 56 | 実施調査 | 56. 5.22～56. 7.20 | 18 | 143,244 |
| | | | 〃 | 実施調査 | 57. 1.29～57. 2.12 | 6 | |
| 9 | チャパレー農業開発計画調査 | ボリヴィア政府のチャパレー地域に関する開発要請にもとづき，昭和５３年度に同国チャパレー地域約200万haに対して縮尺５分の１の地形図を作成したが，本件は上記地形図とともに同地域の農林業開発のよりどころとなる土地利用図を作成するものである。 | 54 | 事前調査 | 54, 4, 8～54. 4.28 | 5 | 8,891 |
| | | | 〃 | 実施調査 | 55. 2.28～55. 3.21 | 9 | 37,829 |
| 10 | ラパス医療技術専門学校基本設計調査 | 同国の公衆衛生と医療サービスは未だ低水準にあると同時に，都市部と農村部の地域格差も大きい。こうした問題点を解消するため，同国政府は医療水準の向上，特に僻地の医療サービスの改善に力を入れている。しかし，僻地医療 | 55 | 特 | 55. 4.15～55. 5. 5 | 7 | 30,797 |

ボリヴィア

| 番 | プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | サービスに従事する医療中間技術者の数は大幅に不足しているため，同国政府は准看護婦，栄養士，X線検査技師等の中間技術者の養成を図るため，医療技術専門学校の設立を計画，わが国に無償資金協力を要請した。この要請に基づき，55年度は基本設計調査を実施した。 | | | | | |
| 11 | 電気通信網整備計画調査 | 全人口の7割が住む地方を対象とした国内電気通信網計画のF／Sにつき，56年度はS／Wの協議を目的とした事前調査を実施し，引続き現地本格調査および国内解析を行い，D／F報告書の説明，協議を行った。 | 56 | 事前調査 | 56. 6.22～56. 7. 9 | 4 | 4,913 |
| | | | 〃 | 実施調査 | 56.10. 1～56.12. 9 | 12 | 56,028 |
| | | | 〃 | 実施調査 | 56.11.17～56.12. 9 | 2 | |
| | | | 〃 | 実施調査 | 57. 3.17～57. 3.31 | 6 | |
| 12 | トリンダ母子病院建設計画調査 | 医療事情が極めて劣悪なベニ州の医療サービスの改善を目的として，同地域の医療行政の中核となる母子病院の建設に係る基本設計調査を実施した。 | 56 | 特 | 56. 7.25～56. 8.14 | 6 | 32,785 |
| | | | 〃 | 特 | 56.10.30～56.11.11 | 4 | |

海外開発計画調査事業

| 番 | プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 木材利用工業調査 | （ボリヴィア，パラグァイ）<br>中南米一般を参照のこと。 | 39 | 海 | 40. 1.12～40. 2.25 | (5) | (3,198) |
| 2 | 電源開発計画調査 | 電力開発の期待される3地点（サンタ・イサベル，サンハシント，アルトビルコマヨ）について調査を行い，開発方針について検討した。 | 38 | 海 | 38.11. 5～38.12.19 | 6 | 7,695 |
| 3 | 亜鉛製錬計画調査 | ボリヴィア共和国に亜鉛製錬プラントを設置するのについての亜鉛原料の現状と見通し，最高製錬規模，製錬方法の選定，副産される硫酸の利用法等について経済的，技術的調査を行った。 | 49 | 海 | 50. 2.21～50. 3.26 | 9 | 25,356 |
| | | | 50 | 海 | 50. 7.25～50. 8. 3 | 1 | 24,072 |
| 4 | ピラヤ川水力発電開発計画調査 | ボリヴィア国は，社会開発5カ年計画（1976～80年）に含まれる南部水力発電プロジェクトを，トッププライオリティとして検討している。同国西部タリハ地域には鉱山，化学工場，ピラモンテスの食油工場の電力需要，タリハ市の電灯需要増が予想され，これに対処するため，ピルコマヨ川及びピラヤ川に | 52 | 海（予備） | 53. 1.19～53。2.11 | 3 | 15,982 |
| | | | 54 | 海 | 54. 9.26～54.10.31 | 6 | 31,392 |
| | | | 55 | 海 | 55. 5.19～55.10. 4 | 2 | 59,577 |
| | | | 〃 | 海 | 55.12.13～55.12.27 | | |

| 番 | プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 水力発電の開発候補地点が検討された。本計画は，これらのうちわが国に対してピラヤ川のファカタ地区のフィージビリティー調査の要請があったものである。昭和５２年度の予備調査に引き続き，昭和５４年度はＦ／Ｓ調査を実施した。<br>昭和５５年度は，土木，地質および電気関連調査を実施するとともに，国内解析作業を行った。 | 56 | 海 | 56. 6.19～56. 8. 2 | 7 | 62,076 |
| | | | 〃 | 海（報告） | 57. 2.14～57. 2.28 | 3 | 10,719 |
| 5 | 鉱山施設近代化計画調査 | ボリヴィア国における最大の錫鉱山であるカタビ鉱山に関し地質，選鉱，鉱山機械等の分野のみならず鉱山経営全体を見直し，同鉱山の再建を図ろうとするものである。<br>昭和５５年度は，COMIBOLとＳ／Ｗ協議を実施し，昭和５６年度はカタビ鉱山の現状の把握と試料および資料を収集し，国内で各種試験を行い改善すべき問題点を抽出し，第２年次の近代化計画策定のための指針を作成した。 | 55 | 海（事前） | 56. 2. 3～56. 3. 4 | 5 | 15,378 |
| | | | 56 | 海 | 56. 7.13～56. 9.25 | 9 | } 100,688 |
| | | | 〃 | 海（報告） | 57. 2. 1～57. 2.10 | 2 | |

資源開発協力基礎調査事業

ボリヴィア

| 番 | プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 南部サンビセンテ地区資源開発協力基礎調査 | ○　鉱物資源の賦存の可能性調査。調査期間は，昭和５１年度から３年間。 | 51 | 資 | 51．6．4～52．2.23 | 10 | 60,872 |
| | | ○　調査対象地域はサンビセンテ地域の面積約 300 ㎢の地域。 | 52 | 資 | 52．8.26～52.12.13 | 20 | 175,949 |
| | | ○　５１年度は亜鉛鉱床の品位，規模等を確認することを目的として地質調査を実施。 | 53 | 資 | 53．5．3～53.11.17 | 19 | 131,668 |
| | | ○　５２年度から５３年度にかけて地質調査，物理探査，ボーリングを実施した。 | | | | | |
| 2 | 資源開発協力基礎調査フォローアップ調査 | （ボリヴィア，ペルー）<br>中南米一般を参照のこと。 | 54 | 資 | 54．8.10～54．9．2 | (4) | (964) |
| 3 | グランチョカヤ地区資源開発協力基礎調査 | ボリヴィア共和国ポトシ州アトチャ西方の Animas および Siete Suyos 両鉱山を内包する面積約 280 ㎢の地区を対象に金属鉱床を対象とする地質調査を行うもの。 | 54 | 資 | 54．6．6～54.11．1 | 15 | 63,794 |
| | | | 55 | 資 | 55.11.14～56．2.22 | 14 | 56,898 |
| | | | 〃 | 資 | 56．2.23～56．3.31 | | |
| | | 昭和５４年度は，事前協定折衝団を派遣し，ボリヴィア政府およびボリヴィア鉱山会社（COMIBOL）と調査に関する事前の打合せを行った。 | 56 | 資 | （国内作業・報告書作成） | | 49,131 |
| | | 昭和５５年度は地質調査，物理探査，ボーリングを行った。 | 56 | 資 | 56．7.10～56.10.30 | 9 | 91,559 |
| | | 昭和５６年度は，ブルトン脈の南西鑛先延長で確認されたＩＰ異常およびグランチョカヤ地区周辺に認められる多数の石英脈に対して深部鉱況把握のためボーリング調査を実施した。また同国南部エスモラカ周辺の鉱徴地に対して地質調査（予察）を実施した。 | 〃 | 資 | 56．7.24～56.10.30 | | |
| | | | 〃 | 資 | 56．9.16～56.10．9 | | |
| | | | 〃 | 資 | 57．1.17～57．1.27 | | |

〔開発協力方式技術協力〕

開発基礎調査

| プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| サンタ・クルス地区森林造成 | ボリヴィア国サンタ・クルス州地域は有用樹種に恵まれた地域で開発適地と見られているが，道路等のインフラ整備が不充分であるため，これまで開発が進んでいなかった。 | 54 | 基礎二次調査 | 54.10.11 ～54.11.11 | 6 | 11,063 |
| | | 55 | | （報告書作成） | | 97 |
| | 本件は，同地域の開発に必要な伐出計画および，それにもとづく関連施設整 | | | | | |

| プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 備計画を策定し，同時に未利用樹開発等の可能性を明らかにすることにより，わが国民間企業へのインセンティブを与えることを目的とするものである。 | | | | | |

〔無償資金協力〕

実施促進調査

| 番 | 対象案件名 | 概　　要 | 年度 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ボリヴィア・トリニダート母子病院建設計画<br>公衆衛生技術専門学校建設計画<br>パナマ・がん研究センター医療機材整備計画 | （ボリヴィア，パナマ）<br>中南米一般を参照のこと。 | 56 | 57．3．7～57．3.20 | (3) | (1,256) |

ブラジル

## 1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

| 年度 / 経費及び人数 / 形態 | 29～50 | | 51 | | 52 | | 53 | | 54 | | 55 | | 56 | | 累計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） |
| 研修員 | 548,157 | 524 | 107,504 | 66 | 146,522 | 84 | 181,118 | 97 | 201,048 | 114 | 352,212 | 167 | 433,986 | 187 | 1,970,547 | 1,239 |
| 専門家 | 668,393 | 135 | 230,775 | 24 | 307,334 | 29 | 383,719 | 44 | 476,990 | 36 | 558,535 | 58 | 618,887 | 50 | 3,244,633 | 376 |
| 調査団 | 297,433 | 149 | 119,547 | 58 | 107,016 | 48 | 221,225 | 88 | 72,913 | 49 | 264,373 | 110 | 338,870 | 77 | 1,421,377 | 579 |
| 協力隊 | — | | — | | — | | — | | — | | — | | — | | — | |
| 機材供与 | 553,579 | | 149,989 | | 351,731 | | 289,715 | | 272,706 | | 437,345 | | 738,636 | | 2,793,701 | |
| その他 | 14,438 | | 11,117 | | 9,544 | | 16,888 | | 13,200 | | 27,571 | | 24,258 | | 117,016 | |
| 合計 | 2,082,000 | | 618,932 | | 922,147 | | 1,092,665 | | 1,036,857 | | 1,640,036 | | 2,154,637 | | 9,547,274 | |

(2) 形態別・分野別

| 分野 / 形態 | 人数累計（人） | 計画・行政 | | 公共・公益事業 | | | | 農林・水産 | | | | 鉱工業 | | エネルギー | 商業・観光 | | 人的資源 | | 保健医療 | 社会福祉 | その他 | 経費累計（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 開発計画 | 行政 | 公益事業 | 運輸交通 | 社会基盤 | 通信・放送 | 農業 | 畜産 | 林業 | 水産 | 鉱業 | 工業 | | 商業・貿易 | 観光 | 人的資源 | 科学・文化 | | | | |
| 研修員 | 1,239 | 58 | 86 | 25 | 123 | 63 | 98 | 206 | 24 | 24 | 40 | 23 | 129 | 68 | 75 | 10 | 45 | | 114 | 15 | 13 | 1,970,547 |
| 専門家 | 376 | 7 | 4 | | 36 | 18 | 8 | 99 | 9 | 24 | 11 | 22 | 40 | 18 | 3 | | 26 | | 47 | 1 | 3 | 3,244,633 |
| 調査団 | 579 | 46 | 45 | | 16 | 46 | | 203 | 6 | 50 | 5 | 46 | 47 | 6 | 10 | | 10 | | 20 | | 23 | 1,421,377 |
| 協力隊 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | — |
| 機材供与 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2,793,701 |
| その他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 117,016 |
| 合計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 9,547,274 |

## 2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

| 分野 / 年度 | 合計 人数 | 計画・行政 | | 公共・公益事業 | | | | 農林・水産 | | | | 鉱工業 | | エネルギー | 商業・観光 | | 人的資源 | | 保健医療 | 社会福祉 | その他 | 経費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 開発計画 | 行政 | 公益事業 | 運輸交通 | 社会基盤 | 通信・放送 | 農業 | 畜産 | 林業 | 水産 | 鉱業 | 工業 | | 商業・貿易 | 観光 | 人的資源 | 科学・文化 | | | | |
| 35年度 | 7 | | | | | | | | | | | 1 | 3 | 2 | 1 | | | | | | | |
| 36 〃 | 9 | 2 | | | | | | 2 | | 1 | | | 4 | | | | | | | | | |
| 37 〃 | (1) 13 | 1 | | | 1 | | | 4 | | | (1) 1 | | 4 | 1 | | | 1 | | | | | 26,412 |
| 38 〃 | 7 | 1 | | | 1 | | | | | | | | 3 | 2 | | | | | | | | |
| 39 〃 | (1) 10 | | | | 2 | | 1 | 3 | | | 1 | | 1 | 2 | | | (1) | | | | | 7,119 |
| 40 〃 | (1) 15 | | | | 1 | 3 | 1 | 4 | | 1 | | | | (1) 5 | | | | | | | | 13,487 |
| 41 〃 | 31 | | | | 11 | 3 | 3 | 5 | | 1 | 2 | | 3 | 2 | 1 | | | | | | | 19,865 |
| 42 〃 | 31 | | | 1 | 3 | | 3 | 5 | | 2 | 1 | | 3 | 6 | 2 | | 1 | | 1 | | 3 | 27,980 |
| 43 〃 | (1) 29 | | 2 | | 3 | (1) 1 | 5 | 1 | 2 | 1 | | | 6 | 6 | 2 | | | | | | | 27,280 |
| 44 〃 | (1) 48 | 1 | 4 | | (1) 2 | | 4 | 11 | 2 | 1 | 1 | 1 | 5 | 7 | 2 | | 2 | | 4 | | 1 | 33,991 |
| 45 〃 | 59 | | 2 | | 4 | 1 | 8 | 19 | 2 | | 4 | | 2 | 5 | 4 | | 1 | | 6 | | 1 | 45,965 |
| 46 〃 | (1) 19 | | 1 | | | | 9 | (1) 1 | 1 | | | 1 | 2 | 4 | | | | | | | | 16,382 |
| 47 〃 | 45 | 1 | 2 | | 4 | 3 | 9 | 4 | 1 | 1 | 2 | | 2 | 4 | 5 | 1 | 3 | | 3 | | | 50,675 |
| 48 〃 | 67 | 3 | 3 | 2 | 10 | 1 | 5 | 11 | 2 | 1 | 3 | 1 | 7 | 2 | 6 | 2 | 2 | | 4 | | 2 | 89,180 |
| 49 〃 | 62 | 1 | 5 | | 7 | 4 | 9 | 1 | | 1 | 1 | 2 | 6 | 4 | 6 | 1 | 3 | | 9 | | 2 | 67,466 |
| 50 〃 | 72 | 2 | 5 | 2 | 5 | 9 | 2 | 11 | 2 | | 2 | 1 | 9 | 2 | 3 | | 2 | | 12 | | 3 | 122,355 |
| 51 〃 | 66 | 8 | 9 | 3 | 6 | 3 | 1 | 12 | | | 4 | | 5 | 1 | 6 | | 2 | | 5 | 1 | | 107,504 |
| 52 〃 | (2) 84 | 7 | 4 | 2 | 9 | 5 | 2 | 19 | 3 | 1 | 2 | | (2) 5 | 4 | 7 | 1 | 3 | | 9 | 1 | | 146,522 |
| 53 〃 | (1) 97 | 8 | 9 | 3 | 12 | 3 | 6 | 18 | | 2 | 4 | 1 | (1) 9 | 1 | 8 | 1 | 1 | | 9 | 2 | | 181,118 |
| 54 〃 | (1) 112 | 7 | 12 | 1 | 7 | 9 | 6 | 18 | | 2 | 5 | 3 | 11 | 2 | 7 | 1 | 5 | | (1) 13 | 3 | | 198,341 |
| 55 〃 | (2) 164 | 10 | 11 | 3 | 11 | 13 | 13 | 22 | 2 | 3 | 3 | 6 | (1) 20 | 4 | 10 | 1 | (1) 11 | | 18 | 3 | | 348,380 |
| 56 〃 | (1) 170 | 6 | 17 | (1) 8 | 24 | 5 | 11 | 26 | 3 | 6 | 4 | 6 | 18 | 2 | 5 | 2 | 1 | | 20 | 5 | 1 | 397,708 |
| 合計 | (13) 1,217 | 58 | 86 | (1) 25 | (1) 123 | (1) 63 | 98 | (1) 197 | 20 | 24 | (1) 40 | 23 | (4) 128 | (1) 68 | 75 | 10 | (2) 38 | | (1) 113 | 15 | 13 | 1,927,730 |

（注） カッコは国際機関研修員で外数である。

ブラジル

専門家派遣事業

| 分野 / 年度 | 合計 人数 | 計画・行政 | | 公共・公益事業 | | | | 農林・水産 | | | | 鉱工業 | | エネルギー | 商業・観光 | | 人的資源 | | 保健医療 | 社会福祉 | その他 | 経費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 開発計画 | 行政 | 公益事業 | 運輸交通 | 社会基盤 | 通信・放送 | 農業 | 畜産 | 林業 | 水産 | 鉱業 | 工業 | | 商業・貿易 | 観光 | 人的資源 | 科学・文化 | | | | |
| 33年度 | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| 34 〃 | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | |
| 35 〃 | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| 36 〃 | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 15,283 |
| 37 〃 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| 38 〃 | 2 | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | |
| 39 〃 | 6 | | | | | | | 4 | | | | | 2 | | | | | | | | | 7,534 |
| 40 〃 | 2 | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | 13,341 |
| 41 〃 | 7 | | | | | | 2 | | | 3 | 2 | | | | | | | | | | | 23,878 |
| 42 〃 | 9 | | | | 5 | | | 1 | | | | | 2 | | | | | | | | 1 | 30,090 |
| 43 〃 | 6 | | | | 1 | | | 2 | | | 1 | | 1 | | | | 1 | | | | | 19,523 |
| 44 〃 | 8 | | | | 5 | | | 1 | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | 31,545 |
| 45 〃 | 10 | | | | | | | 4 | | | | | 3 | | | | 1 | | | | 2 | 38,404 |
| 46 〃 | 13 | | 2 | | | | | 4 | 1 | | | 2 | | 2 | | | 2 | | | | | 47,479 |
| 47 〃 | 8 | | | | 1 | 1 | | 4 | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | 38,408 |
| 48 〃 | (1) 6 | | | | 1 | 1 | | 2 | | | 1 | | (1) | | | | 1 | | | | | 58,050 |
| 49 〃 | 12 | | | | | | | 2 | | | 4 | | | 6 | | | | | | | | 101,776 |
| 50 〃 | 10 | | | | 1 | 1 | | 2 | | 1 | 2 | | 2 | | 1 | | | | | | | 115,882 |
| 51 〃 | 16 | | | | | 4 | 1 | 1 | | 3 | | | 3 | 2 | | | 2 | | | | | 158,395 |
| 52 〃 | 17 | 1 | | | 2 | | 1 | 2 | | 4 | | | 3 | 2 | | | 2 | | | | | 205,268 |
| 53 〃 | 19 | | | | 9 | | 1 | 3 | 1 | 1 | | | 3 | 1 | | | | | | | | 192,683 |
| 54 〃 | 8 | | | | | | | 1 | 2 | | | 1 | 2 | 1 | 1 | | | | | | | 205,300 |
| 55 〃 | 21 | | | | 9 | 3 | 1 | 2 | 1 | | | | 4 | 1 | | | | | | | | 227,878 |
| 56 〃 | 14 | | 2 | | 2 | | 1 | 1 | 1 | | | 2 | 4 | 1 | | | | | | | | 244,144 |
| 合計 | (1) 199 | 1 | 4 | | 36 | 10 | 7 | 41 | 8 | 12 | 11 | 5 | (1) 30 | 18 | 2 | | 10 | | 1 | | 3 | 1,774,861 |

(注) カッコは国際機関専門家で外数である。

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

ブラジル

| 番 | 機材名 | 機材供与先 | 年度 | 機材供与経費（千円） |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 熱帯医学研究用機材 | 国立レシフェ大学熱帯医学研究所 | 39 | 1,019 |
| 2 | 電子吸光分光光度計 | 北伯農事試験場 | 43 | 2,287 |
| | （同上44年度支出分） | | 44 | 160 |
| 3 | 植物病理研究機材 | 北伯農事試験場 | 45 | 1,500 |
| | （同上46年度支出分） | | 46 | 415 |
| 4 | 柑きつ病研究用機材 | サンパウロ州農務局生物研究所 | 45 | 1,705 |
| | （同上46年度分支出分） | | 46 | 140 |
| 5 | 林産研究機材 | ペルナンブコ大学 | 46 | 1,552 |
| | （同上47年度分支出分） | | 47 | 113 |
| 6 | がん研究用機材 | サンチャゴ・サンボディア病院 | 46 | 4,313 |
| | （同上47年度支出分） | | 47 | 102 |
| 7 | 視聴覚機材 | 漁業院 | 47 | 323 |
| 8 | 家畜衛生研究機材 | 農業省南部農業研究所 | 48 | 2,080 |
| 9 | 林業研究用機材 | 国立アマゾン研究所 | 48 | 2,257 |
| 10 | がん対策用機材 | サンパウロ総合大学 | 48 | 6,778 |
| 11 | 土壌分析機材 | 北伯農事試験場 | 48 | 4,685 |
| 12 | がん対策用機材 | アマゾニア病院 | 49 | 9,621 |
| 13 | 漁業調査船装備機材 | サンパウロ海洋漁業研究所 | 50 | 24,782 |
| 14 | 繊維試験機材 | ペルナンブコ財団工員養成所 | 52 | 10,751 |
| 15 | 放射線実験機材 | サンパウロ原子力研究所 | 52 | 18,900 |
| 16 | 原子力研究用機材（コバルト60照射装置） | サンパウロ原子力研究所 | 53 | 11,856 |
| 17 | 農業研究機材 | パラ州熱帯湿潤研究センター | 54 | 8,420 |
| 18 | 園芸研究機材 | サンレアキン農業試験場 | 54 | 11,230 |
| 19 | 寄生虫病学機材 | リオグランデ・ド・スール大学 | 55 | 8,956 |
| 計 | 19 件 | | | 133,945 |

〔プロジェクト方式技術協力〕

技術協力センター事業

ブラジル

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 調査の種類 | 調査団 調査期間 | 調査団 人数 | 調査団 経費（千円） | 専門家 人数 継続 | 専門家 人数 新規 | 専門家 経費（千円） | 機材供与 主要機材名 | 機材供与 経費（千円） | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 繊維工業技術訓練センター<br>協定等の種類：協定<br>署名年月日：37.3.28<br>協力期間：<br>（当初）<br>37.3～43.7<br>（延長）<br>43.7～45.7<br>（再延長）<br>45.7～48.11 | 昭和36年6月，ブラジル政府の要請により，4名からなる技術調査団をブラジルに派遣した結果，東北ブラジルのレシフェ市に，繊維工業技術訓練センターを設置することを決定，昭和37年3月協定が正式に調印された。<br>本センターは東北ブラジル開発庁（SUDENE）の所管のもとに，同国内の職業訓練機関であるSENAIの訓練施設の1つとして，綿紡績の職長級技術者の再訓練を行い，紡績工場の操業，保全品質管理技術に関する教育訓練を実施し，工場中堅技術者を養成しようとするものである。本センターの訓練内容は，混打綿，梳綿，コーマ，練篠および粗紡，精紡および撚糸，織布準備，織布，試験および品質管理の各コースを6カ月を1期とし，1期平均40名の訓練を実施した。<br>わが国は昭和37年度予算で8,000万円に及ぶ機材を供与するとともに，昭和39年に専門家チームを派遣し，昭和40年7月，本センターの開所をみた。昭和43年度には染色仕上部門を増設し，これにともない昭和45年度からは個別専門家派遣による協力に切替えた。なお紡績及び織布部門は昭和46年12月をもって，染色仕上 | 36 | | | 4 | … | | | | | | … |
| | | 37 | | | | | | | | | 79,987 | 79,987 |
| | | 38 | | | | | — | 2 | 1,389 | | | 1,389 |
| | | 39 | | | | | 2 | 4 | 15,830 | | | 15,830 |
| | | 40 | | | | | 6 | — | 16,443 | | | 16,443 |
| | | 41 | | | | | 6 | — | 14,725 | | 2,542 | 17,267 |
| | | 42 | 実施調査 | | ※3 | … | 5 | — | 13,392 | | | … |
| | | 43 | （同上43年度支出分） | | | 250 | 3 | 1 | 13,032 | | 79,180 | 92,462 |
| | | 44 | | | | | 4 | — | 11,267 | | 263 | 11,530 |
| | | 45 | | | | | 3切替（※3） | ※3 | 4,561 | | 3,581 | 8,142 |
| | | 46 | | | | | ※5 | — | … | | | … |
| | | 47 | エバリュエーション | | ※(2) | 1/ ※(605) | ※2 | ※1 | … | | 21,239 | … |
| | | 48 | | | | | ※2 | | … | | 9,326 | … |
| | | 49 | | | | | | | | | | |
| | | 50 | | | | | | | | | | |
| | | 51 | | | | | | | | | | |
| | | 52 | | | | | | | | | | |
| | | 53 | | | | | | | | | 2,116 | 2,116 |

1/ ブラジル繊維工業センター，メキシコ電通センターの2センターのエバリュエーション調査，中南米一般参照，経費折半。

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 調査の種類 | 調査団 調査期間 | 調査団 人数 | 調査団 経費（千円） | 専門家 人数 継続 | 専門家 人数 新規 | 専門家 経費（千円） | 機材供与 主要機材名 | 機材供与 経費（千円） | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 部門は昭和48年11月をもってそれぞれブラジル側に引継がれ，10年にわたった本センターに対する協力は終了した。<br><br>〔カウンターパート受入実績〕<br>年度 46 47 49<br>人数 1 1 1 | | | | | | | | | | | |
| SENAI電気・電子職業訓練センター<br>The SENAI Electrical and Electronic Vocational Training Center Project<br><br>協定等の種類：R／D<br>署名年月日：54.3.29<br>協力期間：<br>（当初）<br>54.3.29～59.3.28<br><br>相手国機関：<br>全国工業関係職業訓練機関（SENAI） | ブラジル連邦共和国政府は，1942年，大統領令第4048号により，SENAI（全国工業関係職業訓練機関）を設立し，工業分野において資金面，制度面ともにすぐれた職業訓練を実施しているが，同国の外資導入による発展政策の結果，ある種の工業分野，特に電気・電子分野においては導入された高度な技術，設備に対応する高いレベルの人材が不足し，その人材養成が急務となっている。このような背景のもとにブラジル国政府は，ブラジル有数の工業発展地域であるミナス・ジェライス州ベロオリゾンテに同国にはじめての高度な電気・電子部門の訓練校を開設するにあたり，その協力をわが国に要請してきた。<br>これに応え，わが国は，要請の内容，技術協力センター方式による協力の妥当性・可能性等を調査するため，昭和53年3月， | 52 | 事前調査 | 53.3.25～53.4.12 | 4 | 4,242 | | | | | | 4,242 |
| | | 53 | | | | (務) 853 | | | | | | 9,063 |
| | | 〃 | 実施協議 | 54.3.16～54.4.5 | 5 | 5,027 | — | 2 | 3,183 | | | |
| | | 54 | | | | (務) 318 | | | | | | 68,158 |
| | | 〃 | | | | 334 | — | 4 | 17,181 | | (携) 2,384<br>47,941 | |
| | | 55 | | | | 77 | 4 | 3 | 56,826 | サイリスタレオナード実習装置，プログラマブル制御装置 | (携) 2,752<br>98,191 | 157,846 |
| | | 56 | | | | 22 | 7 | — | 67,514 | 電子関係各種計測器，視聴覚機材 | (携) 2,905<br>91,445 | 161,886 |

ブラジル

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 | | | | 専門家 | | | 機材供与 | | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 主要機材名 | 経費（千円） | |
| 国内協力機関：<br>労働省，雇用促進事業団 | 事前調査団を派遣し，さらに，昭和５４年３月には実施協議チームを派遣し，職業訓練センターの設立に必要な日伯双方に係る諸条件及びわが国の協力内容等具体的事項について，ブラジル側関係当局と協議を行い，その結果を討議議事録（R/D）として作成し，本格的な協力を開始した。<br>なお，本件プロジェクトはコンピューター技術を含む中級・上級の技術協力を行っているが，コースの本格的開設は昭和５７年５月の予定となっている。<br><br>〔カウンターパート受入実績〕<br>年度 54 55 56<br>人数 1 4 3 | | | | | | | | | | | |

保健医療協力事業

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 | | | | 専門家 | | | 機材供与 | | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 主要機材名 | 経費（千円） | |
| ペルナンブコ大学熱帯医学研究所<br>協定等の種類：R／D<br>署名年月日：42.10.13<br>協力期間：42～46<br>フォローアップ：47～48 | 昭和４２年１２月，医療協力実施調査団を派遣し，レシフェのペルナンブコ大学医学部付属熱帯医学研究所の寄生虫部門の整備拡充のために慶応大学を協力機関と定め協力を実施する旨のR／Dを締結した。<br>協力内容は，①専門家の派遣，②機材供 | 42 | 実施調査 | 42.10.9～42.10.29 | 5 | … | | | | 培養・病理免疫関係機器 | 8,404 | … |
| | | 43 | | | | | — | 3 | … | ポリグラフ・試薬 | 8,419 | … |
| | | 44 | | | | | 3 | 3 | … | | 5,773 | … |
| | | 45 | | | | | 2 | 3 | … | 衛生検査機材 | 2,006 | … |
| | | 46 | | | | | 3 | 1 | … | | — | … |
| | | 47 | | | | | — | 1 | 1,321 | | (機) 117 | 1,438 |

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 調査の種類 | 調査団 調査期間 | 調査団 人数 | 調査団 経費（千円） | 専門家 人数 継続 | 専門家 人数 新規 | 専門家 経費（千円） | 機材供与 主要機材名 | 機材供与 経費（千円） | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 国内協力機関：慶応大学 | 与，③研修員受入れの３本柱で協力を実施するものであり，機材供与については，昭和４２年度より寄生虫部門の強化拡充に必要な培養関係器，病理組織関係機器および化学，免疫関係機器，衛生検査用機材等の協力に必要な機材を昭和４５年度まで供与し，研修員については昭和４２年度から，４７年度まで国内協力先の慶応大学等に10名以上受入れ，寄生虫部門に関する養成者の育成を図った。<br>本プロジェクトは，昭和４９年度に初期の協力目的を達成したため終了させ，昭和４７年度および４８年度はフォローアップ的協力を実施し，完全終了した。 | 48 | | | | | | | 715 | | | 715 |
| | | 49 | | | | | | | | | | |
| リオグランデドスル・カソリック大学成人病研究所：O Instituto de Geriatria da Pontificia Universidade Catolica do Rio Grande do Sul<br>協定等の種類：R／D<br>署名年月日：48.11.27 | 昭和４７年度のブラジルに対する医療協力基礎調査にもとづき，ポルト・アレグレ市リオ・グランデ・ド・スル・カソリック大学医学部の成人病研究所の新設に協力することを決定した。<br>昭和４８年度に実施調査団を派遣し，ブラジル側と討議議事録を取り交し，昭和49年１月１日から３カ年間にわたり，①脳動脈分野を含めた循環器部門および，②消化器部門について専門家の派遣・研修員の受入れ，および，機材供与の３つの形態を有機的に結びつけたプロジェクト方式協力を | 47 | 基礎調査 | 48. 1. 21 ～ 48. 2. 21 | (4) | … | | | | | | … |
| | | 48 | 実施調査 | 48. 11. 24 ～ 48. 12. 14 | 4 | 4,167 | | | | | | 4,167 |
| | | 49 | | | | | — | 1 | 986 | X線テレビ装置 | (機) 134<br>63,365 | 64,485 |
| | | 50 | 計画打合せ | 50. 11. 25 ～ 50. 12. 9 | 3 | 3,047 | 1 | 3 | 9,428 | X線装置，トレッドミル | (機) 319<br>51,822 | 64,616 |
| | | 51 | エバリュエーション | 52. 2. 21 ～ 52. 3. 7 | 3 | 3,116 | 2 | 3 | 24,572 | 心電計，カラーテレビエンドスコープ | 41,245 | 68,933 |
| | | 52 | | | | 85 | 1 | 3 | 12,943 | 眼底カメラ | 10,107 | 23,135 |
| | | 53 | | | | | 1 | — | 2,752 | 体力測定器具，直示天秤 | 11,915 | 14,667 |

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 | | | | 専門家 | | | 機材供与 | | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 主要機材名 | 経費（千円） | |
| 協力期間：<br>（当初）<br>49.1.1～51.12.31<br>（フォローアップ）<br>52.1.1～54.3.31<br><br>相手国機関：<br>リオグランデドスル・カソリック大学成人病研究所<br><br>国内協力機関：<br>慶応大学医学部 | 実施することとなった。<br>昭和51年12月31日で当初の協力期間は終了したが，昭和52年2月に派遣したエバリュエーション調査団の評価の結果，引き続きフォローアップ協力を実施した。本プロジェクトは，フォローアップ協力の満了となる昭和54年3月31日をもって終了した。 | | | | | | | | | | | |
| ワクチン製造<br>The Biologicals Production Project<br><br>協定等の種類：R／D<br>署名年月日：55.8.13<br>協力期間：<br>（当初）<br>55.8.13～58.8.12 | ブラジル政府は，麻診ワクチンとポリオワクチンの生産および品質管理に対する協力をわが国に要請してきた。わが国はこれを受けて，昭和55年1月事前調査チームを派遣し，協力の可能性を調査した。その後，昭和55年8月実施協議チームを派遣し，R／Dの署名をへて協力を開始した。<br>協力内容は，同国衛生部所属のオズワルドクルス財団に対し，<br>(1) 麻疹ワクチンの生産，品質管理技術の移転<br>(2) ポリオワクチンの品質管理機能の確立 | 54 | 事前調査 | 55.1.11～55.1.29 | 4 | 4,422 | | | | | | 4,422 |
| | | 55 | （同上報告書作成） | | | 報 220 | | | | | | 113,766 |
| | | 〃 | 実施協議 | 55.7.31～55.8.18 | 6 | 実 417<br>8,182 | － | 5 | 13,230 | | 携 8,668<br>82,507 | |
| | | 〃 | | | | 所 542 | | | | | | |
| | | 56 | | | | 実 985 | － | 6 | 24,064 | | 携 11,309<br>189,536 | 225,894 |

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 | | | | 専門家 | | | 機材供与 | | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 主要機材名 | 経費（千円） | |
| 相手国機関：<br>ブラジル国衛生部<br>国内協力機関 | と生産体制に移行するための技術指導を行おうとするものである。<br><br>〔カウンターパート受入実績〕<br>年度 55 56<br>人数 4 3 | | | | | | | | | | | |
| 医療機材管理技術巡回指導班<br>調査期間：<br>48.2.16～48.3.2 | ブラジル国のペルナンブコ大学熱帯医学研究所に供与済の機材の修理・保守業務を行った。 | 47 | | 48. 2.16～48. 3. 2 | 3 | 2,981 | | | | | | 2,981 |
| 医療協力事前調査<br>調査期間：<br>51.9.28～51.10.17 | ブラジル国の保健衛生事情全般について調査し，プロジェクトファインディングを行った。 | 51 | 事前調査 | 51. 9.28～51. 10. 17 | 5 | 6,905 | | | | | | 6,905 |
| | | 52 | | | | 108 | | | | | | 108 |

保健医療協力事業（単発）

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 | | | | 専門家 | | | 機材供与 | | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 主要機材名 | 経費（千円） | |
| 農業開発プロジェクトと医療協力の複合化調整 | | 54 | | | | | | 1 | 828 | | | 828 |
| 細胞病理学 | | 54 | | | | | | 1 | 1,536 | | (開) 923 | 2,459 |
| | | 55 | | | | | | | 47 | | (開) 41 | 88 |
| 高脂質症 | | 54 | | | | | | 1 | 995 | | (開) 165 | 1,160 |

ブラジル

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 | | | | 専門家 | | | 機材供与 | | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 主要機材名 | 経費（千円） | |
| 循環器疾患 | | 54 | | | | | | 1 | 995 | | (機) 165 | 1,160 |
| 免疫病学部の設備改善 | | 55 | | | | | | 1 | 1,678 | | | 1,678 |
| 高脂質症 | | 56 | | | | | | 2 | 2,041 | | (機) 799 | 2,840 |

保健医療協力事業（大学教授）

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 | | | | 専門家 | | | 機材供与 | | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 主要機材名 | 経費（千円） | |
| 早期がん診断 | 中南米一般を参照のこと。（アルゼンティン，ブラジル，チリ，コロンビア，ペルー） | 47 | | | | | | (4) | (910) | | | (910) |
| がん病理学 | | 49 | | | | | | 1 | 1,137 | | | 1,137 |
| 消化器 | | 50 | | | | | | 1 | 1,099 | | | 1,099 |
| 学術講演 | | 52 | | | | | | 1 | 2,054 | | | 2,054 |
| 消化器外科学 | | 54 | | | | | | 1 | 1,568 | | | 1,568 |
| 産婦人科学 | | 54 | | | | | | 1 | 723 | (機) 417 | | 1,140 |
| 高脂質症 | | 55 | | | | | | 1 | 765 | | | 765 |
| マイクロ・サージェリー | 中南米一般を参照のこと。（ブラジル，ウルグァイ） | 55 | | | | | | (2) | (1,412) | (機) (1,135) | | (2,547) |
| 緊急医療 | | 56 | | | | | | 1 | 1,721 | | | 1,721 |
| 外科学 | | 56 | | | | | | 2 | 2,180 | (機) 70 | | 2,250 |
| 歯科学 | | 56 | | | | | | 1 | 1,376 | | | 1,376 |

保健医療協力事業（特別機材）

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 専門家 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 機材供与 主要機材名 | 経費（千円） | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アマゾニア病院 | | 51 | | | | | | | | ファイバースコープ | 17,184 | 17,184 |

農林業協力事業

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 専門家 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 機材供与 主要機材名 | 経費（千円） | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| リベイラ河流域農業開発<br>Desenvolvimento Agricola do Vale do Riveira<br><br>協定等の種類：R／D<br>署名年月日：50.3.10<br>協力期間：<br>（当初）<br>50.3.10～協定補足取極締結まで | 本プロジェクトは，ブラジル国の要請に基づき，リベイラ川流域に放置された利用不能な低湿地の開発の技術的可能性を検討するため開始されたもので，周辺地域への波及を対象とする低湿地における農業・土木技術・栽培方法・土壌保全などの実用研究が主要な課題である。<br>昭和50年3月署名発効した討議議事録に基づき，補足取極め締結まで次の分野において協力を実施している。<br>① リベイラ河流域における農業開発に関する指導・助言。<br>② 農業構造に関する資料の収集・分析。<br>③ ポーデル方式による農業開発技術の確立。<br>④ 農業開発のための実用試験。<br>⑤ 普及員および農民に対する訓練・指導。<br>⑥ 適作物の選定と優良種子の生産および配布。 | 46 | 予備調査 | | ※5 | … | | | | | | … |
| | | 47 | | | | | | | | | | 0 |
| | | 48 | 実施計画 | 49. 2.13～49. 3.14 | 8 | 7,079 | | | | | | 7,079 |
| | | 49 | 実施設計 | 50. 1.21～50. 3.21 | 6 | (実) 507<br>9,644 | — | 2 | 4,904 | | (携) 549 | 15,604 |
| | | 50 | | | | (技) 10,873 | | | | | | 140,675 |
| | | 〃 | 計画打合せ | 51. 3. 4～51. 3.20 | 2 | (実) 395<br>2,085 | 1 | 5 | 24,597 | | (携) 2,843<br>95,700 | |
| | | 〃 | 巡回指導 | 51. 3. 4～51. 3.20 | 4 | 4,182 | | | | | | |
| | | 51 | | | | (報) 172 | | | | | | 146,107 |
| | | 〃 | 巡回指導 | 52. 3.26～52. 4.11 | 4 | (実) 861<br>4,554 | 5 | 5 | 66,546 | | (携) 3,733<br>70,241 | |
| | | 52 | | | | (報) 308 | | | | | | 170,187 |
| | | 〃 | 巡回指導 | 53. 2.14～53. 3. 5 | 4 | (実) 1,075<br>4,294 | 10 | 4 | 73,876 | 農業用資機材 | (携) 1,571<br>89,063 | |
| | | 53 | | | | (報) 235 | | | | | | 215,849 |
| | | 〃 | | | | 154 | 6 | 3 | 67,541 | 土木用資機材<br>トラクター | 147,919 | |
| | | | | | | | | | | | | |

ブラジル

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 専門家 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 機材供与 主要機材名 | 経費（千円） | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ⑦ 開発センターおよび普及農場の設置ならびに実証試験の実施。<br>昭和55年1月には巡回指導チームを派遣し，本協力の事業進捗状況の把握を行い，技術的運営的問題点を摘出し，所要の指導助言を行うとともに近く締結が見込まれている補足取極後の運営計画について策定を行った。<br>〔カウンターパート受入実績〕<br>年度 51 52 53 54 55 56<br>人数 14 2 5 3 | 54 | 巡回指導 | 55. 1. 15～55. 2. 5 | 4 | 4,481 | | | | | | 126,518 |
| | | 〃 | 機材維持管理 | 55. 1. 15～55. 2. 3 | 2 | 2,370 | 7 | 4 | 75,452 | 圃場建設用機材 | 44,215 | |
| | | 55 | 巡回指導 | 56. 3. 3～56. 3. 19 | 5 | 6,113 | 7 | 2 | 61,472 | 農業機材，実験機器 | (現) 890<br>51,605 | 120,080 |
| | | 56 | (同上報告書作成) | | | (報) 170 | | | | | | 135,003 |
| | | 〃 | 計画打合せ | 56. 11. 21～56. 12. 9 | 5 | 6,121 | 7 | 6 | 78,515 | 工具，スプリンクラー，土木資材，栽培機械 | (現) 4,190<br>46,007 | |
| 農業研究協力<br>The Agricultural Research Cooperation<br>協定等の種類：協定<br>署名年月日：52.9.30<br>協力期間：<br>（当初）<br>52.9.30～57.9.29<br>（延長）<br>58.3.28～60.9.29 | 本件プロジェクトはセラード地域を中心として日伯農業開発協力事業の開発に先行あるいは並行して農業開発に必要な生産システムの確立に資するものである。<br>昭和50年9月開発技術協力費により実施計画調査を実施し，協力計画の骨子をとりまとめたうえ，国内関係機関において日本側としての具体的な対応策を検討した。この結果をもとに昭和51年3月実施調査団を派遣し，ブラジル側関係者と打合せのうえ3月16日討議議事録をとりまとめた。この討議議事録にもとづき補足取極が昭和52年9月30日に締結され5年間にわた | 50 | 実施調査 | 51. 3. 2～51. 3. 20 | 4 | 4,966 | | | | | | 4,966 |
| | | 51 | | | | (専) 374 | | | | | | 622 |
| | | 〃 | | | | (実) 248 | | | | | | |
| | | 52 | 計画打合せ | 52. 10. 15～52. 11. 4 | 4 | (実) 886<br>4,950 | — | 7 | 16,380 | 実験機器 | (現) 1,490<br>207,775 | 231,481 |
| | | 53 | 巡回指導 | 53. 11. 20～53. 12. 10 | 4 | 4,877 | 7 | 6 | 66,903 | 分析機器 | (現) 1,308<br>97,760 | 170,961 |
| | | 〃 | 機材維持管理 | 53. 11. 20～53. 12. 20 | 1 | 113 | | | | | | |
| | | 54 | | | | (実) 156 | 7 | 4 | 63,777 | 土壌研究用機材 | (現) 19,513<br>101,907 | (3,301)<br>185,353 |
| | | 〃 | 巡回指導 | 55. 3. 25～55. 4. 22 | (6) | (3,301) | | | | | | |

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 専門家 人数 継続 | 新規 | 経費（千円） | 機材供与 主要機材名 | 経費（千円） | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 相手国機関：<br>セラード農業研究センター<br>国内協力機関： | る協力が開始された。<br>本協力はブラジル国セラード地域の農業開発に必要な生産システム確立に資するため設立されたセラード農業研究センター（CPAC）の研究プログラムを対象に実施されるものであり，このプログラム遂行に必要な研究分野のうち，ブラジル側で弱体な8分野（植物病理，応用昆虫，土壌肥料，作物栽培，育種，農業気象，農業機械および農業経営経済）を主な協力分野とし，日本人専門家の派遣，機材の供与，研修員の受入れおよび資料情報の提供を行うものである。なお，本協力は別途行われる資金協力に先行あるいはこれと併行して行われるものであり，相互の緊密な連繋により協力効果を高めるため，協力機関は上述CPACのほか資金協力の対象となるミナス・ジェライス州内の4研究機関をも含めて実施している。<br>（カウンターパート受入実績）<br>年度 53 54 55 56<br>人数 4 5 5 3 | 55 | （過年度精算） | | | (12) | | | | | | (12) |
| | | 〃 | 計画打合せ | 12.2～12.24 | 3 | 4,279 | 11 | 10 | 86,105 | 植物病理研究用機材 | (携)3,684<br>74,323 | 168,391 |
| | | 56 | （同上報告書作成） | | | (報) 343 | | | | | | |
| | | 〃 | 巡回指導 | 10.31～11.18 | 4 | 6,381 | 10 | 4 | 52,504 | 高圧トランス | (携)2,606<br>9,028 | 70,862 |
| | | 〃 | 巡回指導 | 3.18～4.28 | 1 | | | | | | | |

ブラジル

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 専門家 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 機材供与 主要機材名 | 経費（千円） | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 林業研究協力<br>The Project for the Forestry Research in São Paulo<br><br>協定等の種類：R／D<br>署名年月日：<br>協力期間：<br>（当初）<br>54.4.1～59.3.31<br><br>相手国機関：<br>サンパウロ森林院<br><br>国内協力機関： | ブラジル国サンパウロ州は同国の中でも先進地域であり、過去100年間にわたるコーヒー園の開拓，その後のコーヒー園の放牧地への転換等により多くの森林が失われて地力の低下を来し，放置されたままの原野が多数存在しているため，同州の森林造成，流域管理等の必要性が高まってきている。このため，昭和52年度にブラジル・サンパウロ州政府はわが国に技術協力を要請してきた。<br>この要請に対しわが国は，昭和53年4月，事前調査団を派遣し，研究協力の進め方について協議した結果，サン・パウロ州の森林の現状あるいは要請の内容等から流域管理の分野で協力を進めることが適切であるとの結論が得られた。<br>この調査結果にもとづき，昭和53年11月に実施協議チームを派遣し，討議議事録に署名した。<br>本件プロジェクトは，サンパウロ森林院における研究面を強化するため，流域管理，機械化伐出，リモートセンシング，小径木材利用加工の各分野に対し，5カ年間のプロジェクト方式技術協力を実施するものである。 | 52 | 事前調査 | 52. 4. 5～52. 4. 22 | 5 | 5,276 | | | | | | 5,276 |
| | | 53 | | | | 予 1,126 | | | | | | 5,528 |
| | | 〃 | 実施協議 | 53.11.25～53.12. 7 | 4 | 4,402 | | | | | | |
| | | 54 | 計画打合せ | 55. 3.16～55. 3.30 | 4 | 実 130<br>3,881 | | 4 | 9,180 | 実験用機材 | 携 13,977<br>32,539 | 59,707 |
| | | 55 | （過年度精算） | | | 13 | | | | | | 130,836 |
| | | 〃 | 実施設計 | 55. 7. 8～55. 8.11 | 5 | 21,793 | 3 | 5 | 39,977 | 実験室用機材<br>実験林用機材 | 携 3,776<br>65,290 | |
| | | 56 | 巡回指導 | 56.12. 5～56.12.19 | 3 | 予 275<br>3,528 | 6 | 6 | 75,733 | 気象観測機材<br>農薬，肥料 | 携 2,172<br>74,325 | 156,033 |

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 専門家 人数 継続 | 新規 | 経費（千円） | 機材供与 主要機材名 | 経費（千円） | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 〔カウンターパート受入実績〕<br>年度 54 55 56<br>人数 2 2 2 | | | | | | | | | | | |
| 中南地域モデルインフラ指導 | （ブラジル，チリ，パラグァイ）<br>中南米一般を参照のこと。 | 55 | 巡回指導 | 55.10.23～55.11.11 | (3) | (1,235) | | | | | | (1,235) |
| 農林業プロジェクト運営指導 | （ブラジル，パラグァイ）<br>中南米一般を参照のこと。 | 56 | 巡回指導 | 57. 2.23～57. 3.16 | (8) | (4,577) | | | | | | (4,577) |

産業開発協力事業

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 専門家 人数 継続 | 新規 | 経費（千円） | 機材供与 主要機材名 | 経費（千円） | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一次産品開発協力 | ブラジル政府は，輸出振興策推進の一環として，各種の農業開発計画を進めているが，大豆，とうもろこし，ソルガム等の生 | 49 | 事前調査 | 50. 2. 9～50. 3. 1 | 4 | 4,159 | | | | | | 4,159 |
| | | 50 | 実施計画 | 50. 9.27～50.10.19 | 7 | 9,542 | | | | | | 9,542 |
| | | 51 | | | | (開)1,013 | | | | | | 1,013 |
| 協定等の種類：<br>署名年月日：<br>協力期間：<br>（当初） | 産は，生産性が低く，かつ品質が不統一で，国際競争力を持つに至っていない。この原因はいろいろ考えられるが，とくに改良栽培技術と優良品種の開発の遅れが大きな原因となっており，ブラジル政府はこれら問題の解決のため，わが国に技術協力を要請してきた。これに対し，わが国は，飼料穀物の安定的かつ，多角的輸入という観点から積極的に技術協力を実施することになった。<br>事前調査は，昭和50年2月9日から45日間にわたり，ブラジル農業開発協力事業 | | | | | | | | | | | |

ブラジル

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 調査の種類 | 調査団 調査期間 | 調査団 人数 | 調査団 経費（千円） | 専門家 人数 継続 | 専門家 人数 新規 | 専門家 経費（千円） | 機材供与 主要機材名 | 機材供与 経費（千円） | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 開発基礎調査とあわせて実施され，<br>(1) セラード地帯における主要作物は，大豆と陸稲であり，とうもろこしは低地の地力のよいところで栽培されているが，いずれも生産性は低く，試験研究が不十分であり，この作物を大々的にとり上げるとすれば，適品種の選定等，栽培研究が不可欠である。<br>(2) その他の作物，コーヒー，桑等のセラード地帯における適正について研究する必要があるという結論をえた。<br>また，昭和５０年９月には実施計画調査団が派遣され，(1)セラード農牧業試験研究計画の詳細及び具体的実施方針の把握，(2)技術協力に関する伯側要請の内容及び協力実施可能性の検討，(3)セラード地帯における主要農業研究データーの収集等の内容が策定された。 | | | | | | | | | | | |
| 鉱物資源開発技術協力<br>Technical Cooperation on The Development of Mineral Resources | ブラジル国は豊富な地下資源を有するにもかかわらず，鉄，マンガン鉱を除いては開発が遅れ，銅，亜鉛，ニッケル等の非鉄金属は輸入を余儀なくされている。このため，同国政府は1975年国家非鉄金属開発計画を策定し，1980年代前半までに非鉄金属 | 51 | 事前調査 | 51.11.20～51.12.20 | 4 | 5,157 | | | 720 | | | 5,877 |
| | | 52 | 実施調査 | 52.5.15～52.5.29 | 2+(1) | 8,276 | — | 5 | 10,364 | | | 18,640 |
| | | 〃 | 計画打合せ | 52.11.11～52.12.14 | 4 | | | | | | | |
| | | 53 | | | | 240 | — | 5 | 5,369 | | 2,421 | 8,030 |
| | | 54 | | | | (実) 86 | | | | | | 86 |
| | | 55 | | | | (実) 252 | 5 | 5 | 50,600 | マイクロシステム一式 | (機) 4,495<br>14,303 | 69,650 |

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 調査の種類 | 調査団 調査期間 | 調査団 人数 | 調査団 経費（千円） | 専門家 人数 継続 | 専門家 人数 新規 | 専門家 経費（千円） | 機材供与 主要機材名 | 機材供与 経費（千円） | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 協定等の種類：R／D<br>署名年月日：52.7.21<br>協力期間：<br>（当初）<br>53.4.1～56.3.31<br><br>（フォローアップ）<br>56.4.1～56.9.30<br><br>相手国機関：<br>鉱山動力省鉱産局<br>国内協力機関： | の自給を目指すこととした。<br>このような背景のもとにブラジル国政府は，わが国に技術協力を要請してきたので，昭和５１年１１月に事前調査を行い，協力の可能性について調査した。さらに，昭和５２年５月には実施調査を行い，同年７月２１日討議議事録に署名した。<br>本件プロジェクトは，国家非鉄金属開発計画の推進機関であるブラジル連邦共和国政府鉱山動力省鉱産局（DNPM）に対し，鉱物資源の調査，開発公害防止および研究開発の各分野において，専門家の派遣，研修員の受入れおよび機材供与のプロジェクト技術協力を昭和５３年４月より３カ年間行うというものである。<br><br>〔カウンターパート受入実績〕<br>年度：54，55，56<br>人数：3，4，0 | 56 | | | | | 1 | — | 14,519 | | | 14,519 |
| バラナ州中小工業開発<br>Technical Cooperation on The Smal and Midium Scale Industry Deveropment of Parana state | ブラジル国パラナ州政府は，良質素材の入手を容易にし，中級技術者を養成し，技術者，技能者の定着率を高めることにより，同州の工業開発を促進するために「日伯工業センター」の設立を計画し，昭和５３年８月３日付公信第720号にてわが国に技術 | 54 | 事前調査 | 54. 9. 7～54. 9. 25 | 5 | 5,519 | — | 4 | 5,358 | | | 10,877 |
| | | 55 | 実施協議 | 55. 9. 20～55. 10. 7 | 5 | 6,175 | 4 | 2 | 5,113 | | | 11,288 |
| | | 56 | 計画打合せ | 57. 3. 15～57. 3. 28 | 4 | 14,562 | — | 1 | 11,339 | | (機)2,996 | 29,316 |
| | | 〃 | | | | 419 | | | | | | |

ブラジル

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 | | | | 専門家 | | | 機材供与 | | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 人数 | | 経費（千円） | 主要機材名 | 経費（千円） | |
| | | | | | | | 継続 | 新規 | | | | |
| 協定等の種類：R／D<br>署名年月日：55.10.2<br>協力期間：<br>（当初）<br>55.10.2～59.10.1<br><br>相手国機関：<br>日伯工業センター<br><br>国内協力機関： | 協力を要請してきた。<br>この協力要請に対しわが国は，昭和54年9月に事前調査団を派遣し，ブラジル側提出の要請内容の確認ならびに具体的ニーズの把握を行うとともに，協力の可能性について調査した。<br>さらに昭和55年9月，上記事前調査結果を受けて実施協議チームを派遣し，R/Dに署名した。<br>本プロジェクトは，金属，機械，生産加工，及び電気・電子の各分野において，①素材等の試験・検査，②技術者の養成，③技術指導・普及，④技術研究・開発を実施するセンターを設立し，パラナ州の工業開発促進に寄与すると共に，同国の新たなる工業化促進に貢献することを目的とするものである。<br><br>〔カウンターパート受入実績〕<br>年度：56<br>人数：2 | | | | | | | | | | | | |
| 鉱山公害防止技術協力事業 | ブラジル国では近年特に鉱山開発に伴ない鉱害問題が認識されてきており，これに対する総合的対策の樹立の必要性が叫ばれているが，これに資するためミナスジェラ | 56 | 事前調査・実施協議 | 56. 8.16～56. 9. 5 | 5 | 6,463 | — | 4 | 15,561 | | (携)6,891 | 29,685 |
| | | 〃 | | | | 770 | | | | | | |

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 | | | | 専門家 | | | 機材供与 | | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 人数 | | 経費（千円） | 主要機材名 | 経費（千円） | |
| | | | | | | | 継続 | 新規 | | | | |
| Project on the Pollution Control for Mining and Quarrying Activities<br><br>協定等の種類：R／D<br>署名年月日：56.9.2<br>協力期間：<br>（当初）<br>56.9.2～60.9.1<br><br>相手国機関：<br>鉱山動力省鉱産局<br><br>国内協力機関： | イス州ダス・ペーリヤス河およびパラオペーバ河両盆地の鉱業活動およびリオデジャネイロ首都圏の採石による鉱害防止にかかる協力をわが国に要請してきた。<br>この要請に対しわが国は，昭和５６年９月に事前調査チームを派遣し，協力の妥当性を確認すると共に同国鉱山動力省鉱山局とR/D を署名し協力を開始した。<br>本プロジェクトは上記地域の鉱害問題を対象に，①汚染地域の実態把握，分析および将来予測，②鉱害防止技術の開発，③鉱害防止基準等法規の整備，④技術者の養成等にかかる協力を４年間にわたって実施するものである。 | | | | | | | | | | | |

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

| 番 | プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | アフリカ・南米地図作成事業事前調査 | （ナイジェリア，タンザニア，ブラジル，ボリヴィア）。<br>世界一般を参照のこと。 | 47 | 事前調査 | 48. 3.10～48. 4. 4 | (5) | (1,693) |
| 2 | 輸出回廊計画調査 | 農産物，農業加工品の輸出に関し，インフラストラクチャーその他の整備す | 47 | 実施調査 | 47. 9. 3～47.10. 2 | 10 | 13,470 |

ブラジル

| 番 | プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | るという政府中枢部の構想に対して調査，検討してこの計画の妥当性の評価を行った。 | | | | | |
| 3 | 経済開発基礎調査 | ４７，４８年度にわたり日・伯経済の比較検討を行い，今後の日・伯経済技術協力分野を見出すための調査。４７年度の調査項目としては，1．今日の伯国経済と1955年前後の日本経済との比較。2．両国経済の類似点，並びに相違点の比較。3．日本経済の過去１０年間の経験に照らして伯国経済が今後に迎える問題点の摘出。 | 47 | 実施調査 | 47.11.19～47.12.18 | 3 | 12,885 |
| | | | 48 | 実施調査 | 48．8．9～48．9．7 | 6 | 13,600 |
| | | | 49 | 実施調査 | | 0 | 12,597 |
| 4 | 鉄道新線建設計画調査 | ブラジル政府は，1974年１０月の大統領決定にもとづき，鉄道開発５カ年計画（1975年～７９年）を推進中である。この計画のなかでも第２次国家開発計画の根幹をなす鉄道拡張のための新線建設，すなわち，ペロホリゾンテ・サンパウロおよびボルタルソンデ間830㎞の新線建設計画は最重要プロジェクトとなっている。同国政府の要請に基づき本プロジェクトの概要を調査し，背景情報を聴取するとともに，今後の技術協力の進め方を検討するための事前調査を実施した。<br>５０年度は，マスタープラン，その他入札のためのスペックとＴ／Ｒの作成を行った。 | 49 | 事前調査 | 50．2.18～50．3.17 | 3 | 3,443 |
| | | | 50 | 実施調査 | 50．5.27～50．8．4 | 15 | 54,787 |
| | | | 〃 | 報告書説明 | 50.12．3～50.12.17 | 6 | |
| 5 | スアッペ臨海工業団地計画調査 | 港湾インフラストラクチャー調査<br>ブラジル国政府が第２次国家開発計画（1975～７９）の一環として同国東北圏の開発を策定し，その開発の中心として設置しようとしているペルナンブコ州スアッペ地域の，臨海工業地帯の建設計画に係る港湾インフラ施設建設計画の事前調査を実施した。<br>（海外開発計画調査№５の工業立地調査の項参照） | 50 | 事前調査 | 51．2．3～51．3．1 | 3 | 4,483 |
| | | | 51 | 事前調査 | | 0 | 389 |
| 6 | ブライアモーレ港建設計画調査 | ブラジル政府は，同国における鉄鉱需要の増大に対処するとともに，輸出の振興をはかるために，ツバロン製鉄所の建設計画を進めており，また，この一環として現在ウジミナス製鉄所を建設中である。同製鉄所からの半製品の積出し，及び石炭，重油の受入れのための施設等の港湾建設計画について昭和５１年度にフィージビリティ調査を実施した。昭和５２年度は調査結果をもとに作 | 51 | 事前調査 | 51.10.29～51.11.14 | 4 | 47,189 |
| | | | 〃 | 実施調査 | 52．2．4～52．3.15 | 9 | |
| | | | 52 | 報告書説明 | 52．7.29～52．8．9 | 3 | 41,541 |

| 番 | プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 成した報告書の説明を現地で行った。 | | | | | |
| 7 | ビトリア都市開発計画調査 | ブラジル国中南部のエスピリトサント，ミナスジェライス，及びゴイヤスの３州は，同国の中でも重工業，鉱工業，農業等の分野においての開発ポテンシャルのもっとも高い地域であるとされている。このような状況の下で，この地域の海の玄関口であるエスピリトサント州首都ビトリア市においては，急速な開発及びそれに伴って生じる人口集中に対応する都市開発計画の策定が緊急課題として検討されている。また，３州の開発に不可欠な計画として，同地域における生産物の輸出ルートの確保が重要であるとして，鉄道施設の合理化，生産物の集荷システム，輸送コストの低減等を検討対象とする輸送計画の策定が併せて検討されている。これらの緊急案件について，先方政府の意向確認，現地踏査等を内容とするプロジェクト確認調査を実施した。 | 52 | 事前調査 | 53. 3.11～53. 3.27 | 5 | 5,834 |
| | | | 53 | 事前調査 | | 0 | 166 |
| 8 | 三州総合開発計画調査 | ブラジル中南部地域に位置するゴイアス州，ミナスジェライス州，エスピリトサント州の３州は，鉄鉱石を中心とする鉱物資源とセラードと呼ばれる酸性土壌地帯の改良により，大規模農業開発の拠点として脚光を浴びているが，同地域の農業開発および開発産品の輸送システムおよび輸送施設の整備計画を策定しようとするものである。昭和５３年度は事前調査の実施に引き続き本格調査を行い，ドラフト・ファイナル・レポートの作成まで行った。 | 53 | 事前調査 | 53. 5.13～53. 5.22 | 6 | 9,022 |
| | | | 〃 | 実施調査 | 53. 7.23～53.10.20 | 12 | 111,345 |
| | | | 〃 | 実施調査 | 53.10. 3～53.10.15 | 2 | |
| | | | 54 | 実施調査 | | 0 | 1,392 |
| 9 | 水産資源調査（陸上） | ブラジルは広大な国土と約８,000 kmにおよぶ海岸線を有し，世界有数の水産資源に恵まれた国であり，かつ，有用な漁種が豊富に存在することが予想されている。<br>ブラジル政府は漁業振興を重点施策としており，とくに北伯地域周辺海域の水産資源開発に強い関心を示している。このため，同国政府は北伯地域周辺漁業開発計画を策定し，同計画の実施に関し，昭和５３年１月わが国に協力を要請してきた。要請内容としては，未利用魚種の資源調査および評価を行い，その産業化のための漁法の改善および新技術の開発導入，漁業技術者の養成を行いたいとしている。この要請に基づき，昭和５３年においては，昭和５４年２月６日から３週間陸上調査団を派遣し，具体的協力内容を検討し，協力計画案を作成するための調査を行った。 | 53 | 水産資源 | 54. 2. 6～54. 2.26 | 5 | 6,676 |
| | | | 54 | 水産資源 | | 0 | 763 |

ブラジル

| 番 | プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10 | 消防訓練センター建設計画調査 | 都市部の人口密度が高いため，火災等が発生した場合，被害甚大が予想されるため，同対策について協力を行うものである。現在，災害対策は軍，警察が主体で組織確立が急務になっているため，消防官育成を中心とする消防センターの建設構想が企画省を中心に立案されている。これに協力するため昭和５４年度に事前調査を実施したのに続き，55年度は同調査結果に基づき現地調査と国内作業を実施し最終報告書を作成した。 | 54 | 事前調査 | 54.10.12～54.10.25 | 6 | 5,953 |
| | | | 55 | 事前調査 | | 0 | 145 |
| | | | 〃 | 実施調査 | 55.11. 7～55.12. 6 | 10 | 66,359 |
| | | | 〃 | 実施調査 | 56. 1.26～56. 2. 8 | 6 | |
| | | | 〃 | 実施調査 | 56. 3.21～56. 3.29 | 5 | |
| 11 | 経済技術協力調査 | ブラジルに対するわが国の技術協力を円滑，かつ効率的に実施するため，同国政府と協議し，昭和５４年度までに実施した技術協力のレビューと昭和５５年度実施する技術協力案件の選定，確認を行うとともに，技術協力の実施手続について同国政府と意見交換を行った。 | 55 | 事前調査 | 55.10.25～55.11. 9 | 6 | 4,065 |
| 12 | カラジャス地域総合開発計画調査 | 北ブラジル・パラー州のカラジャス鉄鉱山（埋蔵量180億トンと世界最大）の開発と，その鉄鉱石の運搬のため建設されるカラジャス鉄道（カラジャス～サンルイス港間全長890㎞）によって開発インパクトがもたらされる地域（対象面積は日本の約３倍）の総合開発のため，非鉄金属（銅，マンガン，ニッケル，ボーキサイト），水力発電，林業（木材，パパス一椰子），農業（米，キャッサバ）などの開発プロジェクトに関するマスタープランの作成に対し，協力を行うもので，昭和５５年１０月，同国政府の協力要請の背景を確認するため，コンタクト・ミッションを派遣した。<br>昭和５７年１月には，事前調査を実施し，調査実施要綱（S/W）を締結するとともに，同年４月には調査対象開発品目を協議するための予備調査を実施した。 | 55 | 事前調査 | 55.10.11～55.10.25 | 5 | 7,301 |
| | | | 56 | 事前調査 | 57. 1.22～55. 2. 7 | 7 | 10,818 |

海外開発計画調査事業

ブラジル

| 番 | プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 鉱工業プロジェクト選定確認調査 | ①（ブラジル，エクアドル，グァテマラ，メキシコ，ペルー）<br>中南米一般を参照のこと。 | 47 | 海 | 47.10.23～47.11.19 | (2) | (422) |
| | | ②（ブラジル，チリ，コロンビア，パラグァイ）<br>中南米一般を参照のこと。 | 49 | 海 | 50. 2. 3～50. 2.23 | (2) | (632) |
| 2 | 木材利用工業開発計画調査 | 同国の未開発地域東北部における森林資源利用工業開発に関する基礎調査。 | 40 | 海 | 40.11.15～40.12.19 | 5 | 7,579 |
| 3 | 東北ブラジル電力開発計画基礎調査 | 東北地域開発の一環としての電力開発計画のうち，レシフェ，サルバドル周辺における揚水発電所建設計画及びこれに関連する送電系統計画に対し調査を行い開発方針の検討。 | 41 | 海 | 41.11. 8～41.12.21 | 6 | 9,082 |
| 4 | 鉱物資源開発計画調査 | ゴイアス州ニケランディア地方のニッケルおよびトカンチンス河流域の粘結炭の開発可能性についての調査。<br>石炭に関し，専門家派遣事業による専門家を派遣し，第2次調査を行った。 | 44 | 海 | 45. 2.17～45. 3.28 | 6 | 7,420 |
| | | | 45 | 海 | | 0 | 1,348 |
| 5 | スアッペ臨海工業団地計画調査 | 工業立地調査。<br>ブラジル政府が東北地方開発のために計画しているスアッペ臨海工業団地について，進出業種選定を中心に調査。<br>（開発調査事業№5を参照のこと） | 50 | 海 | 51. 1. 9～51. 2. 2 | 9 | 44,887 |
| | | | 51 | 海 | 51. 8.28～51. 9. 9 | 1 | 4,604 |
| 6 | マンジョカ・アルコール生産計画予備調査 | 1973 年の石油ショック後，同国政府は，エネルギーの安定的確保，国際収支の改善等の観点から，エネルギー政策の見直しをして，国家アルコール計画を策定した。その中でさとうきびのほかにマンジョカを原料として無水アルコールの生産を計画し，自動車用ガソリンの代替エネルギーおよび化学工業用原料として利用しようとの計画が持たれており，当該プロジェクトはとくにアマパ地区におけるマンジョカからのアルコール生産計画の可能性が存在するか否かを検討するため事前調査を行った。調査の結果は，現在の同国政府の買上げ価格をはるかに凌駕する価格となり，本計画は企業的な採算に合わないと推定された。 | 53 | 海（予備） | 53. 7.13～53. 7.30 | 14 | 26,451 |
| 7 | 工業標準化計画調査 | 同国の工業標準化，計量，工業所有権，また太陽エネルギー利用等の技術分野で日本に対し技術協力の要請があった。同要請に応えて要請の背景と内容等 | 55 | 海（事前） | 55. 5.17～55. 5.24 | 3 | 2,334 |

ブラジル

| No. | プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | の把握を目的に事前調査を実施し，同調査結果と収集資料に基づき報告書を作成した。 | | | | | |

資源開発協力基礎調査事業

| No. | プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | アンタゴルダ地区資源開発協力基礎調査 | 同国の要請でアンタゴルダ地区鉱物資源の賦存の可能性を調査するもの。調査対象面積は約5,800㎢である。昭和５５年度はＳ／Ｗ協議を行うとともに同地域の写真地質調査と地質調査を行った。<br>昭和５６年度は，前年度調査実施の南部で抽出されたペラウ地区，ホウシャ地区において地質調査（準精査），地質調査，地化学探査（精査），物理探査（ＩＰ，ＳＩＰ，重力，空中磁気探査）を実施した。 | 55 | 資 | 55.10.20～55.11. 3 | 11 | 43,616 |
| | | | 〃 | 資 | 56. 1.12～56. 3.31 | | |
| | | | 〃 | 資 | 56. 3.23～56. 3.31 | | |
| | | | 56 | 資 | （国内解析作業・報告書作成） | | 29,542 |
| | | | 〃 | 資 | 56. 7. 3～56.10.22 | 15 | 162,469 |
| | | | 〃 | 資 | 56. 7. 3～56. 8. 9 | | |
| | | | 〃 | 資 | 56. 9.11～56.10.15 | | |
| | | | | | | | |

〔開発協力方式技術協力〕

開発基礎調査

| プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| セラード地帯農業開発協力 | 昭和４９年９月，田中前総理大臣訪伯の際の共同発表において明らかにされている日伯農業開発協力事業について，わが国は昭和５０年２月予備調査を実施した。その後これの具体化のため，五次にわたり開発計画調査を実施し，日伯農業開発協力事業の計画実施に関する基本的枠組みにつき協議を行った。その結果，日伯両国投資会社の間で合弁基本協定が結ばれ，昭和５３年１１月農業開発会社が発足し，事業は土地・入植者の選定へ向けて本格的に動き出すこととなった。 | 49 | 開発基礎調査 | 50. 2. 9～50. 3.25 | 7 | 15,599 |
| | | 50 | | （技術費および報告書作成） | 0 | 3,187 |
| | | 〃 | 開発計画調査（一次） | 50.10.24～50.11. 4 | 2 | 1,767 |
| | | 〃 | 開発計画調査（二次） | 51. 2. 7～51. 2.29 | 10 | 10,340 |
| | | 51 | | （報告書作成） | 0 | 674 |

| プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 土地選定にあたっては，価格，面積，気象，地形，土壌，インフラ整備状況等についての基準が設定され，約５０万haにおよぶ現地踏査の結果，ミナスジェライス州セラード地帯にパラカツ地域，コロマンデル地域等６地域が有力候補地として選定された。また，入植者選定の条件として，技術力，経営能力等の基準が決定された。 | 51 | 開発計画調査（三次） | 51．7.11～51．8.13 | 13＋(2) | 22,686 |
| | | 〃 | 開発計画調査（四次） | 51．8.28～51．9．5 | 3 | 2,859 |
| | | 52 | 計画打合せ | 52．4.29～52．5.23 | 4 | 2,220 |
| | | 〃 | 開発計画調査（五次） | 52．9．4～52．9.25<br>52.12．9～52.12.27<br>53．3．7～53．3.23 | 28 | 21,739 |
| | | 〃 | | | | |
| | | 53 | 開発計画調査 | 53．8.29～53．9.17<br>53.10.31～53.11.20<br>54．2．4～54．3．2 | 18 | 18,163 |
| | | 〃 | | | | |
| | | 54 | 計画打合せ（一次） | 54．8.12～54．8.23 | 2 | 2,118 |
| | | 〃 | 計画打合せ（二次） | 54．8.29～54．9.12 | 3 | 4,674 |
| | | 〃 | 開発計画調査 | 55．3．2～55．4.10 | 4 | 8,689 |
| | | 〃 | 計画打合せ（三次） | 55．3．3～55．3.17 | 2 | 1,782 |
| | | 〃 | 計画打合せ（四次） | 55．4．6～55．4.20 | 2 | 1,933 |
| | | 55 | | （技術費および報告書作成） | 0 | 11,721 |
| | | 〃 | 計画打合せ（一次） | 55．7.27～55．8.11 | 3 | 3,410 |
| | | 55 | 計画打合せ（二次） | 55.11.26～55.12.10 | 3 | 2,979 |
| | | 〃 | 計画打合せ（三次） | 56．3.22～56．4.15 | 7 | 9,576 |
| | | 56 | | （報告書作成） | 0 | 594 |
| | | 〃 | 計画打合せ | 57．1.16～57．1.29 | 4 | 3,980 |
| | | 〃 | 計画打合せ | 57．2.26～57．3.11 | 2 | 2,126 |

ブラジル

| プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ベレン森林造成事業 | アマゾン河流域の森林は主として熱帯降雨林で豊富な森林資源に恵まれているが，搬出手段の未発達等のため比較的未開発のまま残されている。ブラジル政府は関連施設の重点的整備，開発投資に対する優遇措置等を講ずるなどアマゾン河流域の総合開発を積極的に推進している。<br>また，ブラジル政府は，現在伐採，加工の行われているアマゾン河口ベレン周辺地域におけるわが国民間企業を通じた林業開発事業に対し強い関心を示している。<br>わが国は，昭和５０年１１月，基礎一次調査団を派遣し，熱帯降雨林の更新方法の確立，および伐採跡地を対象に郷土樹種を中心とする有用広葉樹による森林造成の可能性の検討を目的として調査を実施した。また，昭和５１年１０月，基礎二次調査団を派遣し，ベレン地域におけるわが国民間企業を通じた林業開発の基本構想を策定した。その結果，欧米先進国が政府ベースおよび民間企業を通じて林業開発を積極的に行おうとしているアマゾン地域のなかでわが国の民間企業の開発協力を促進するためには，他地域とは異なる抜本的な奨励優遇策を講ずる必要がある。例えば造林試験に対しては，超低利融資，為替差損の補償あるいは直貸の制度等を検討するほか，民間企業導入促進のためにわが国政府ベースでの実証試験プロジェクトの制度等も検討する必要があるとの結論に達した。 | 50 | 基礎一次調査 | 50.11. 8～50.12. 7 | 4 | 6,767 |
| | | 51 | | （報告書作成） | 0 | 299 |
| | | 〃 | 基礎二次調査 | 51.10. 6～51.11. 5 | 6 | 12,718 |
| | | 52 | | （報告書作成） | 0 | 702 |
| | | 〃 | 計画打合せ | 53. 3. 3～53. 3.19 | 5 | 5,456 |
| アマゾン林業開発現地実証調査 | 本件調査は，官民一体となって農林業開発協力事業を進める見地から，民間の行う開発協力事業の効果的推進を期するため，地域的性格が強く，かつ新たに技術の開発を要する事業について，その調査の一環として技術的可能性について現地で実証的調査を行うものである。 | 53 | 基礎二次調査 | 53. 6.24～53. 8. 4 | 10 | 17,154 |
| | | 〃 | 計画打合せ（一次） | 53. 9. 3～53. 9.18 | 3 | 3,376 |
| | | 〃 | 計画打合せ（二次） | 54. 1. 6～54. 1.14 | 1 | 753 |
| | | 54 | | （同上報告書作成） | 0 | 898 |
| | | 〃 | 計画打合せ | 54. 5. 9～54. 5.20 | 3 | 2,505 |
| | | 55 | 計画打合せ | 55. 8.10～55. 8.26 | 3 | 2,259 |

| プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| パラー州農業開発協力 | パラー州トメアス地区は日系移住者中心として胡しょう中心の農業を営んでいるが，1974 年の洪水による病虫害の発生等により，これら胡しょうの栽培は甚大なる被害を受けた。<br>本件は，廃園化した胡しょう園の更生対策として，作目の多角化，熱帯果林の導入等地域農業開発の可能性を検討するため基礎調査を行うものである。 | 54 | 基礎一次調査 | 54.11.30～54.12.18 | 6 | 7,395 |
| | | 55 | | （報告書作成） | 0 | 829 |
| 南部果樹開発協力 | 本調査は，リオグランデドスール州におけるぶどう酒用ぶどう及びサンタカタリーナ州におけるリンゴの栽培試験事業の基本構想を策定するものである。<br>昭和５５年度は，栽培技術の検討，事業の構想及び協力方針についての調査を行った。 | 55 | 基礎二次調査 | 55. 9.16～55.10.16 | 8 | 9,418 |
| | | 56 | | （報告書作成費） | 0 | 376 |
| サンタカタリーナ州リンゴ栽培 | 本調査は，５５年９月の調査結果を受け，農園設計，試験設計，経営計画等開発計画を策定するものである。<br>昭和５５年度は，候補地の中から事業最適地を選定し，事業計画策定のための調査を実施した。 | 55 | 開発計画調査 | 56. 2.10～56. 3. 3 | 7 | 9,866 |
| | | 56 | | （報告書作成費） | 0 | 325 |
| ツバロン製鉄所関連施設整備計画調査 | 本調査は，ヴィトリア市近郊ツバロン地区で計画中のツバロン製鉄所に関連して必要な医療施設等が適正に整備されることにより，その円滑な操業に資すると共に周辺地域住民の福祉向上，地域経済の発展に寄与することを目的とするもの。<br>昭和５５年度は，ヴィトリア地域の医療事情を把握し，病院建設の基本計画を策定し，そのフィージビリティの検討を行った。 | 55 | 関連施設整備調査 | 56. 3.13～56. 4. 1 | 10 | 29,393 |
| | | 56 | | （技術費・報告書作成） | 0 | 40,568 |
| ムンド・ノーボ輪換作物栽培開発計画調査 | 本調査は，セラード地域にある，ミナスジェライス州パラカツ地区において，セラードにおける在来農法の改善を図るため，高度牧野造成，牧野と畑地の輪換栽培法開発の試験的事業の可能性を検討し，あわせて開発計画を策定するものである。<br>昭和５６年度は，高度牧野造成上の諸問題，導入すべき牧草品種，畑作物および地力培養と，農業開発事業に係る諸問題，又サイトの自然，経済条件等の調査を行った。 | 56 | 開発計画調査 | 56.12. 8～56.12.25 | 7 | 10,216 |

ブラジル

| プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 永年性油糧作物開発協力 | 本調査は，オイルパーム，ココヤシ，パパスヤシ等の適地である北部および東北部ブラジルにおいて，わが国民間による上記ヤシ類の栽培試験を含む農園開発事業の可能性について調査するものである。<br>昭和５６年度は，上記ヤシの生産地，加工施設，流通状況，また，伯国の外資法とその投資環境等を調査した。 | 56 | 基礎二次調査 | 56. 9.15～56. 9.29 | 7 | 8,483 |

投融資審査等調査

| プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 関連施設整備事業融資調査 | 融資対象者のブラジルにおける合弁企業の関連施設整備事業に対する融資前調査。 | 51 | 投融資審査等調査 | 51. 4.27～51. 5.12 | 3 | 2,703 |
| 投融資審査等調査 | 1. ブラジル国パラナ州におけるブラジルラミー試験事業に対する融資後調査。<br>2. ブラジル国マットグロッソにおけるブラジル農牧事業の関連施設整備事業に対する融資前調査。<br>3. ブラジル国サンパウロにおける養鶏試験事業に対する融資前調査。 | 51 | 投融資審査等調査 | 51.11.17～51.12. 6 | 3 | 2,796 |
| 農業投融資審査等調査 | タツイ市における養鶏試験事業に対する融資後調査。 | 53 | 投融資審査等調査 | 54. 1.22～54. 2.14 | 3 | 3,150 |
| 鉱工業投融資審査等調査 | ① ベレン等における投融資説明会の開催。<br>② サンパウロ州における精密工具開発事業に伴う関連施設整備事業の融資前調査。<br>③ サンパウロ州における社会開発事業に伴う関連施設整備事業の融資前調査。 | 54 | 投融資審査等調査 | 54.12. 2～54.12.19 | 4 | 4,000 |
| 農業投融資審査等調査 | ① 日伯セラード農業開発事業の投融資前審査調査。 | 54 | 投融資審査等調査 | 54. 6. 2～54. 6.14 | 3 | 4,354 |
| | ② 投融資説明会の開催。 | 〃 | 〃 | 54.11.28～54.12. 2 | 2 | 222 |
| カパネマ鉄鉱山関連施設投融資審査等調査 | ブラジル連邦共和国ミナス・ジェライス州カパネマ地区で本邦企業の出資するミナス・ダ・セラ・ジェラル社が推進する鉄鉱山開発事業に付随するインフラ施設（道路）整備のため，ＪＩＣＡ に融資申込みがあったので，その適格性 | 53 | 投融資審査等調査 | 54. 3. 9～54. 3.24 | 3 | 2,652 |
| | | 54 | | （同上報告書作成） | | 120 |

| プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 審査のための調査を実施した。 | | | | | |
| ウルバノーバ宅地開発関連インフラ整備事業融資後調査 | 11,000 ha の土地の宅地造成を行い，２０年間で 18,000 戸 の住宅を建設（ 14,400 戸労働者用住宅，その他は自社開発の中高級住宅）する本体事業に対するインフラ整備（進入道路，河川橋，環状道路）の建設資金として 1,205 百万円の貸付を承諾，そのうち第１回分として 548 百万円の貸付を実行，本調査は①資金使途のチェック，②工事進捗状況の把握，③インフレ動向調査，④住宅供給機関を訪問し，需給動向，同プロジェクトとの関連，住宅資材の需給動向等の調査のために派遣された。 | 55 | 投融資審査等調査 | 56．2.27～56．3.13 | 4 | 4,469 |
| 投融資審査等調査 | ミナス・ジェライス州における鉄鉱石開発事業に伴う関連施設整備の融資中審査及びヴィクトリア州における製鉄開発事業に伴う関連施設整備の融資前調査の実施。 | 55 | 投融資審査等調査 | 55．8.24～55．9．9 | 4 | 4,607 |
| ウルバノーバ宅地開発融資後調査 | 本調査は，55年度に引続き，貸付資金使途のチェック，今後の貸付実行の目途の確認，現地インフレ動向等の調査を目的として実施するものである。 | 56 | 投融資審査等調査 | 57．3．1～57．3.14 | 5 | 5,249 |
| 投融資審査等調査 | （パラグァイ，ブラジル）<br>中南米一般を参照のこと。 | 55 | 投融資審査等調査 | 56．2.17～56．3．7 | (3) | (1,958) |
| | | 56 | | （報告書作成） | | (76) |
| 投融資審査等調査 | （ペルー，ブラジル）<br>中南米一般を参照のこと。 | 56 | 投融資審査等調査 | 57．2.23～57．3.12 | (3) | (1,405) |

開発協力技術指導

その1　研修員受入

ブラジル

| 研修科目 | 年度 | 人数 | 研修期間 | 研修場所 | 経費実績(千円) |
|---|---|---|---|---|---|
| 採卵鶏飼養管理技術の収得 | 54 | 1 | 54.10.31～54.12.23 | | |
| 養豚経営技術の収得，肉牛経営概念の探究 | 54 | 1 | 55. 1.30～55. 3. 9 | | |
| 畑作実験計画の設計及び普及指導 | 55 | 3 | 55.10.11～55.10.27 | | |
| 畑作栽培 | 56 | 2 | 56.10.19～56.11. 3 | | 3,182 |
| 畑作栽培 | 56 | 1 | 56.11.16～56.11.26 | | 2,599 |

その2　専門家派遣

| プロジェクト名 | 年度 | 人数 | 派遣期間 | 経費実績(千円) | 技術指導内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| アビコラ・ゴトウ養鶏開発協力 | 53 | 1 | 53. 9.12～53.10. 2 | 991 | 抗病性育種(ニワトリ) |
| 日伯農業開発 | 〃 | 7 | 54. 1.27～54. 2.28 | 8,653 | 作物栽培，農場施設，農場経営他 |
| 日伯農業開発 | 54 | 2 | 55. 3.26～57. 3.19 | 4,722 | 作物栽培 |
| ウルバノーバ宅地開発 | 55 | 2 | 55.11. 7～56. 3. 6<br>55.11.28～55.12.27 | 6,548 | |
| 日伯農業開発 | 55 | 1 | 56. 3.20～58. 3.19 | 20,354 | 土壌・肥料 |
| 日伯農業開発 | 56 | (2) | (55. 3.26～58. 3.19) | 35,826 | 作物栽培 |
| 日伯農業開発 | 56 | (1) | (56. 3.20～58. 3.19) | | 土壌，肥料 |

(注)　カッコは継続派遣専門家。

〔開発投融資〕

| 融資承諾年月 | 事業名 | 事業地 | 本邦事業者 | 対象事業 | 貸付条件・承諾額・契約額 | | | | | 貸付実行額 | | グラント・エレメント(%) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 金利(%) | 返済期間(うち据置年) | 承諾額(百万円) | 契約年月 | 契約額(百万円) | 年度 | 実行額(百万円) | | |
| 50.10.30 | 香料植物試験事業 | パラー州，ベレンバイア地区 | | 22 ha，パッチョリーサフロール樟栽培 | 0.75 | 20(5) | 94.6 | 51. 3.16 | 30 | 50 | 30 | 61.653 | |
| | | | | | | | | 52. 2.10 | 30.8 | 51 | 30.8 | | |
| | | | | | | | | 53. 2. 8 | 33.8 | 52 | 33.8 | | |

〔開発投融資〕

| 融資承諾年月 | 事業名 | 事業地 | 本邦事業者 | 対象事業 | 貸付条件・承諾額・契約額 | | | | | 貸付実行額 | | グラント・エレメント（%） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 金利（%） | 返済期間（）内据置年 | 承諾額（百万円） | 契約年月 | 契約額（百万円） | 年度 | 実行額（百万円） | | |
| 51. 7.15 | ラミー試験事業 | ブラジルパラナ州 | | 麻栽培試験 | 0.75 | 20(5) | 94 | 51. 8.13 | 46.4 | 51 | 46.4 | | |
| | | | | | | | | 52. 5.27 | 25.3 | 52 | 25.3 | | |
| | | | | | | | | 53.12.15 | 18.0 | 53 | 18.0 | | |
| 52. 2.25 | 農牧開発事業 | マットグロッソ | | 道路，滑走施設，学校 | 0.75 | 20(5) | 294.2 | 52. 3.28 | 99.7 | 51 | 99.7 | | |
| | | | | | | | | 52. 7. 7 | 194.5 | 52 | 194.5 | | |
| 52. 6.15 | 養鶏試験事業 | サンパウロ | | 国産原種鶏の生産 | 0.75 | 20(5) | 60 | 52. 7.29 | 42 | 52 | 42 | | |
| 53. 3.23 | マットグロッソ農業試験事業 | マットグロッソ | | 100 ha 米，大豆，豆科牧草 | 0.75 | 20 | 89.4 | 53. 5.25 | 66.5 | 53 | 66.5 | | |
| | | | | | | | | 53.12.20 | 11.4 | 53 | 11.4 | | |
| 54. 3.13 | タペロア試験造林事業 | バイア州 | | トンキンニクケイ，ホンニクケイ，セイロンニクケイの試験造林300 haの造林 | 0.75 | 20(5) | 285 | 54. 3.30 | 90.9 | 53 | 60.0 | | |
| | | | | | | | | | | 54 | 30.9 | | |
| | | | | | | | | 55.10. 3 | 44.3 | 55 | 44.3 | | |
| | | | | | | | | 56. 7.21 | 47.5 | 56 | 47.5 | | |
| | | | | | | | | 57. 6.11 | 48.3 | 57 | 30.68 | | |
| 54. 3.29 | カパネマ鉄鉱山開発関連施設整備事業 | ミナス・ジェライス | | アマンティナ～鉱山間18km，道路，橋梁 | 0.75 | 20(5) | 628.2 | 54. 7.30 | 628.2 | 54 | 628.2 | | |
| 54. 9.26 | 日伯農業開発協力事業 | ミナス・ジェライス | | セラード地帯50,000 haの土地改良及び大豆とうもろこしの栽培 | 2.5 | 20(5) | 4,100 | 54. 9.28 | 4,100 | 54 | 492.374 | | |
| | | | | | | | | | | 55 | 649.813 | | |
| | | | | | | | | | | 56 | 2,252.410 | | |
| | | | | | | | | | | 57 | 705.410 | | |

ブラジル

〔開発投融資〕

ブラジル

| 融資承諾年月 | 事業名 | 事業地 | 本邦事業者 | 対象事業 | 貸付条件・承諾額・契約額 | | | | | 貸付実行額 | | グラント・エレメント（%） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 金利(%) | 返済期間( )内据置年 | 承諾額(百万円) | 契約年月 | 契約額(百万円) | 年度 | 実行額(百万円) | | |
| 55. 3.26 | サンパウロ精密工具開発関連整備事業 | サン・パウロ州，プラガンサパウリスタ | | プール，グランド，卓球場 | 0.75 | 14(5) | 120 | 55. 5. 1 | 43 | 55 | 43 | | |
| 55. 7. 1 | ウルバノーバ宅地開発事業 | サン・パウロ州，サン・ホセ・ドス・カンポス | | 進入道路，環状道路，パライバ河川橋 | 0.75 | 20(5) | 1,205 | 55. 7. 8 | 1,205 | 55 | 547.7 | | |
| 56. 2.24 | マンジョカ栽培試験事業 | パラー州 | | 機械化試験，施肥 | 0.75 | 20(5) | 58.6 | 56. 4.23 | 33 | 56 | 33 | | |
| | | | | | | | | 57. 4. 1 | 25.6 | 57 | 25.6 | | |
| 57. 6.18 | セラード地域，輪作，輪換技術等試験事業 | ミナス・ジェライス州 | | 畑地，牧草地，輪換試験 | 0.75 | 15(5) | 109 | | | | | | |

チ　　リ

## 1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

| 形態＼年度（経費及び人数） | 29～50 | | 51 | | 52 | | 53 | | 54 | | 55 | | 56 | | 累計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） | 経費（千円） | 人数（人） |
| 研修員 | 146,990 | 140 | 38,450 | 26 | 48,792 | 27 | 43,945 | 22 | 48,541 | 29 | 90,826 | 43 | 87,764 | 35 | 505,308 | 322 |
| 専門家 | 105,939 | 34 | 24,603 | 3 | 74,393 | 22 | 83,970 | 12 | 120,331 | 20 | 155,652 | 22 | 196,269 | 19 | 761,157 | 132 |
| 調査団 | 101,103 | 34 | 274,732 | 23 | 93,302 | 18 | 213,452 | 29 | 203,143 | 35 | 169,494 | 33 | 92,839 | 34 | 1,148,065 | 206 |
| 協力隊 | — | | — | | — | | — | | — | | — | | — | | — | |
| 機材供与 | 49,657 | | 93,864 | | 126,795 | | 107,902 | | 101,872 | | 129,721 | | 207,149 | | 816,960 | |
| その他 | 4,333 | | 3,973 | | 4,607 | | 5,556 | | 8,326 | | 9,026 | | 9,320 | | 45,141 | |
| 合計 | 408,022 | | 435,622 | | 347,889 | | 454,825 | | 482,213 | | 554,719 | | 593,341 | | 3,276,631 | |

(2) 形態別・分野別

| 形態＼分野 | 人数累計（人） | 計画・行政 | | 公共・公益事業 | | | | 農林・水産 | | | | 鉱工業 | | エネルギー | 商業・観光 | | 人的資源 | | 保健医療 | 社会福祉 | その他 | 経費累計（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 開発計画 | 行政 | 公益事業 | 運輸交通 | 社会基盤 | 通信・放送 | 農業 | 畜産 | 林業 | 水産 | 鉱業 | 工業 | | 商業・貿易 | 観光 | 人的資源 | 科学・文化 | | | | |
| 研修員 | 322 | 7 | 10 | 1 | 54 | 9 | 26 | 8 | 1 | 2 | 38 | 22 | 37 | 13 | 7 | 2 | 16 | | 63 | 4 | 2 | 505,308 |
| 専門家 | 132 | | | 2 | 17 | | 1 | 2 | | | 39 | 21 | 12 | 3 | 1 | | 1 | | 33 | | | 761,157 |
| 調査団 | 206 | 8 | | | 13 | | 5 | | | 5 | 37 | 88 | 12 | 28 | | | | | 10 | | | 1,148,065 |
| 協力隊 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | — |
| 機材供与 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 816,960 |
| その他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 45,141 |
| 合計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3,276,631 |

2、事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

チリ

| 分野 / 年度 | 合計 人数 | 計画・行政 | | 公共・公益事業 | | | | 農林・水産 | | | | 鉱工業 | | エネルギー | 商業・観光 | | 人的資源 | | 保健医療 | 社会福祉 | その他 | 経費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 開発計画 | 行政 | 公益事業 | 運輸交通 | 社会基盤 | 通信・放送 | 農業 | 畜産 | 林業 | 水産 | 鉱業 | 工業 | | 商業・貿易 | 観光 | 人的資源 | 科学・文化 | | | | |
| 33年度 | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 34 〃 | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | |
| 35 〃 | 2 | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 14,988 |
| 36 〃 | 10 | | | | 2 | 1 | | | | | 1 | | | | | | 6 | | | | | |
| 37 〃 | 7 | | | | 3 | | 1 | | | | 2 | | 1 | | | | | | | | | |
| 38 〃 | 6 | | | | 4 | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| 39 〃 | (2) 5 | | | | (1) 4 | | 1 | | | | | | | | | | (1) | | | | | 4,124 |
| 40 〃 | 3 | | | | 1 | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | 3,768 |
| 41 〃 | 5 | | | | 2 | | 1 | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | 4,180 |
| 42 〃 | 3 | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 4,481 |
| 43 〃 | (1) 3 | | | | (1) 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | 2,606 |
| 44 〃 | (1) 12 | | (1) | | 3 | | 2 | | | | 3 | | 1 | | | | 1 | | 2 | | | 10,572 |
| 45 〃 | (2) 17 | | | | 2 | (1) | | 1 | | | 5 | (1) 1 | 1 | | 2 | | 2 | | 2 | | 1 | 12,929 |
| 46 〃 | 13 | | | | 4 | | | | | | | 1 | 2 | | | 1 | 1 | | 3 | | 1 | 12,389 |
| 47 〃 | 7 | 1 | | | 2 | | | | | | 2 | | | | | | | | 2 | | | 10,145 |
| 48 〃 | 14 | | 1 | | 7 | | | | | | 2 | | | | | 1 | 1 | | 2 | | | 18,158 |
| 49 〃 | 13 | | | | 1 | 1 | | | | | 4 | 2 | | | | | 2 | | 3 | | | 19,583 |
| 50 〃 | 18 | 3 | | | 3 | | 2 | | | | 2 | | 2 | | 2 | | | | 4 | | | 29,067 |
| 51 〃 | 26 | 1 | 1 | | 3 | 1 | 2 | 1 | | | 2 | 4 | 2 | 3 | | | | | 6 | | | 38,450 |
| 52 〃 | 27 | 1 | 1 | | 3 | | 3 | 2 | | | 2 | 1 | 6 | 2 | | | | | 6 | | | 48,792 |
| 53 〃 | 22 | | 1 | | | 1 | 1 | 1 | | | | 2 | 5 | 2 | 1 | | | | 8 | | | 43,945 |
| 54 〃 | 29 | | | | 1 | 1 | 3 | | | | 3 | 4 | 5 | 2 | 1 | | 2 | | 7 | | | 48,541 |
| 55 〃 | 43 | | 3 | 1 | 4 | 2 | 5 | 2 | | | 2 | 3 | 5 | 2 | 1 | | 1 | | 11 | 1 | | 90,826 |
| 56 〃 | 35 | 1 | 3 | | 3 | 1 | 2 | | | 1 | 4 | 4 | 6 | 1 | | | | | 6 | 3 | | 87,764 |
| 合計 | (6)322 | 7 | (1)10 | 1 | (2)54 | (1) 9 | 26 | 8 | 1 | 2 | 38 | (1)22 | 37 | 13 | 7 | 2 | (1)16 | | 63 | 4 | 2 | 505,308 |

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

| 分野 / 年度 | 合計 人数 | 計画・行政 | | 公共・公益事業 | | | | 農林・水産 | | | | 鉱工業 | | エネルギー | 商業・観光 | | 人的資源 | | 保健医療 | 社会福祉 | その他 | 経費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 開発計画 | 行政 | 公益事業 | 運輸交通 | 社会基盤 | 通信・放送 | 農業 | 畜産 | 林業 | 水産 | 鉱業 | 工業 | | 商業・貿易 | 観光 | 人的資源 | 科学・文化 | | | | |
| 35年度 | 2 | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | 4,680 |
| 36 〃 | 2 | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 37 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 38 〃 | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 39 〃 | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1,243 |
| 40 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 248 |
| 41 〃 | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 939 |
| 42 〃 | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 3,846 |
| 43 〃 | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1,978 |
| 44 〃 | 2 | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 2,749 |
| 45 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2,642 |
| 46 〃 | 3 | | | | | | | | | | 2 | 1 | | | | | | | | | | 5,538 |
| 47 〃 | 4 | | | | | | | | | | 4 | | | | | | | | | | | 17,398 |
| 48 〃 | 3 | | | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | 19,626 |
| 49 〃 | 7 | | | 2 | | | | | | | 1 | 4 | | | | | | | | | | 29,336 |
| 50 〃 | 6 | | | | | | | 1 | | | 5 | | | | | | | | | | | 38,658 |
| 51 〃 | 3 | | | | | | | | | | 2 | 1 | | | | | | | | | | 19,642 |
| 52 〃 | (6) 4 | (6) | | | | | | | | | | | 1 | 3 | | | | | | | | 48,059 |
| 53 〃 | 2 | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | 36,729 |
| 54 〃 | 8 | | | | | | 1 | | | | 5 | 2 | | | | | | | | | | 58,929 |
| 55 〃 | 9 | | | | 4 | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | 3 | | | 60,634 |
| 56 〃 | 8 | | | | 3 | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | 3 | | | 73,738 |
| 合計 | (6) 68 | (6) | | 2 | 17 | | 1 | 2 | | | 27 | 9 | 1 | 3 | | | | | 6 | | | 426,612 |

（注）カッコは国際機関専門家で外数である。

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

チリ

| 番 | 機材名 | 機材供与先 | 年度 | 機材供与経費（千円） |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 漁業回転水槽装置 | ノルテ大学水産学部 | 46 | 3,675 |
| 2 | がん研究用機材 | ノルテ大学医学部 | 46 | 1,216 |
| | （同上47年度支出分） | | 47 | 88 |
| 3 | さけ，ます養殖機材 | 農牧省漁業捞鎮局 | 48 | 4,618 |
| 4 | がん対策用機材 | チリ大学医学部バロスル・チョトルデヨ病院 | 48 | 2,966 |
| 5 | がん対策用機材 | チリ大学医学部バロスル・チョトルデヨ病院 | 50 | 1,631 |
| 6 | 白さけ白眼卵 | 漁業捞鎮局 | 50 | 3,973 |
| 7 | さけ，ます増養殖機材 | 漁業捞鎮局 | 51 | 10,432 |
| | （同上52年度支出分） | | 52 | 610 |
| 8 | さけ，ます増養殖機材 | 農政省コジャイケ養殖場 | 52 | 7,053 |
| 9 | 電力開発機材（地震計自動感度調整器，他） | 国家企画庁 | 53 | 8,525 |
| 10 | 養魚用機材 | 漁業捞鎮局 | 54 | 214 |
| 11 | さけ，ます増養殖機材 | チリ大学 | 55 | 236 |
| 12 | 電気通信用機材 | バルパライーソ・カトリック大学 | 56 | 50,585 |
| 13 | 食品加工用機材 | チリ国立大学 | 56 | 16,679 |
| 計 | 13件 | | | 112,501 |

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 | | | | 専門家 | | | 機材供与 | | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 主要機材名 | 経費（千円） | |
| 胃がん対策 | チリ政府は，早期胃がん診断技術および集団検診技術の向上をめざし，そのための協力をわが国に要請してきた。この要請に | 50 | 事前調査 | 51. 3.28～51. 4.21 | (5) | 1/(3,095) | | | | | | (3,095) |
| | | 51 | 実施調査 | 51. 9.14～51. 9.28 | 4 | 4,006 | | | | | | 4,006 |
| | | 52 | | | | | | 6 | 11,383 | 遠隔操作式X線テレビ装置 | (特) 4,981<br>84,656 | 101,020 |

チリ

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 専門家 人数 継続 | 新規 | 経費（千円） | 機材供与 主要機材名 | 経費（千円） | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Gastric Cancer Control<br>協定等の種類：R／D<br>署名年月日：51.9.24<br>協力期間：<br>（当初）52.4.1～55.3.31<br>（延長）55.4.1～57.3.31<br>相手国機関：<br>国内協力機関：<br>兵庫医科大学 | 対しわが国は，本件協力の可能性を調査するため昭和５１年３月に事前調査チームを派遣した。その結果，計画遂行に必要な人材，技術水準が整っており，協力の効果が大きいことが確認された。これを受けて昭和５１年９月に実施協議チームを派遣し，討議議事録の署名をへて協力が開始された。<br>本件プロジェクトの協力内容は，同国サンチャゴ市の胃がん診断センターおよびキジョタ市のサン・マルティン病院を中心に，(1)胃がん診断技術の向上，(2)X線間接撮影技術の向上を図ろうとするものである。<br>〔カウンターパート受入実績〕<br>年度：52 53 54 55 56<br>人数：11 4 3 | 53 | | | | | | 6 | 5 | 32,188 | 内視鏡，顕微鏡<br>車輌 | (機)11,423<br>68,484 | 112,095 |
| | | 54 | エバリュエーション | 55. 1.19～55. 1.28 | 3 | 2,815 | 2 | 6 | 25,820 | 胃集検車，マイクロバス | (機)1,216<br>68,314 | 98,165 |
| | | 55 | (同上報告書作成) | | | (機)212 | | | | | | 39,253 |
| | | 〃 | | | | (実)53 | 3 | 3 | 22,912 | | (機)1,579<br>14,497 | |
| | | 56 | エバリュエーション | 57. 1. 6～57. 1.19 | 3 | (実)24<br>3,020 | — | 4 | 8,331 | | 43,669 | 55,289 |
| | | 〃 | | | | (所)245 | | | | | | |
| | | | 1/ チリ，エクアドル医療協力事前調査，中南米一般参照，経費折半 | | | | | | | | | |

保健医療協力事業
（大学教授）

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 専門家 人数 継続 | 新規 | 経費（千円） | 機材供与 主要機材名 | 経費（千円） | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 早期がん診断 | （アルゼンティン，ブラジル，チリ，コロンビア，ペルー）<br>中南米一般を参照のこと。 | 47 | | | | | | (4) | (910) | | | (910) |
| 消化器病学 | （ペルー，チリ）<br>中南米一般を参照のこと。 | 52 | | | | | | (1) | (580) | | (機)(45) | (625) |

チリ

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 専門家 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 機材供与 主要機材名 | 経費（千円） | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 消化器内視鏡 | （ペルー，チリ）中南米一般を参照のこと。 | 52 | | | | | | (1) | (580) | | 機 (45) | (625) |
| 外科学 | （チリ，ペルー）中南米一般を参照のこと。 | 56 | | | | | | (1) | (548) | | 機 (613) | (1,261) |
| 消化器外科学 | | 54 | | | | | | 1 | 751 | | | 751 |
| | | 55 | | | | | | | 201 | | | 201 |
| 消化器がん治療 | | 55 | | | | | | 1 | 1,070 | | 機 408 | 1,478 |
| 医療講演 | | 55 | | | | | | 2 | 1,949 | | | 1,949 |

農林業協力事業

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 専門家 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 機材供与 主要機材名 | 経費（千円） | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 水産養殖<br>The Aquaculture Project<br>協定等の種類：R／D<br>署名年月日：<br>協力期間：<br>（当初）54.10.2～59.10.1 | わが国は，チリ国水産増養殖に寄与するため，昭和47年以降，政府ベースの技術協力として専門家派遣事業および単独機材供与事業によりシロザケ移殖計画のための協力を開始し，現在に至っている。上記協力により，約1,000万粒の卵の孵化放流を行ったが，未だ親魚の回帰が確認されていない。このような状況にかんがみ，チリ国政府は，本件計画を拡大し，親魚の回帰を図るためプロジェクトベースによる協力をわが国に要請越した。<br>これに応え，わが国は，昭和53年11月に事前調査団を派遣し，この調査結果にもとづき昭和54年9月には実施協議チー | 53 | 事前調査 | 53.11.28～53.12.18 | 5 | 4,682 | | | | | | 4,682 |
| | | 54 | | | | 1,098 | | | | | | 26,874 |
| | | 〃 | 実施協議 | 54. 9.18～54.10. 8 | 4 | 5,124 | — | 1 | 4,667 | | 機 12,883 | |
| | | 〃 | 計画打合せ | 55. 3.11～55. 3.25 | 3 | 3,102 | | | | | | |
| | | 55 | （同上報告書作成） | | | 604 | | | | | | 123,030 |
| | | 〃 | 巡回指導 | 56. 3.18～56. 4. 1 | 3 | 3,603 | 2 | 7 | 45,478 | 発眼卵，空港用資機材 | 機 4,556<br>68,789 | |
| | | 56 | （同上報告書作成） | | | 142 | | | | | | 154,942 |
| | | 〃 | 巡回指導 | 56.11.22～56.12. 8 | 4 | 5,250 | 6 | 4 | 93,396 | 発眼卵，飼料，試薬 | 機 3,512<br>52,642 | |

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 | | | | 専門家 | | | 機材供与 | | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 人数 継続 | 人数 新規 | 経費（千円） | 主要機材名 | 経費（千円） | |
| | ムを派遣，先方関係機関と詳細技術協力計画について協議し，討議議事録に署名した。<br>昭和５５年３月に派遣された計画打合せチームにより協力の基本プログラムが決定され組織的な協力が開始されている。<br>〔カウンターパート受入実績〕<br>年度：５４，５５，５６<br>人数：３，２，１ | | | | | | | | | | | |
| 沿岸漁業振興計画<br><br>協定等の種類：<br>署名年月日：<br>協力期間：<br>（当初） | チリ政府は，同国において低所得層を形成する沿岸漁民の育成を目的とする沿岸漁業振興計画を立案し，わが国に対して同計画推進に必要な経済技術協力を要請してきた。これに対しわが国は，昭和５６年９月に事前調査チームを派遣し協力の可能性について調査した。<br>本計画は，第８州のコロネル市・ロハス（Lo Rojas）地区に沿岸漁業訓練普及センターを建設し，当センターを核とした沿岸漁業振興を推進しようとするものである。 | 56 | 事前調査 | 56. 9.19～56. 10. 7 | 4 | 5,526 | | | 1,799 | | | 7,325 |
| 中南地域モデルインフラ指導 | （ブラジル，チリ，パラグァイ）<br>中南米一般を参照のこと。 | 55 | 巡回指導 | 55.10.23～55.11.11 | (3) | (1,235) | | | | | | (1,235) |

産業開発協力事業

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査団 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 専門家 人数 継続 | 新規 | 経費（千円） | 機材供与 主要機材名 | 経費（千円） | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 銅製錬開発技術協力<br>Technical Cooperation on The Development of Copper Smelting and Refining<br>協定等の種類：R／D<br>署名年月日：51.11.29<br>協力期間：<br>（当初）51.11.29～56.3.16<br>（フォローアップ）56.3.17～58.3.16<br>相手国機関：<br>鉱山冶金中央研究所<br>国内協力機関： | チリは，米国に次いで世界第2の産銅国であり，銅が同国輸出額の約85％を占める主力産業である。チリにおいても資源ナショナリズムの高揚による国有化が行われたが，高生産性，低コスト，高品質を誇った産銅技術も，新規投資の欠除，追加投資の不足，技術者の大量流出によって進歩は停滞し，技術の立ちおくれがみられる。<br>このような状態の改善策として，チリ政府は資金的制約等を考慮し，新規鉱床の開発による増産よりも長期的にチリの産銅業の体質強化をはかるという現実的政策を打出し，既存製錬所の改良による生産性の向上をはかるべく，50年1月にわが国に技術協力を要請してきた。<br>本要請は，両国の協力関係を緊密化するうえで重要であるとの判断に基づき，50年7月10日から31日間の事前調査を実施した。調査団は鉱山省，CODELCO（銅公団），ENAMI（銅公社）および同公団，同公社傘下の主要製錬所との討議，実態調査を通じてチリ側ニーズの具体的把握，技術移転の可能性等今後の技術協力の方向を探った。<br>また，昭和51年3月から6月にかけて長期調査団を派遣し，さらに昭和51年11月には実施調査団を派遣し，同国唯一の公 | 50 | 事前調査 | 50. 7.10～50. 8. 9 | 5 | 実 524<br>6,070 | — | 3 | 1,466 | | | 8,666 |
| | | 〃 | | | | 明 606 | | | | | | |
| | | 51 | 実施調査 | 51.11. 9～51.12. 3 | 5 | 12,376 | 3 | — | 7,463 | | 78,838 | 98,677 |
| | | 52 | 計画打合せ | 52.10.25～52.11. 7 | 2 | 実 272<br>2,074 | — | 8 | 17,268 | 純水製造装置 | 18,266 | 37,880 |
| | | 53 | 巡回指導 | 54. 3. 2～54. 3.25 | 4 | 4,416 | 4 | 6 | 16,729 | ルツボ，自動車 | 機 9,175<br>4,902 | 35,222 |
| | | 54 | | | | 機 301 | | | | | | 44,189 |
| | | 〃 | | | | 実 150 | 3 | 4 | 30,976 | ガス分析器 | 機 1,407<br>11,355 | |
| | | 55 | エバリュエーション | 56. 3. 3～56. 3.19 | 4 | 4,415 | 5 | — | 33,176 | 赤外線分析計，オートクレーブ | 機 626<br>23,566 | 61,783 |
| | | 56 | | | | 機 100 | | | | | | 43,825 |
| | | 〃 | | | | 実 467 | 2 | 1 | 32,176 | 亜硫酸ガス分析計，マイクロ・コンピューター | 機 1,096<br>9,986 | |

| プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査団 | | | | 専門家 | | | 機材供与 | | 経費総額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 調査の種類 | 調査期間 | 人数 | 経費（千円） | 人数 | | 経費（千円） | 主要機材名 | 経費（千円） | |
| | | | | | | | 継続 | 新規 | | | | |
| | 立研究所であるCIMM（鉱山冶金中央研究所）に対し，<br>(1)銅製錬技術の研究開発<br>(2)人材養成<br>(3)製錬技術の現場指導等の内容で技術協力を実施する旨のR／Dを署名し，本格的に協力することとなった。<br>〔カウンターパート受入実績〕<br>年度 51 52 53 54 55 56<br>人数 8 4 2 2 | | | | | | | | | | | |

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

| 番 | プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | アンデス・グループ多国籍海運基礎調査 | （チリ，ペルー，コロンビア，エクアドル）<br>中南米一般を参照のこと。 | 47 | 実施調査 | 47.11.21～47.12.22 | (3) | (2,423) |
| 2 | 都市交通計画調査 | サンチャゴ市及びコンセプション市，バルパライソ市に関する交通整備計画に関する調査。 | 41 | 投 | 42. 3.15～42. 3.31 | 8 | 6,500 |
| | | | 42 | 投 | 42. 4. 1～42. 4.15 | (8) | 2,961 |
| 3 | 零細漁業生産性向上訓練センター設立計画調査 | 同国政府は国内の最貧困層である沿岸漁民の社会的，技術的，経済的な向上を図るため訓練センターの設立を計画，わが国に無償資金協力を要請してきた。これに応えて，わが国は無償資金協力と技術協力を効果的に実施するためには，多岐にわたる相手国政府の要請内容を適確に把握する必要があり，55年3月調査団を派遣し事前調査を実施した。 | 55 | 特 | 56. 3.28～56. 4.17 | 5 | 6,808 |
| | | | 56 | 特 | （報告書作成） | 0 | 2 |
| 4 | 国鉄近代化計画調査 | チリ国鉄の経営の合理化・近代化を進めるため経営改善計画全般の策定を行うとともに，貨車・貨物の管理に関する提案を行うもので，56年度は，T／Rの確認とS／Wの締結を行った。 | 56 | 事前調査 | 57. 3.16～57. 3.30 | 5 | 6,287 |
| 5 | 零細漁民訓練センター建設計画調査 | 零細漁民の技術および経営能力の向上に資するためデモンストレーションを目的とした訓練センターの建設に係る基本設計調査を実施した。 | 56 | 特 | 56. 9.22～56.10.21 | 7 | 20,249 |

海外開発計画調査事業

チリ

| 番 | プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 木材利用工業開発計画調査 | （チリ，ペルー）<br>中南米一般を参照のこと。 | 38 | 海 | 38.10.15～38.12.19 | (5) | (3,356) |
| 2 | 中小規模工業経済協力調査 | （チリ，コロンビア）<br>中南米一般を参照のこと。 | 43 | 海 | 43.11. 2～43.11.30 | (6) | (3,325) |
| 3 | 鉱工業プロジェクト選定確認調査 | ③（ブラジル，チリ，コロンビア，パラグァイ）<br>中南米一般を参照のこと。 | 49 | 海 | 50. 2. 3～50. 2.23 | (2) | (632) |
| 4 | マイクロ回線網建設計画調査 | チリの電気通信網整備１０カ年計画の一環としてコンセプシオン～サンチャゴ～アリカ間約2,500 Kmにわたるマイクロウェーブ通信網設立計画について，置局予定地の踏査及び通信トラフィック調査。 | 39 | 海 | 39.12.18～40. 3. 2 | 5 | 7,102 |
| | | | 40 | 海 | | 0 | 320 |
| 5 | バーケル河水力発電開発計画調査 | アイセン州水力開発計画の一環として，バーケル河の水力開発が計画されており，チリ電力公社の作成した開発計画書を見直し，必要な追加調査項目について現地調査，耐寒・地質・建設材料の調査を実施した。 | 50 | 海 | 51. 2.10～51. 3.24 | 6＋(1) | 20,345 |
| | | | 51 | 海 | | 0 | 38,948 |
| 6 | 地熱発電計画等調査 | チリ政府より，従来から要請のあったアイセン州の開発計画づくりを，時期早尚である旨説明し，プチュルディサ地熱発電計画等のアイセン開発計画以外の案件につき協力する用意があることを伝える。加えて具体的案件を発掘するために調査を行った。 | 53 | 海（事前） | 53. 9. 3～53. 9.10 | 1 | 734 |
| 7 | プチュルディサ地区地熱開発計画調査 | チリ国産業開発公団（CORFO）は，UNDP の技術援助を受けて，1968年以降地熱開発調査を実施し，チリ北部エル・タティオ地区およびプチュルディサ地区を有望地域と選定した。同国の要請により，このプチュルディサ地区（250 km²）に対し地質，地化学，物理探査の精密調査を実施し，地熱貯溜層の解明を行い，調査井の位置，深度等を選定するための調査を実施した。<br>昭和５６年度は本調査に使用した温度検層機一式をチリ側に供与した。 | 53 | 海 | 53.11. 1～53.12.30 | 10 | 79,198 |
| | | | 54 | 海（報告） | 54. 7.20～54. 8. 2 | 2 | 7,933 |
| | | | 〃 | 海 | 54.10.24～54.12.17 | 4 | 25,169 |
| | | | 55 | 海 | 55.10.12～55.12.18 | 2 | 16,812 |
| | | | 〃 | 海（報告） | 56. 2.15～56. 2.21 | 1 | |
| | | | 56 | 海 | 56.11.12～56.12. 6 | 2 | 16,258 |
| 8 | サンチャゴ西部地域鉱物資源開発計画調査 | 本件対象地域はサンチャゴの西部を走る海岸山脈地域にあり，従来より中小鉱山が操業しているが，有望地域であるにもかかわらず組織的で充分な調査が行われたことがない。本件調査は同地域全体の中から最も有望な地域を選定し今後の資源開発の可能性を検討するとともに，その探鉱方針を策定するものである。 | 54 | 海 | 55. 1.28～55. 2.26 | 5 | 27,103 |

チリ

| No. | プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 鉱工業プロジェクト選定確認調査 | 同国に対する技術協力のうち，鉱工業関係の調査を効率的に実施するため，要請プロジェクトと潜在的可能性のあるプロジェクトについて背景と経済開発における位置づけ等を調査し，実施可能なプロジェクトの選定と確認を行った。 | 55 | 海（事前） | 55.12. 5～55.12.18 | 4 | 7,586 |

資源開発協力基礎調査事業

| No. | プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 北部地区資源開発協力基礎調査 | 新規に実施する調査の対象地域，調査方法，内容等について相手国政府との折衝及び選定された地域の事前調査。５０（Ｆｙ）－５２（Ｆｙ）の３カ年計画で，チリ北部TARAPACA州とANTOFAGASTA州にまたがる面積約5,000 K㎡の鉱物資源賦存の可能性を確認するための地質等の調査を実施する。その第１段階として，地質調査・地化学探査・写真解析を実施。 | 50 | 資 | 50. 5. 9～51. 3. 1 | 10＋(2) | 49,622 |
| | | | 51 | 資 | 51. 5.25～52. 2.28 | 10＋(1) | 176,411 |
| | | | 52 | 資 | 52. 6.17～53. 2. 6 | 12＋(1) | 74,243 |
| | | | 53 | 資 | | | 49,967 |
| | | ㊟５０年度の＋(2)はＭＭＡ予算 | | | | | |
| 2 | コンセプシオン東部地区資源開発協力基礎調査 | チリ国の要請にもとづき，鉱物資源の賦存の可能性を調査するもの。調査対象地区は，コンセプシオン東部の面積約6,000 K㎡の地区で，初年度は，事前調査，協定折衝，地質調査，物理探査，ボーリングを実施した。 | 53 | 資 | 53. 6.21～54. 3.12 | 12 | 74,929 |
| | | | 54 | 資 | 54.10. 9～54.12.18 | 14 | 135,603 |
| | | | 55 | 資 | 55. 3.15～55. 6.17 | 3 | 74,768 |
| | | 昭和５５年度は第２年次までの調査結果によって抽出した有望地域の写真地質調査，地質調査を行った。 | 〃 | 資 | 55. 6.15～55. 6.26 | 17 | 51,918 |
| | | | 〃 | 資 | 55.10.10～56. 2.27 | | |
| | | 昭和５６年度はサンファビアンデアリコ東部地域において写真地質調査，地質調査，地化学探査を実施し，鉱化帯の特性を把握した。 | 〃 | 資 | 56. 1.20～56. 2. 2 | | |
| | | | 56 | 資 | (国内作業・報告書作成) | 0 | 28,966 |
| 3 | 中部地区資源開発調査 | 同国，中部地域において，写真地質解析，地質調査，地化学探査および物理探査等を用いて，地質構造と鉱化作用との関係を解明し，鉱床賦存の可能性を調査するものである。 | 56 | 資 | 57. 2.27～57. 3.23 | 2 | 14,294 |
| | | 昭和５６年度は全域について写真地質解析を行った。 | | | | | |

チリ

| No. | プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | 鉱工業プロジェクトフォローアップ調査 | （トルコ，モロッコ，アルゼンティン，チリ，フィリピン，コロンビア）<br>世界一般を参照のこと。 | 56 | 資 | 56. 5.30～56. 6.11 | (13) | (1,429) |
| | | | 〃 | 資 | 56. 7. 5～56. 7. 8 | | |
| | | | 〃 | 資 | 56. 6.12～56. 6.27 | | |
| | | | 〃 | 資 | 56.10.17～56.10.26 | | |
| | | | 〃 | 資 | 56.11.24～56.12. 7 | | |
| | | | 〃 | 資 | 56.12. 5～56.12.12 | | |
| 5 | 事前調査折衝 | （アルゼンティン，チリ，フィリピン，中国，グァテマラ）<br>世界一般を参照のこと。 | 56 | 資 | 56. 6.12～56. 6.25 | (7) | (821) |
| | | | 〃 | 資 | 56. 5.30～56. 6.11 | | |
| | | | 〃 | 資 | 57. 2.15～57. 2.19 | | |
| | | | 〃 | 資 | 56.12.15～56.12.19 | | |
| | | | 〃 | 資 | 56. 6. 3～56. 6. 9 | | |
| | | | 〃 | 資 | 56. 8.11～56. 8.22 | | |
| | | | 〃 | 資 | 56. 7.12～56. 7.22 | | |

〔開発協力方式技術協力〕

開発基礎調査

| プロジェクト名 | 概要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| セロ・コロラド銅鉱山開発関連施設整備計画調査 | ①基礎一次調査<br>チリ国北部タラパカ州セロ・コロラド銅鉱山開発に関連して，必要な施設の一環として鉱山都市道路および用水の整備のため，現地調査と国内設計作業を実施し技術的経済的検討を行うとともに，これら施設の整備開発効果を分析した。 | 51 | 基礎一次調査 | 52. 2.19～52. 3.20 | 4 | 44,710 |
| | ②基礎二次調査<br>上記基礎一次調査に引き続き昭和52年6月，用水整備計画に関する基礎二次調査を行った。 | 52 | 基礎二次調査 | 52. 6.11～52. 7.14 | 4 | 24,333 |
| | | 〃 | | （報告書送料） | 0 | 43 |

チリ

| プロジェクト名 | 概　　要 | 年度 | 調査の種類 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 林業開発協力 | チリ国は豊富な森林資源に恵まれており，民間企業を通じた協力によりその開発を推進したい意向を持っている。また，わが国民間企業もその資源に関心を寄せていることから，林業開発の可能性について調査を行うもの。<br>昭和５５年度は，森林資源の賦存状況，投資環境，関連施設等について調査を行った。 | 55 | 基礎一次調査 | 56．2.27～56．3.19 | 5 | 7,439 |
| | | 56 | | （報告書作成） | 0 | 842 |

〔無償資金協力〕

実施促進調査

| 番 | 対象案件名 | 概　　要 | 年度 | 調査期間 | 調査団派遣人数 | 経費実績（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 零細漁民訓練普及センター建設計画 | 本計画について，同国政府に対しわが国の無償資金協力の仕組みを説明すると共に，契約・入札等の実施方針及び実施スケジュールについて協議・打合せを行った。 | 56 | 57．1.31～57．2.10 | 2 | 2,025 |